

平成29年度 事業報告書

社会福祉法人 芙蓉会

法人本部

事業概要報告

自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」の下、当法人は 114 年の歴史と共に地域に愛され、民間社会福祉としての活動と役割を果たすべく、社会福祉支援を要する人々への相談・援助・支援、地域福祉活動、社会貢献等々に重点をおきながら事業を推進いたしました。



【平成 29 年度 新任職員・施設長・幹部職員】

平成 29 年度は、「社会福祉法等の一部を改正する法律（平成 28 年法律第 21 号）」が施行され、新定款（①理事等の権限、責任等に関する規定、②議決機関としての評議員会の義務付け等）に基づき、新評議員の選任及び新役員（理事・監事）の選任をおこない内部管理体制を整備いたしました。更に、評議員・役員名簿及び定款、役員等報酬規程並びに計算書類等の情報公開を実施し社会福祉法人芙蓉会の制度改革に努めて参りました。また、人材確保、育成、定着の整備を行い事業の継続性や持続的な成長性を実現するために、給与体制の見直しを図りました。

最後に、昨年につき外部講師（坂倉裕子氏）による新任職員研修「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」と新たに中堅職員研修「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」について学び施設運営基盤の強化と職員の資質向上に努めより質の高いサービス提供することができました。

主要事業報告

1. 役員等損害賠償責任補償

改正社会福祉法施行により、役員等への賠償責任（社会福祉法第 45 条の 20）が示され、法人経営に伴い発生する損害賠償責任に対応すべく保険加入（補償金額 1 事故 3 億円、年間 30 億円以下）を図りました。また、これを機会に法人統一化を図ることにより保険管理の簡便化と経費削減を図ることができました。

2. 給与体制の全面改正

福祉人材確保の促進に基づき、給与体制の見直し（俸給表の全面改正、措置施設と指定介護事業所の区分化、）を図り職員の人材確保に努めました。

3.法人内新任職員研修開催

法人の理念及び実践的な事務処理、施設運営基盤の強化を図ることを目的に、人材育成・組織活性化という視点から、坂倉裕子講師を招き「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」について新規採用職員を対象に開催しました。同研修には処遇監事をはじめ12名の幹部も同席をしました。

4.法人内中堅職員研修開催

施設運営基盤の強化を図ることを目的に、人材育成・組織活性化という視点から、坂倉裕子講師を招き「リーダーのコミュニケーションスキル」について中堅職員を対象に開催しました。更に処遇監事の同席をいただきました。

5.官民境界の確定「富士市今泉字源太坂 2229 番地先」杭打ち

台風時に官地内の樹木が倒れ、近隣住民から枝の回収依頼を受けましたので、対処方法について市福祉総務課へご相談申し上げました。また、官地の中にある樹木について平成29年10月13日に遠山工務所より（公図、現況図、土地利用計画図に基づき）説明を受け、平成29年11月6日に官民境界の杭打ち整備を図りました。同月7日には市建設総務課立会いの下、官民境界の確認をしました。

6.地域小規模グループケア事業準備

地域小規模グループケア事業に向けて監事立会いの下、2か所の不動産取得を図りました。

(1) 児童養護施設 ひまわり園

【経過】

平成29年8月21日 不動産売買契約締結

平成29年9月19日 不動産引渡し

【契約内容】

売主：山田 勲 氏

富士市今泉字小松 2101 番 3 宅地 320.93 m²

【費用内訳】

取得価格①	土地価格	20,800,000 円
	固定資産税	32,850 円
	不動産仲介手数料	738,720 円
	小 計	21,571,570 円
諸経費②	司法書士費用	286,704 円
	印紙（契約）	10,000 円
	小 計	296,704 円
合 計 ①+②		21,868,274 円

(2) 乳児院 恩賜記念みどり園

【経過】

平成 29 年 7 月 12 日 不動産売買契約締結

平成 29 年 7 月 28 日 不動産引渡し

【契約内容】

売主：城所正子 氏・城所 満 氏

富士市今泉字小松 2101 番 1 雑種地 176.00 m²

2101 番 8 雑種地 181.00 m²

2101 番 13 雑種地 2.21 m²

計 359.21 m²

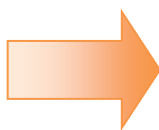
富士市今泉字小松 2101 番 4 公衆用道路 97.00 m² 持分 6 分の 4

【費用内訳】

取得価格①	土地価格	21,000,000 円
	固定資産税	69,853 円
	不動産仲介手数料	745,200 円
	小 計	21,815,053 円
諸経費②	司法書士費用	390,973 円
	印紙（契約）	10,000 円
	小 計	400,973 円
合 計 ①+②		22,216,026 円

7.その他報告

- (1) 静岡県富士土木事務所より、土砂災害防止法に基づき、土砂災害警戒区域に指定されました。
- (2) 職員駐車場の樹木について大松園（地主：杉山康明氏の依頼）が現場確認を実施した結果、北西側一番奥の樹木（半分壊死）が倒木の危険があることが判明したので、北西側斜面に放置してあるシュロの処分を含め市役所道路維持課へ相談陳情に伺い、平成 30 年 3 月 5 日に樹木の伐採（富士市と地主により）作業が実施されました。



基本目標

地域における福祉の発展・充実を担う中核的な組織として、公共的・公益的な事業を県及び関係機関・団体等と連携・協働して推進します。

健全な法人運営や施設経営管理の適正化ならびに職員の処遇向上と人材育成、利用者サービスの質の維持向上に努め地域住民の皆様に対する理解と信頼性を高めて参りました。



理事会



評議員会

1 理事会・評議員会の開催

(1) 理事会

開催年月日	出席者数		議案
	理事	監事	
第 163 回 H29. 5. 24	6	2	1. 平成 28 年度事業報告について 2. 平成 28 年度決算報告について 3. 平成 28 年度監事監査報告について 4. 新理事・監事の候補者（案）について 5. 定時評議員会の召集について 6. 経理規程及び同細則一部改正（案）について 7. 乳児院の勤務時間変更（案）について 8. 児童養護施設の小規模グループケア事業（案）について
第 164 回 H29. 6. 14	7	2	1. 新役員の選定について 2. 理事長の選任について 3. 業務執行理事の選定について

第 165 回 H29.10.25	7	2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 29 年度指導監査実施結果について 2. 平成 29 年度第一回業務報告について 3. 平成 29 年度第一次資金収支補正予算（案）について 4. ふようデイ運営規程一部改正（案）について 5. 乳児院管理規程一部改正（案）について 6. 就業規則一部改正（案）について 7. 給与規程細則一部改正（案）について
第 166 回 H30.3.28	7	2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 29 年度第二回事業報告について 2. 平成 29 年度第二回資金収支補正予算（案）について 3. 平成 30 年度事業計画（案）について 4. 平成 30 年度資金収支予算（案）について 5. 役員報酬規程（案）について 6. 施設長の人事案件について 7. 就業規則一部改正（案）について 8. 有期契約職員就業規則一部改正（案）について 9. 給与規程細則一部改正（案）について 10. 乳児院管理規程一部改正（案）について 11. 児童養護施設管理規程一部改正（案）について

(2) 評議員会

開催年月日	出席者数		議 題
	評議員	監事	
第 51 回 H29.6.14	8	2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 28 年度事業報告について 2. 平成 28 年度決算報告について 3. 平成 28 年度監事監査報告について 4. 新理事・監事の選任（案）について 5. 役員報酬規程（案）について 6. 児童養護施設の小規模グループケア事業（案）について

2 監事監査の実施

開催年月日	担当監事	項 目
H29.5.10	勝又長見	平成 28 年度業務執行状況
	鈴木英之	平成 28 年度財産状況



会計監査



処遇監査

3 役員研修会の参加

開催年月日	研修場所	内容	参加者
H29. 4. 13	グランシップ	平成 29 年度監事監査研修	監事 2 名 理事 1 名
H29. 5. 25	三島商工会議所	平成 29 年度 接遇マナーコミュニケーション講座	監事 1 名
H29. 8. 30	グランシップ	平成 29 年度 経営戦略セミナー【前期】	理事 3 名

4 寄付金

2, 920, 772 円（本部 1, 517, 000 円、ひまわり園 1, 265, 772 円、みどり園 128, 000 円、みぎわ園 10, 000 円）

5 植松茂子奨学基金

46, 206, 281 円（平成 30 年 3 月 31 日現在）

6 法人行事

開催年月日	行事名	場所
H29. 4. 3	辞令交付式	みぎわ園「地域交流室」
H29. 4. 11	新任職員研修会	みぎわ園「地域交流室」
H29. 4. 15	奉仕活動（草刈）	芙蓉会所有地 大淵鳥追窪
H29. 6. 7	創立記念式典	みぎわ園「地域交流室」

H29. 6. 21	美化運動（春）	芙蓉会敷地内
H29. 8. 2	美化運動（夏）	芙蓉会敷地内
H29. 8. 12	奉仕活動（草刈）	芙蓉会所有地 大淵鳥追窪
H29. 8. 19	夏祭り	芙蓉会グラウンド
H29. 9. 26	中堅職員研修会①	みぎわ園「地域交流室」
H29. 10. 8	町内一斉清掃	芙蓉会周辺
H29. 10. 10	美化運動（秋）	芙蓉会周辺
H29. 10. 10	奉仕活動（草刈）	芙蓉会所有地 大淵鳥追窪
H29. 10. 15	市民福祉祭り	富士市中央公園
H29. 10. 17	中堅職員研修会②	みぎわ園「地域交流室」
H29. 12. 13	普通救命講習会（第1回）	みぎわ園「地域交流室」
H29. 12. 25	クリスマス会	ホワイトパレス
H30. 1. 4	新年挨拶会	みぎわ園「地域交流室」
H30. 1. 11	普通救命講習会（第2回）	みぎわ園「地域交流室」
H30. 2. 20	普通救命講習会（第3回）	みぎわ園「地域交流室」



辞令交付式



新任職員研修



奉仕作業



創立 114 周年記念式典



夏祭り



中堅職員研修



市民福祉まつり



美化活動



クリスマス会



新年挨拶会

7 機関誌発行

芙蓉

vol.56
2017.4月発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒117-0001 東京都葛飾区今住2220番地
TEL 0545 52-0402 FAX 0545 56-1119
http://www.fuyusaki.org

代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-0402
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1281
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-0205
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1800
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1877
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1800
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1397
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-0500
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-0504
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1811
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-7952

第 56 号 H29.4 発行

芙蓉

vol.57
2017.7月発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒117-0001 東京都葛飾区今住2220番地
TEL 0545 52-0402 FAX 0545 56-1119
http://www.fuyusaki.org

代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-0402
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1281
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-0205
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1800
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1877
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1800
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1397
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-0500
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-0504
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1811
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-7952

第 57 号 H29.7 発行

芙蓉

vol.58
2017.10月発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒117-0001 東京都葛飾区今住2220番地
TEL 0545 52-0402 FAX 0545 56-1119
http://www.fuyusaki.org

代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-0402
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1281
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-0205
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1800
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1877
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1800
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1397
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-0500
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-0504
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1811
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-7952

第 58 号 H29.10 発行

芙蓉

vol.59
2018.1月発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒117-0001 東京都葛飾区今住2220番地
TEL 0545 52-0402 FAX 0545 56-1119
http://www.fuyusaki.org

代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-0402
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1281
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-0205
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1800
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1877
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1800
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1397
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-0500
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-0504
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-1811
代表理事 田中 芳 子	電話 0545-52-7952

第 59 号 H30.1 発行

8 ホームページ更新

主な公開

- ・ 定款掲載
- ・ 役員等報酬規程掲載
- ・ 役員・評議員名簿掲載
- ・ H29年度法人行事、寄附行為等
- ・ H29年度事業計画、予算書
- ・ H28年度事業報告、決算書
- ・ H28年度広報誌掲載
- ・ H29年苦情受付情報
- ・ H30年理事長新年挨拶



9 施設職員状況

(1) 採用・退職

施設名	採用者		退職者	
	正規	非常勤	正規	非常勤
法人本部	—	1名	—	—
ひまわり園	1名	—	3名	—
みどり園	5名	4名	4名	1名
みぎわ園	13名	4名	9名	6名
計	19名	9名	16名	7名

(2) 労災・傷病・介護休暇・産休・育休等

施設名	労災	傷病	介護休暇	産休・育休
法人本部	—	—	—	—
ひまわり園	1名	1名	—	1名
みどり園	—	—	—	—
みぎわ園	—	5名	1名	4名
計	1名	6名	1名	5名

10 定期健康診断結果報告

日 程	在籍労働者数	受診労働者数	産業医の指示人数
H29.9	185 人	179 人	40 人

日 程	受診対象労働者数	受診労働者数	産業医の指示人数
H30.2	108 人	108 人	0 人

11 心理的な負担の程度を把握するための検査結果報告（ストレスチェック）

日 程	在籍労働者数	検査を受けた労働者数	面接指導を受けた労働者数
H29.9	185 人	138 人	0 人

12 安否情報確認システム「安否コール」結果報告（返信率）

日 程	配信数	返信数	全 体	法人本部	ひまわり園	みどり園	みぎわ園
H29.4	180 人	144 人	80.0%	100%	92.9%	81.1%	63.0%
H29.5	181 人	137 人	75.7%	100%	91.7%	81.2%	74.2%
H29.6	181 人	141 人	77.9%	100%	94.1%	76.5%	74.1%
H29.7	183 人	141 人	77.0%	100%	90.5%	76.7%	58.1%
H29.8	182 人	144 人	79.1%	100%	95.3%	70.0%	57.9%
H29.9	178 人	149 人	83.7%	100%	95.3%	79.4%	71.0%
H29.10	181 人	146 人	80.7%	100%	91.7%	71.4%	80.1%
H29.11	181 人	150 人	82.9%	100%	91.7%	72.8%	86.6%
H29.12	184 人	150 人	81.5%	100%	92.9%	66.2%	88.9%
H30.1	183 人	148 人	80.9%	100%	92.9%	78.7%	85.5%
H30.2	183 人	154 人	84.2%	100%	92.9%	80.0%	90.4%
H30.3	182 人	149 人	81.9%	100%	74.9%	86.7%	90.9%
平均	182 人	146 人	80.5%	100%	91.4%	76.7%	76.3%

※ H29.9 は夜間想定訓練です。

13 苦情対応

苦情：0件

お問い合わせ：19件

(法人本部0件、ひまわり園13件、ひろみ1件、みどり園5件、みぎわ園1件)

事業報告附属明細書

特にありません。

児童養護施設ひまわり園（定員 75 名）

事業概要報告

平成 28 年度の児童福祉法の改正は 1989 年に国際連合で締結された「児童の権利に関する条約」（日本の批准は 1994 年）の理念を具現化するためのものであります。厚生労働省は更に 29 年 8 月 2 日に乳児院や児童養護施設を含む社会的養護における国の進む方向として「新しい社会的養育ビジョン」を発表しました。



その中では「親子を分離しない支援」が最優先であり、次いで「家庭での支援（里親委託、養子縁組等）」を原則とし、児童養護施設に求められる役割は高度に専門的、治療的ケアが必要な場合の「できる限り良好な家庭的環境での短期入所」による支援を行うこととなります。

戦後、児童養護施設は「家庭の代替機能」として永きにわたりその役割を果たしてきました。しかし、その役割が大きな転換期を迎えようとしている現在、現場では混乱が生じているという実情は否めません。家庭や家庭同様の養育環境での養育が困難な児童への専門的支援が中心になるということは、日常生活を普通に過ごせない子ども、対人関係においても大きな課題を抱える子どもが支援対象となるわけで、日常的なトラブルが更に頻発する可能性が高まります。虐待問題、発達障害、在宅支援が破綻した心理的に大きな影響を受けた子どもの入所など、非常に対応が難しい子どもの増加が今後益々予想されます。

平成 29 年度、ひまわり園は児童定員を 90 名から 75 名に変更し、4 月当初は 60 名でスタートしました。現在も既に入所児童の約 6 割は被虐待児であり、ASD（自閉症スペクトラム）などのいわゆる発達障害といわれるような問題を抱える子どもが増加傾向にあります。入所している子どもたちの半数が中高生という状況でもあり、養育の困難さが職員の精神的負担を大きくしています。そうした現状の中で問題に対応する職員の個々の技量のみではなく施設全体の養育力が問われるような問題が多く発生しました。そうしたものが職員のチームワークを乱し、精神的に疲弊させ混乱を招きました。職員確保においても人材確保どころか人員確保さえままならない状況であり、職員集団としての養育方針の共有化と職員の技能向上が急務の課題でもあります。

1 平成 29 年度の入退所状況（資料 1.2.3）

- ① 在籍児童数 年間平均 60 名
- ② 入所児童 11 名（男子 4 名、女子 7 名）
幼児 7 名 小学生 2 名 中学生 2 名 うち被虐待児 8 名（72.7%）

③ 退所児童 17名

幼 児 3名：家庭引き取り 3名

小学生 6名：家庭引き取り 4名 児童自立支援施設 1名
児童心理治療施設 1名

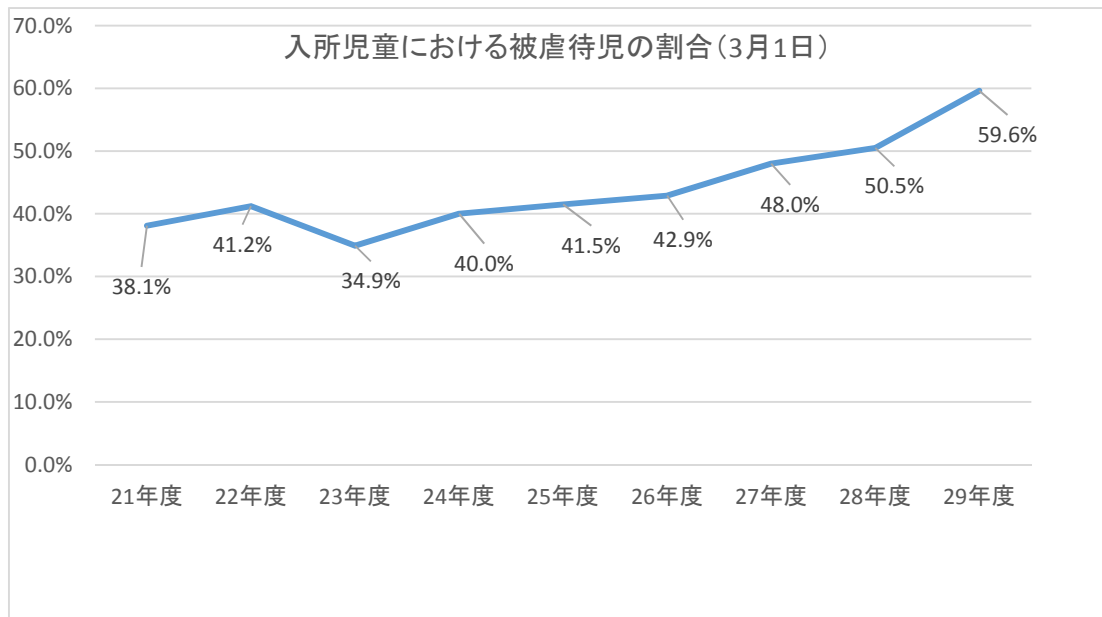
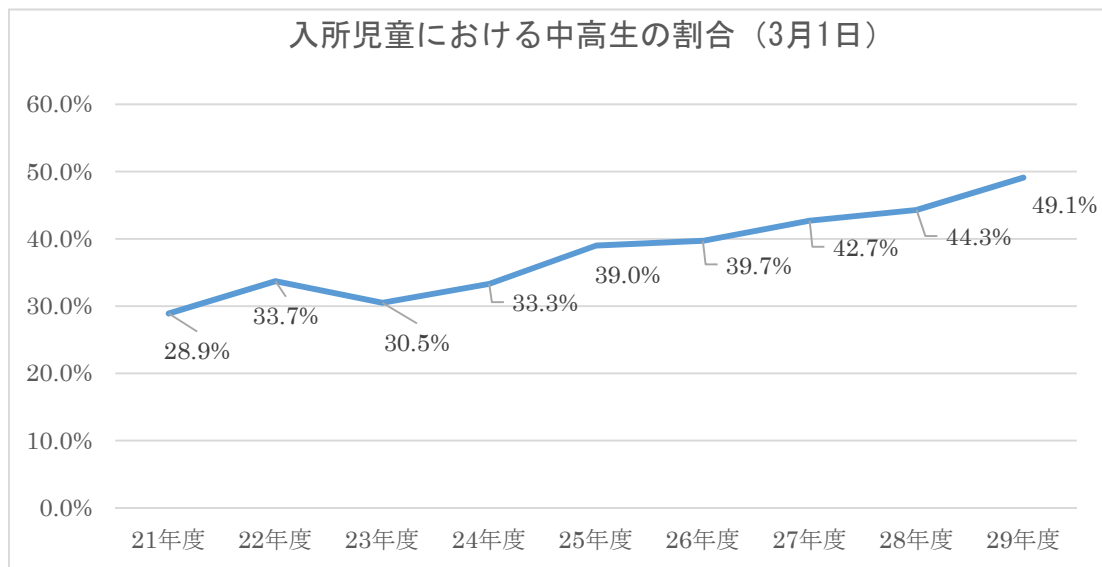
中学生 2名：家庭引き取り 2名

高校生 5名：家庭引き取り 1名 進学自立 1名 里親委託 1名
自立援助ホーム 1名
就職（グループホーム利用）1名

④ 一時保護児童 12名（男子7名、女子5名）延べ183日

幼児5名、小学生2名、中学生2名、高校生2名、その他1名

⑤ ショートステイ 6名（男子2名、女子4名）延べ77日 幼児6名



重要事項報告

平成29年度をもちまして戸巻芙美夫園長が退任致しました。約60年に渡りひまわり園の児童指導員、園長として、ひまわり園の子どもたちを支えてくださいました。子どもたちと職員とで手作りの「ありがとうの会」を開催して感謝の気持ちをお伝えしました。子どもたちの優しさを感じる事ができた素敵な時間でした。



【戸巻園長先生ありがとうの会】

子どもの支援においては、中高生

(特に家庭体験のない幼児期から入所している子ども)の対応に苦慮することが多い1年でした。生活の中で自分の要求が通らないことがあると「だから施設は嫌だ」「親でもないくせに」と施設や職員への不満を口にし、その不満を共有する集団となって職員との関係を悪化させる形ができてしまいました。職員もキャリアの差や支援における姿勢の違いなどがありチームワークにも乱れが生じて混乱することにもなりました。幼い頃から施設生活しか知らず、自分の家族が抱える問題、その中で自分がどう生きていくのかという課題を直視できない(しない)まま、年齢を積み重ねてしまったということも背景にあるのではないかと考えます。自分の将来や家族に対する不安や自分自身への無責任さを集団の中で誤魔化しながら同調する関係を作ってしまう、対施設、対職員という構図として表面化してきているのではないかと考えられます。こうした問題に対して集団へのアプローチ、個別のアプローチそれぞれの具体的方法を現在も継続検討しているところでもあります。

一方で、社会的養護の対象となる子どもたちのための奨学金制度など大学等への進学支援が徐々に拡充されてきたことは喜ばしいことであり、ひまわり園でも進学者が増えています。

2 事故、ヒヤリハット報告(資料4)

- ① 事故報告 38件 ②ヒヤリハット報告 20件
事故内容 転倒 11 衝突 10 転落 8 飛び出し 3
挟み込み 2 異食 2 油はね 1 火傷 1
年齢別 幼児 27 小学生 2 中学生 4 高校生 1

3 苦情・要望受付(資料5)

- ① 苦情 7件
苦情申出人 学校父兄 2 近隣住民 1 入所児童 1
入所児童保護者 2 里親 1
② 要望 1件 要望申出人 職員 1

【固定資産取得】

1 「社会福祉施設等施設整備補助金」による事業

① 施設の防犯対策 防犯カメラ設置

(平成 30 年 1 月 12 日取得)

2,494,800 円 (うち 1,350,000 円補助)



【 防犯カメラ 】

② 次世代育成支援対策ステップルーム (平成 30 年 3 月 30 日取得)

8,716,800 円 (うち 5,670,000 円補助)



【 次世代育成支援対策ステップルーム 】

2 土地購入 (平成 30 年 3 月 30 日取得)

① 芙蓉会隣地の宅地購入

(施設の小規模グループケア推進計のため)

住 所 富士市今泉字小松 2101 番 3

面 積 320.93 m²

地 目 宅 地

購入価格 21,571,570 円



【固定資産廃棄】

① VHS ビデオテープ「イマジネーションサッカー」

(昭和 60 年 9 月 30 日取得)

【施設整備・補修工事】

① 学習室階段部分外壁補修工事 (5 月)

渡辺建設工業 460,000 円 (予算 460,000 円)

② 非常用滑り台塗装工事 (7 月)

坂本工業 (株) サクマ工業 745,200 円 (予算 1,000,000 円)



【 非常滑り台塗装工事】



【 学習室外壁補修 】

③ 厨房昇降機修繕工事(1月)	(株) 一 厨	1,207,440 円
④ ひまわり幼稚園空調機修理	ヤマグチ電機(株)	255,960 円
⑤ 本館天井埋め込みスピーカー	ヤマグチ電機(株)	251,640 円
⑥ 本館エアコン修理	(株) トーカイ	344,000 円
⑦ 本館熱感知器、予備電池交換	サンコー防災(株)	101,628 円
⑧ 衣類乾燥機修理	中部洗機(株)	196,776 円

【社会的養護処遇改善加算】

処遇改善加算分支給総額 5,846,136 円

内訳

- ① 民間給与改善費(2%) 3,813,336 円(12ヵ月分)
(ひまわり園: 3,506,400 円、ひろみ: 306,936 円)
- ② 処遇改善加算(I、II、III、V) 2,032,800 円(12ヵ月分)

基本目標 1

小規模グループケアの実践を通して、今後の小規模化への方向性を整理します。

29年度は中高生男子8名で小規模グループケアを実施しましたが、児童の問題、課題への対応がうまくいかず、年度途中で担当職員が長期病欠となる事態にも陥り、中学生を他のユニットに分散せざるを得ず対応に苦慮しました。高校生も感情のコントロールがうまくできず自分本位の考え方の中で施設生活が受け入れられず職員と衝突して関係性が悪化し、結果的に里親委託になったケースや小学生女兒への性的逸脱行動が発覚して児童自立援助ホームに委託されるケースが発生するなど高齢児処遇に悩まされました。

基本目標 2

職員の研修体系を整理し、職員の技量向上を目指します。(資料 6.7)

心理職員を中心に研修計画を立て年間 9 回の研修を実施しました。実際に直面しているタイムリーな問題に焦点を当てた研修内容になるよう工夫しました。また、子どもの虹情報研修センター研修課長の中垣真通氏、静岡県立こども病院の大石 聡医師に講師をお願いして、グループワークやケースカンファレンスを実施しました。また、自主研修の機会を作り、テーマに沿ったレポートを作成して発表するなど職員の自己研鑽を図りました。心理職員はユニット会議への参加を通して子ども支援のアセスメント、個別セラピーの様子の共有化を図り、日常支援への助言等に努めました。



【 SASAERU フォーラム 】

基本目標 3

子どもの最善の利益の保障と権利擁護に努めます。

担当職員と子どもの関係性を深めるために「個別ヒヤリング」を各ユニットで実施しました。その他「接遇チェック」を毎月行い、職員の自己の振り返りを行いました。日常生活支援においては、「子どもの最善の利益とは」「子どもの権利擁護とは」という明確化しにくい課題、また「あたりまえの生活」とはどんな生活なのか、など認識を共有化することの難しさを実感する場面も多く、子どもの権利保障と子ども自身の責任感を育むことの難しさを感じました。

基本目標 4

生活を営む主役である子どもたちが、日常生活において主体的に考え取り組むことができるよう支援します。(資料 8)

児童会「ひまわりの種」は、子どもと職員が共通の話題を一緒に考える場にしたいと考えて立ち上げたもので、「一緒に考える。一緒に行動する」という共感性を高める活動を目指しています。小学生の部は一緒に野菜を栽培したり、1つの話題を一緒に考える機会を作るなどができました。しかし中高生の部は、子どもが施設への批判、職員への不満を共有して同調するような集まりになってしまい、担当職員も非常に苦慮しました。

基本目標 5

子どもたちの地域社会活動を支援し、集団の中での個の自立と技能向上を目指します。また地域との関わりを持ち、地域住民としての自覚が育つように支援します。（資料 9.10）

ユニット行事、希望行事、招待行事などを計画し、子どもたちが豊かな体験を積めるよう努めました。地域の少子化の流れに拍車がかかる中、子ども会活動や地域の天王祭なども地域の子どもの参加者減少という影響を受けているようですが、ひまわり園としては天王祭の踊りの練習や御輿担ぎには積極的に参加しました。地域防災訓練では地域と学校の連携の問題などもあり、子どもが参加する機会が十分ではありませんでした。ボーイスカウト活動やサッカー少年団活動などの集団活動は、職員や外部のリーダーの指導の下、積極的に頑張る子どもいる半面、個々の子どもの問題や全般的に生活の延長になってしまうという問題もあり、改善すべき課題も見られました。特に近年は集団行動そのものが苦手な子どもも増え、協調性を育むことの困難さも感じました。



基本目標 6

社会的自立を目標とする子どもたちの自立支援を実施します。（資料 11）

小中学校とは例年通り連絡会を実施すると共に、必要に応じて関係機関と協力して個別の支援会議を実施しました。進学希望を持つ子どもたちには各種奨学金制度の獲得に努め、進学支援を行いました。年度当初、短大生 2 名、高校 3 年生が 5 名おりました。短大生は満 20 歳を迎えた時点で措置解除となりましたが継続的に支援することができました。高校 3 年生に関しては、非常に残念ながら性的逸脱行動で 1 名が自立援助ホームへ措置変更となり、また、施設への不適応で 1 名が里親に委託されました。里親委託に至った子どもは静岡大学への進学が決定しており里親宅から通学することになりました。その他、明治学院大学、静岡英和大学短期大学に各 1 名が進学しました（いずれも措置解除）。特別支援学校高等部に通学していた児童はグループホームを利用しながら就職することになりました。また、退所した子どもたちへの「ア



【 卒業・旅立ちを祝う会 】

フターケアマニュアル」を作成して施設を退所した後の支援方法の整理をしました。

その他、学力向上のための学習支援、自分自身を静かに見つめ心を整えるヨガ教室、アレルギー対策としての sensoriセラピー、餅つきやクリスマスなどの慰問、七五三や成人式の着付け、防犯教室、職業講話などボランティア様にもご協力いただき、様々な体験を通して子どもの自立支援、生活支援に努めました。

基本目標 7

社会的養護関係機関との連携を強化し、家庭支援、里親支援に努めます。（資料 12）

家庭支援では、年間を通じて 117 件の面会、59 件の外泊、9 件の外出、その他家庭訪問や関係機関の支援会議などを実施して家族再統合に向けて取り組みました。また、退所した子どもや家族の相談に応じて電話相談、家庭訪問なども行いました。里親支援事業では短期委託事業、認定前研修、里親宅家庭訪問などを実施すると共に、児童家庭支援センターと連携して里親啓発活動、里親サロンの開催、里親認定前研修などに積極的に取り組みました。

基本目標 8

子どもの健康に配慮すると共に、防災教育を推進し、健康で安全な生活を支援します。（資料 13.14.15）

29 年度は 4 月の春休みにインフルエンザ B 型が流行し、感染症対策の法令に則った対応を図りましたが、合計で 21 名もの子どもが罹患しました。1 月にも流行の兆しがありましたが、感染症対策委員会の努力もあり、10 名の罹患に抑えることができました。

食事に関しては、子どもの誕生日希望メニューや行事食など様々な工夫を通じて食事の楽しさ、おいしさを感じることができるよう厨房職員が取り組みました。ただ偏食指導が難しく「食べる」「食べない」で子どもとぶつかることもあり、どこで折り合いをつけるかで苦労しました。また定期的な健康診断や個別の予防接種を計画的に実施できました。

防災関係では毎月の避難訓練、消火訓練を実施しました。

基本目標 9

実習生の受入れを通して児童養護施設に対する理解を広げ、後進の指導に努力します。（資料 16）

県内外の保育士養成校から計 33 名の実習生を受け入れました。実習を通してひまわり園での就職に繋げることができました。

<各種 行事写真>



【小西さん宅で芋掘り】



【手作り鯉のぼり】



【けやき 富士山世界遺産センター】



【さくら 桃沢キャンプ場】



【希望行事 富士登山】



【芙蓉会夏まつり】



【防災訓練】



【納得住宅工房様 東京ディズニーランド招待】



【富士防犯協会様 防犯教室】



【富士商工会様 職業講話】



【ADEKA労組様 餅つき慰問】



【フロンティアジャパン様 慰問】



【富士中央ライオンズ様 慰問】



【芙蓉会 クリスマス会】



【成人式】



【第40回冬季球技大会】



【りんどう ぐりんぱ】



【戸巻園長先生ありがとうの会】



【卒業・旅立ちを祝う会】



【卒業・旅立ちを祝う会】

ひまわり園 平成29年度事業報告附属明細書

(資料1) 各月初日在籍児童数と在籍日数

月 別	定員	実 人 員 (初日在籍)			充足率 %	延 人 数		
		男	女	合計		男	女	合計
平成29年 4月	75	31	29	60	80.0%	948	870	1,818
平成29年 5月	75	32	29	61	81.3%	992	899	1,891
平成29年 6月	75	32	29	61	81.3%	960	870	1,830
平成29年 7月	75	33	29	62	82.7%	1,023	899	1,922
平成29年 8月	75	33	30	63	84.0%	971	931	1,902
平成29年 9月	75	29	32	61	81.3%	870	960	1,830
平成29年 10月	75	29	32	61	81.3%	899	962	1,861
平成29年 11月	75	29	29	58	77.3%	870	870	1,740
平成29年 12月	75	29	29	58	77.3%	892	899	1,791
平成30年 1月	75	28	29	57	76.0%	868	899	1,767
平成30年 2月	75	28	29	57	76.0%	784	812	1,596
平成30年 3月	75	28	29	57	76.0%	866	864	1,730
合 計	900	361	355	716	79.6%	10,943	10,735	21,678

(資料2) 理由別入退所児童数

①理由別入退所児童一覧(措置入所)

入所児童				退所児童(退所日はカウントしない)			
年齢・学年	入所日	性別	入所理由	氏名	退所日	性別	退所理由
3歳・幼児	4月13日	男	ネグレクト(みどり園)	18歳・高3	8月7日	男	自立援助ホーム
3歳・幼児	7月1日	男	実母逮捕(みどり園)	10歳・小5	8月22日	男	家庭引き取り
5歳・幼児	8月1日	女	身体的虐待	9歳・小4	8月22日	男	家庭引き取り
12歳・中1	8月31日	女	性的虐待	10歳・小4	8月25日	男	児童自立支援施設
6歳・幼児	9月1日	女	両親逮捕	20歳・短大	10月5日	女	年齢超過
10歳・小4	11月1日	女	身体的虐待	6歳・幼児	10月31日	女	家庭引き取り
2歳・幼児	12月1日	女	養育困難(静岡乳児院)	8歳・小2	10月31日	女	家庭引き取り
2歳・幼児	3月26日	男	ネグレクト	5歳・幼児	10月31日	女	家庭引き取り
13歳・中1	3月30日	男	心理的虐待	5歳・幼児	12月1日	女	家庭引き取り
8歳・小2	3月30日	女	心理的虐待	18歳・高3	12月25日	男	里親委託
5歳・幼児	3月30日	女	心理的虐待	18歳・高3	3月22日	女	進学自立
				13歳・中1	3月23日	女	家庭引き取り
				12歳・小6	3月23日	男	家庭引き取り
				18歳・高3	3月23日	女	家庭引き取り
				18歳・高3	3月24日	女	就職に伴う障害者自立支援施設
				11歳・小5	3月29日	女	児童心理治療施設
				15歳・中3	3月31日	男	家庭引き取り
入所		男子	4名	退所		男子	7名
		女子	7名			女子	10名
		合計	11名			合計	17名

②理由別一時保護児童一覧

氏名	性別	年齢・学年	入所日	解除日	日数	保護理由	解除理由
W.H	男	17歳・高3	5月22日	5月23日	2	実母への暴力	一時保護所へ移動
O.T	女	4歳・幼児	5月26日	6月7日	13	実母の入院	実母の退院
O.T	女	3歳・幼児	5月26日	6月7日	13	実母の入院	実母の退院
S.M	男	4歳・幼児	6月19日	6月20日	2	実母の入院	実母の退院
I.H	男	9歳・小3	6月23日	6月27日	5	実母の虐待	他施設へ措置
W.M	女	14歳・中2	7月10日	7月14日	5	実母への暴力	家庭に戻る
H.K	女	6歳・幼児	7月25日	7月31日	7	両親が逮捕	ひまわり園措置
N.W	男	15歳・高1	8月13日	8月14日	2	実父の虐待	高校の寮へ入寮
T.H	男	16歳	9月5日	9月6日	2	実母とトラブル	就労先の寮へ入寮
W.M	女	14歳・中2	10月30日	12月9日	41	実母の精神科入院	実母の退院
S.K	男	12歳・小6	1月25日	1月26日	2	実母交際男性からの暴力	家庭引き取り
T.S	男	2歳・幼児	2月6日			経済的困難 ネグレクト	ひまわり園措置

男子 7名 女子 5名 計 13名

③理由別ショートステイ事業受入児童一覧

氏名	性別	年齢・学年	入所日	解除日	日数	保護理由	解除理由
M.M	男	3歳7か月	4月28日	5月8日	11	育児疲れ	家庭引き取り
O.T	女	4歳10か月	5月8日	5月25日	18	実母の入院	一時保護に変更
O.T	女	3歳6か月	5月8日	5月25日	18	実母の入院	一時保護に変更
M.M	男	3歳9か月	7月3日	7月10日	8	育児疲れ	家庭引き取り
M.K	女	2歳4か月	2月14日	2月26日	13	養母の体調不良	家庭引き取り
M.K	女	2歳5か月	3月6日	3月14日	9	養母の体調不良	家庭引き取り

男子 2名 女子 4名 計 6名

③(資料3) 入所児童現況(平成30年3月1日)

①性別

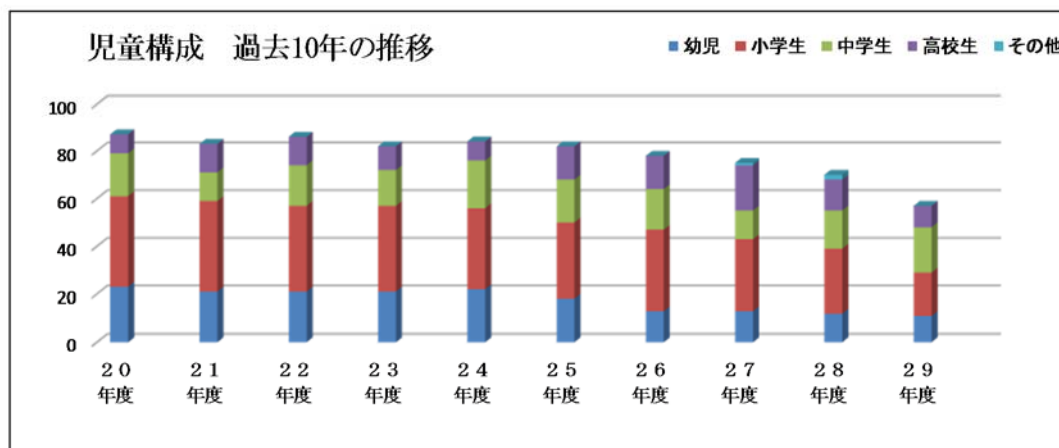
男	女	合計
28	29	57
49.1%	50.9%	100.0%

②年代別児童数

幼児	小学生	中学生	高校等	その他	計
11	18	19	9	0	57
19.3%	31.6%	33.3%	15.8%	0.0%	100.0%

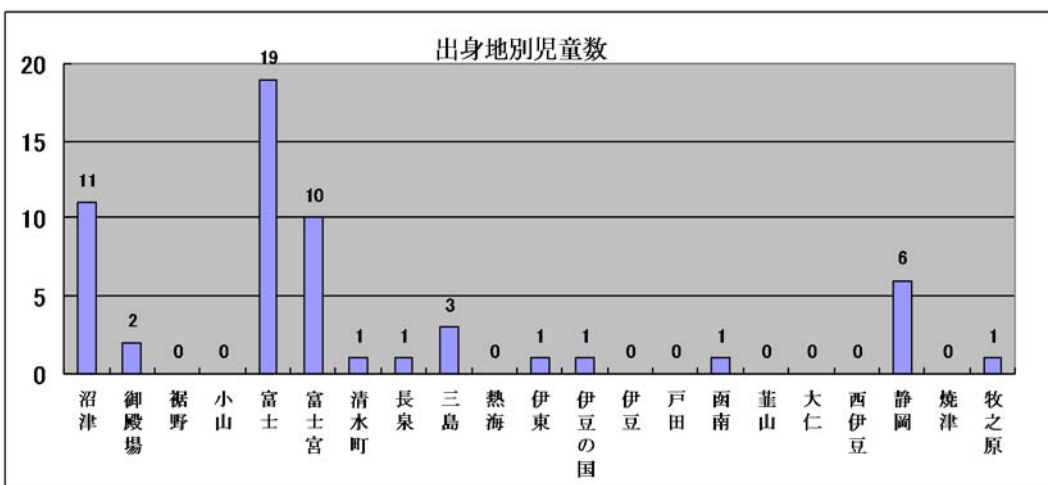
③児童構成 過去10年の推移(3月1日在籍数)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
幼児	23	21	21	21	22	18	13	13	12	11
小学生	38	38	36	36	34	32	34	30	27	18
中学生	18	12	17	15	20	18	17	12	16	19
高校生	8	12	12	10	8	14	14	19	13	9
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0
合計	87	83	86	82	84	82	78	75	70	57



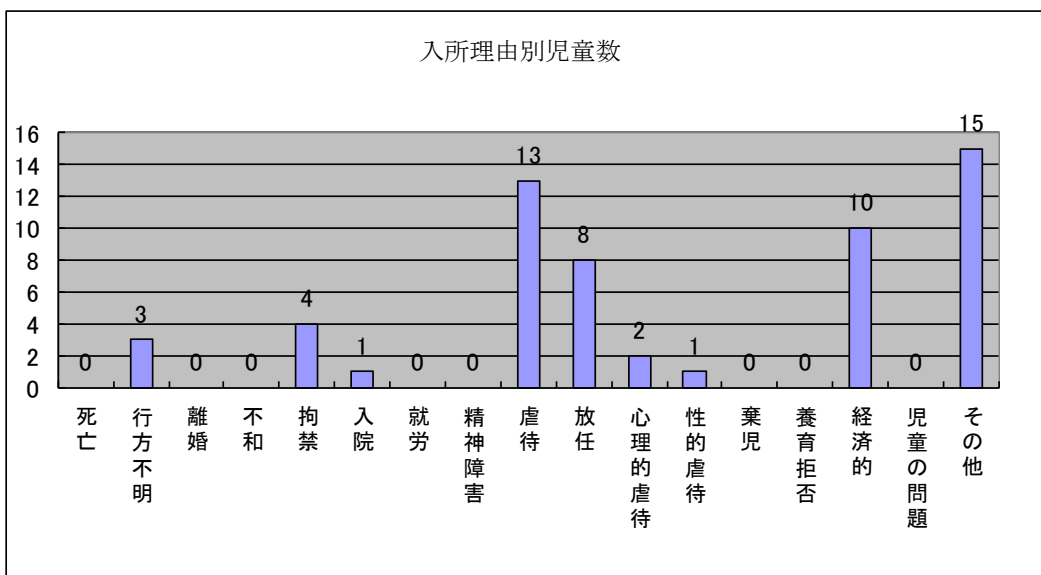
④出身地別入所数

沼津	御殿場	裾野	小山	富士	富士宮	清水町	長泉	三島	熱海	伊東	伊豆の国	伊豆	戸田	函南	菟山	大仁	西伊豆	静岡	焼津	牧之原	合計
11	2	0	0	19	10	1	1	3	0	1	1	0	0	1	0	0	0	6	0	1	57
19.3%	3.5%	0.0%	0.0%	33.3%	17.5%	1.8%	1.8%	5.3%	0.0%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%	1.8%	100.0%



⑤入所理由別児童数（主訴）

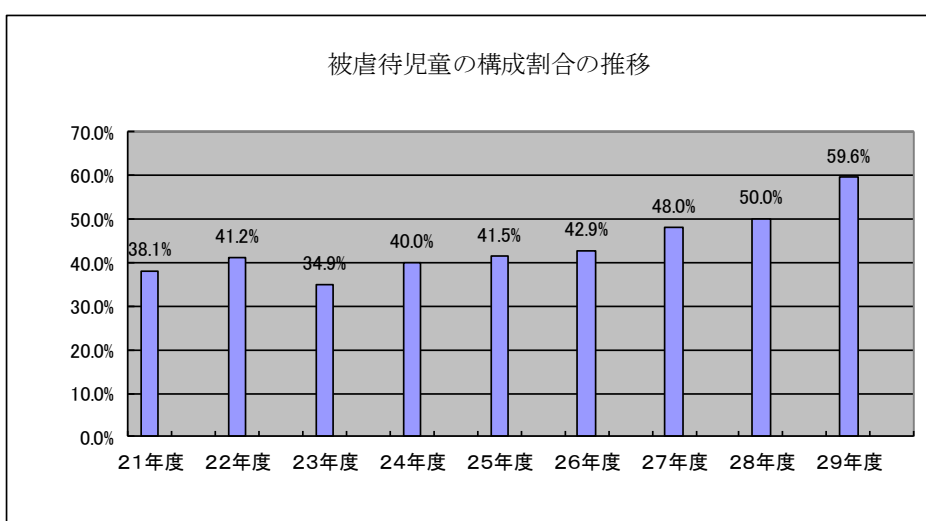
死亡	行方不明	離婚	不和	拘禁	入院	就労	精神障害	虐待	放任	心理的虐待	性的虐待	棄児	養育拒否	経済的	児童の問題	その他	合計
0	3	0	0	4	1	0	0	13	8	2	1	0	0	10	0	15	57
0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	7.0%	1.8%	0.0%	0.0%	22.8%	14.0%	3.5%	1.8%	0.0%	0.0%	17.5%	0.0%	26.3%	100.0%



⑥入所前に虐待またはその疑いがある児童数の推移

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
被虐待児	32	35	29	34	34	33	36	35	34
入所数	84	85	83	85	82	77	75	70	57
構成割合	38.1%	41.2%	34.9%	40.0%	41.5%	42.9%	48.0%	50.0%	59.6%

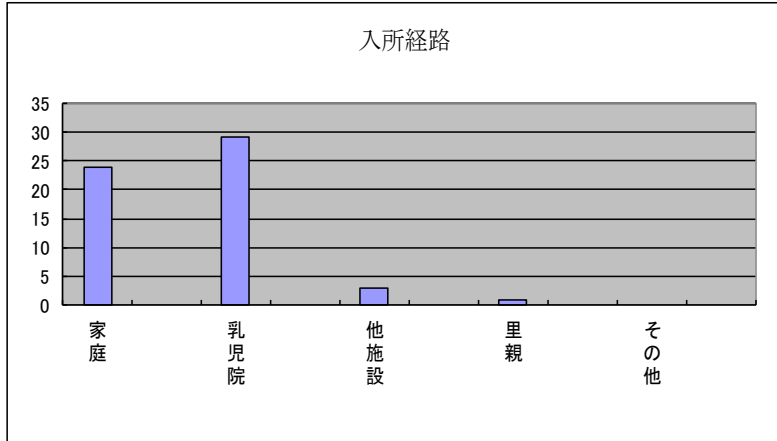
（含む ひろみ）



被虐待経験のある児童は全体の約6割である。

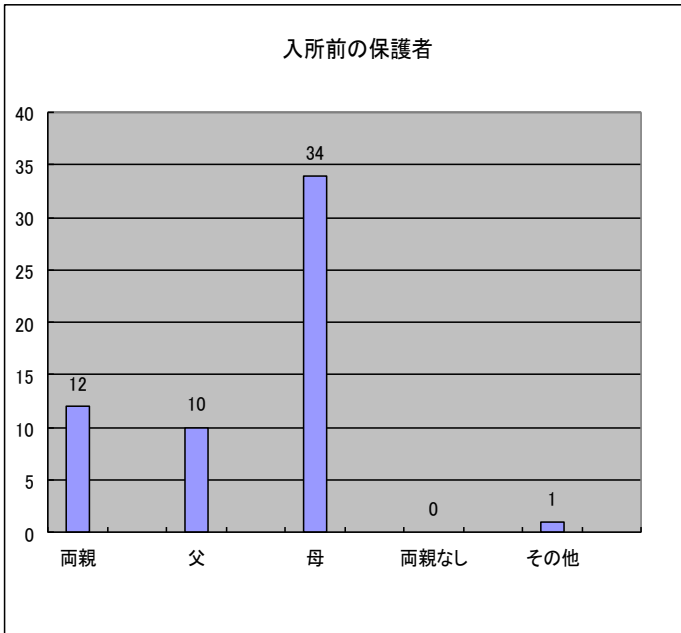
⑦入所経路

家庭	乳児院	他施設	里親	その他	合計
24	29	3	1	0	57
42.1%	50.9%	5.3%	1.8%	0.0%	100.0%



⑧入所前の保護者

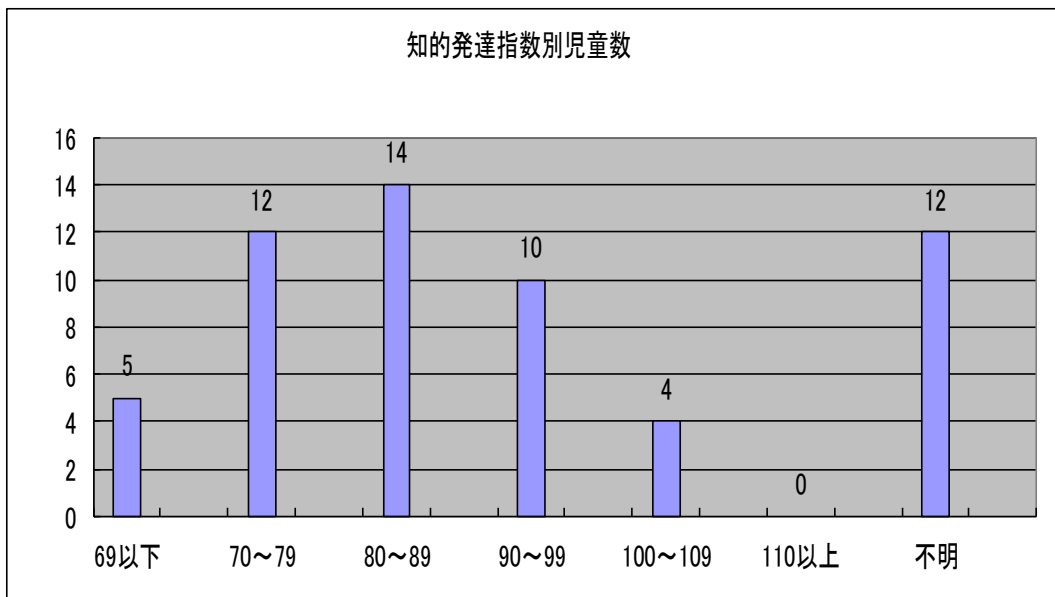
両親	父	母	両親なし	その他	合計
12	10	34	0	1	57
21.1%	17.5%	59.6%	0.0%	1.8%	100.0%



入所児童の保護者の約6割が「実母」である。さらに保護者の学歴を見るとほとんどが「中卒」「高校中退」であり、保護者自身が適切な環境で養育されていなかったことも窺われる。

⑨知的発達指数別児童数

69以下	70～79	80～89	90～99	100～109	110以上	不明	総数
5	12	14	10	4	0	12	57
8.8%	21.1%	24.6%	17.5%	7.0%	0.0%	21.1%	100.0%



⑩平成30年4月進路状況

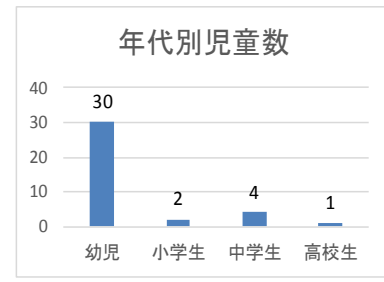
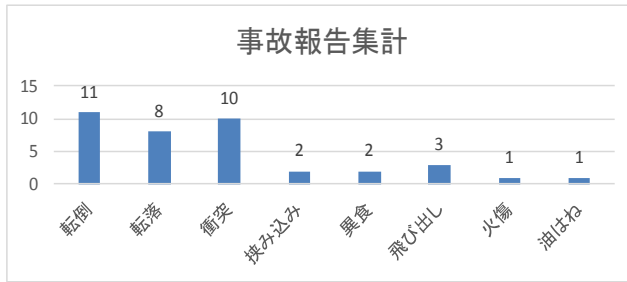
- ◇進学（高校等） 2名
 - 内訳 私立高校 1名（家庭引取）
 - 特別支援学校高等部 1名
- ◇進学（大学、専門学校等） 1名
 - 内訳 大学 1名（措置解除）
 - 短大 1名（措置解除）
- ◇就職自立 1名
 - 内訳 山清倉庫（株）障害者雇用（沼津市 カノアハウス 共同生活援助）

(資料4) 事故・ヒヤリハット報告

①事故報告

番号	期日	氏名	学年	発生時間	発生場所	種別	内容	事後状況等
1	4月3日	T. Y	中学生	16:00	グラウンド	転倒	中3児童とサッカーをしていて足に引っかかって転倒。右手首	
2	4月23日	S. H	幼児	夕方	ホール	転倒	小学男子と中学男子がホールで走ったため勢いでカーペットがずれて座っていた本児が転倒、右頬を床にぶつけた	怪我なし
3	4月28日	U. M	幼児	夕方	脱衣場	転倒	入浴前に泣いていて上手に服が脱げずによるけて転倒	青あざができた程度
4	5月3日	K. J	幼児	13:00	グラウンド	衝突	他の幼児が投げた石が本児の額に当たった。	怪我なし
5	5月4日	H. K	幼児	19:00	ホール	異食	歯磨きチューブを吸いながら食べてしまった。	職員が気づいてやめさせ注意した。
6	5月5日	H. K	幼児	14:00	グラウンド	異食	外遊び中に拾った木の枝をしゃぶった。	職員が気づいてやめさせ注意した。
7	5月14日	S. R	幼児	20:00	居室	衝突	消灯前に自分のベッドの上ではしゃいでいて顔を壁にぶつけた。	鼻血が出たため処置した。
8	5月17日	H. K	幼児	16:30	ホール	衝突	けん玉を振り回して小学生女子の眼鏡にぶつけてしまう。	怪我、破損なし。
9	6月26日	H. K	幼児	10:00	グラウンド	飛び出し	ひまわり幼稚園から1人で黙って外に出てしまっていた。	保育士が発見して幼稚園に戻した。
10	6月28日	K. N	幼児	16:00	グラウンド	転落	手すりを鉄棒に見立てて実習生と遊んでいたところ、手を滑らせて落下。頭頂部をコンクリートの地面にぶつけた。5mmほどの擦過傷と内出血。	遊ぶ場所の安全性を職員が把握して配慮すること。
11	6月29日	I. N	幼児	19:30	ユニット	転倒	保育士が本児を抱き上げたときにバランスを崩しユニット玄関に本児の後頭部がぶつかった。	直後に冷やして様子を見た。
12	7月16日	I. N	幼児	11:00	ユニット	火傷	小学生と保育士が目玉焼きを作っていた所に本児が近づきホットプレートに口を近づけて火傷を負ってしまったよう。現場を保育士は確認できていない。	職員は外から戻ってきた幼児に対して十分注意すること。
13	7月16日	S. R	小学生	未確認	グラウンド	転倒	園内を自転車走らせて遊んでいたが、地面に落ちていたボールをよけようとしてバランスを崩して転倒。擦過傷を負う。	職員は周囲の安全性に対して十分注意し、環境に配慮する。
14	7月29日	F. S	小学生	16:30	倉庫前	転落	虫取りをしている時に倉庫の屋根に上がり臀部から転落。職員は近くにおらず発生状況を確認できず。夜になって嘔吐があったため救急医療に通院。レントゲンを撮るが事故との関連性はない様子。	ルールを守れない子どもでもあるのでできる限り目を離さないようにしていく。
15	7月31日	K. J	幼児	15:30	正門付近	転倒	正門付近の坂で小1の姉と手を繋ぎ、一歩の手に玩具を持っていた時に転倒して額を地面にぶつけた。	すりむく程度の怪我。
16	7月31日	H. K	幼児	19:50	ホール	挟み込み	ピアノの蓋の隙間に指が挟まってしまう。	怪我はなし。
17	7月31日	K. J	幼児	19:55	ホール	衝突	ホールで転倒してテーブルの角に左頬をぶつけた。	青あざができて口の中も噛んでしまい怪我。様子を見る。
18	8月11日	H. K	幼児	17:20	食堂	転倒	夕食の準備中にイスを揺らして背後に転倒、後頭部を床にぶつけた。	怪我なし。
19	8月14日	H. K	中学生	12:00	ホール	油はね	調理実習中に揚げ物をしており油がはねて左頬と左腕に当たった。	少々の火傷で済んだ。
20	8月18日	U. M	幼児	19:00	浴室	転倒	入浴中に転倒。	怪我なし。

21	8月31日	K. N	幼児	10:20	グラウンド	衝突	女性職員と近距離でキャッチボールをしていたがボールを取り損ねて胸に当たってしまう。	怪我なし。
22	9月1日	K. N	幼児	15:45	グラウンド鉄棒	転落	鉄棒で前回りをしていたときに手が滑って落下して地面に後頭部をぶつけた。	外傷なし。
23	9月8日	K. J	幼児	19:30	ホール	転倒	ホールを走り回り転倒して下唇を切った。	多少の出血あり。
24	9月23日	S. R	幼児	19:30	ホール	挟み込み	ソファに座り上体を後ろに反らした時にドアの隙間に指を挟んでしまった。	怪我なし。
25	9月24日	A. M	幼児	11:00	居室	衝突	居室をドアを開けた時にドアの向こう側にいた本児の左頬にノブが当たってしまった。	外傷なし。
26	9月25日	H. K	幼児	7:00	ホール	転落	ソファの背もたれに空気をかけてうつぶせの状態で見本を見ていた為、職員が注意した。姿勢を直そうとして床に転落した。	外傷なし。
27	10月18日	O. A	中学生	16:20	外出先	衝突	友だちと歩道を脇見しながら走っていて電柱に顔の中央をぶつけて転倒。中学校の近くで会ったため保健室に行き見てもらった。顔にピンポン球大のたんこぶができた。園に連絡が入った。	連絡を受け迎えに行き、小松クリニックに通院。CT検査異常なし。痺れや吐き気もなし。食欲あり。
28	10月19日	H. M	幼児	15:00	階段	転倒	階段を上っていた時に足を踏み外して転倒。左眉の辺りをぶつけた。	多少の赤みがあり冷やす。特に腫れることはなし。
29	10月25日	H. K	幼児	午前中	ひまわり幼稚園	飛び出し	1人で幼稚園を出てしまい水野食品の貸し駐車場の方へ行こうとしていた。	保育士が発見して幼稚園に戻した。
30	10月27日	H. K	幼児	午前中	グラウンド	飛び出し	日中保育の時間帯に1人で学習室北側駐車場へ行ってしまった。	保育士が発見して連れ戻した。
31	10月27日	H. K	幼児	時間不明	屋外滑り台	転落	日中保育の時間帯に屋外滑り台で立ち上がったためシルバーさんが注意した直後に転落。	顔に多少の内出血。
32	11月21日	H. K	幼児	16:00	屋外滑り台	転落	遊具から落下。足から落ちたが左目付近を遊具にぶつけた	通院して塗り薬をもらった。
33	12月13日	I. N	幼児	16:30	グラウンド	転落	小学校高学年男児が本児の戦いごっこの相手をしてくれていたが持ち上げた際に暴れたため地面に落ち高等部、左肩を地面にぶつけた。三日市整形外科受診。左鎖骨骨折	職員も近くにいたが予見できず。注意、配慮を怠らないこと。
34	12月31日	O. A	中学生	6:00	居室	衝突	睡眠中に右肩を机の角にぶつけてかさぶたができた。	処置なし。
35	1月10日	A. M	幼児	16:30	グラウンド	転落	一番低い鉄棒で逆上がりをしていたがおしりから転落。	外傷なし。
36	2月15日	K. N	幼児		ホール	衝突	保育士が幼児と遊んでいて「食べちゃうぞ」と腕を甘噛みしたときに別の幼児が後ろからいきなりぶつかってきて、噛んでいた所に跡がついてしまった。	周囲の環境に配慮しながら遊びの内容を考えること。
37	2月26日	H. M H. H	高校生	8:00	施設外	衝突	登校中に自転車を運転しながら友人から借りたスマホを操作。前方不注意で正面から来た乗用車に衝突。もう一方も飛んできた自転車が頭部に当たった。渡辺医院通院。打撲	ながら運転の危険性は日常的に伝えているが本児の意識が低いため起こった。交通ルール、携帯のルールを守ることを徹底させたい。
38	3月26日	T. S	幼児	8:20	園内階段	転倒	職員と階段を下りる時、手すりを靴を持って降りていた。足を踏み外して転倒して左目周辺内出血。	階段では必ず職員は幼児と手を繋ぐこと。



②ヒヤリハット報告

番号	期日	氏名	学年	発生時間	発生場所	種別	状況	事後状況等
1	4月29日	A. A	中2	14:00	玄関前		部活動の迎いの公用車から降りる際に車が完全に停車する前にドアを開けてしまった。	怪我なし
2	5月6日	A. A	中2	11:00	市内		公用車乗車中に助手席に座っていた本児がバックミラーをいじる	
3	5月7日	M. M	幼児	7:15	園内階段		ユニットから1人で黙って出て、階段を下りていた。	気づいた職員がユニットに戻した
4	5月10日	H. K	幼児	18:30	園内階段		ユニットから1人で黙って出て、階段を下りていた。	気づいた職員がユニットに戻した
5	5月27日	S. S	小4	日中	居室		自室の窓から身を乗り出していた。	職員が気づき注意。窓にチェーンを取り付け開放できる範囲を調整した。
6	5月27日	S. S	小4	日中	ホール		ソファの肘掛けの上に立ち、壁とトイレのドアに背面に上体を反らしていた。	気づいた職員が危ないからと注意するが聞き入れずトラブル。
7	5月26日	M. Y	小3	19:00	階段		ユニットで暴れる本児を保育士が別室対応するために階段踊り場に連れ出したが、暴れるため2人で手すりにつかまらなければならない状態になった。	女性職員で対応が困難なときには複数対応すること。
8	5月27日	H. K	幼児	19:30	ホール		職員が置いた工作ばさみを間髪入れずに手にとって刃先を舐めた。	すぐに取り上げて厳重注意した。
9	10月27日	数名	小学生	15:30	グラウンド周辺		TV番組「サスケ」の真似をして小学生4名が鉄棒の上に立ったりしていた。	保育士が発見して注意した。
10	11月3日	H. K	幼児	19:00	ホール		保育士の筆箱から勝手にカッターナイフを持ち出した。	保育士が発見して注意した。
11	11月12日	H. K	幼児	16:30	浴室		入浴中に保育士が脱衣場で着替えを用意している間にふざけて一方の幼児がもう一方の幼児の顔を湯船に鎮めた。	湯船の中に幼児を入れたまま目を離さないよう徹底する。
12		K. N	幼児					
13	12月9日	H. K	幼児	20:00	ホール		アドベント礼拝後に火を消したばかりのろうそくを踏んでしまった。	外傷なし
14	12月13日	S. H	幼児	16:00	居室		転がっていたビー玉を口の中に入れていた。	職員が気づき出させた。
15	1月1日	S. H	幼児	日中	居室		口の中におもちゃの宝石を口に入れていた。	職員が気づき出させた。
16	1月11日	K. M K. H	小5・小4	19:30	ホール		荷物整理をしていてテーブルを持ち上げたときに窓ガラスに当たった。	破損なし。
17	1月18日	A. M	幼児	8:30	園内通路		ゴミ捨ての手伝いでみぎわ園への通路を歩いていて車にひかれそうになった。	車が徐行していたので無事だった。
18	1月18日	H. K	幼児	7:30	食堂		果物ナイフの鞘を自分で外していた。	職員が気づき注意した。
19	2月10日				ホール		裁縫用の針が1本ホールに落ちていたのを高校生が発見。	職員が回収、児童に注意呼びかけ
20	2月10日				ホール		ヘアアイロンの電気が入れっぱなしだった。	職員が気づきコンセントを抜いた。

(資料5) 苦情・要望受付状況

番号	期日	申し出人	分類	内 容	処理経過
1	4月12日	入所児保護者	苦情	27年度末の面会で子どもから「知らない」と言われた。親子関係を作るのは無理なので社会保険を返して欲しい。引き取り希望を拒否してきた施設がそう育てたのではないか。という内容の電話。	訴えは事実ではないと主張するが聞き入れず興奮して恫喝。1時間半ほど経ち落ち着いてきた中で、自身の反省も口にしてきたので今後の関わり方について児童相談所を交えて検討することとした。
2	4月19日	通学路沿いの住民	苦情	下校中にひまわり園の小学生男子が玄関に石を投げてきた。他の子どもに聞いてひまわり園の子どもだとわかったと苦情の電話。	園内で子どもに確認したところ、石を投げたことは否定するが、再度聞き取りをして石を蹴ってぶつけたことを認めため子どもを連れて謝罪に伺った。
3	6月21日	入所児童	苦情	夕食後の掃除後の時間に朝のことで指導員から指導を受ける中、真剣味に欠ける児童の胸ぐらを掴んで床に転がされた。それを笑った児童も旨や服を掴まれて押された。	対応方法としては適切ではなかったが、日常的に職員の注意を無視する児童の姿勢にも問題があると判断した。互いの対応を反省すべきであるとして話し合う。児童は児相等への訴えは希望しないとのことだったので、園内にて処理した。
4	9月22日	小学校父兄	苦情	ひまわり園児童が勝手に筆箱を開けて新品のペンキヤップを取り出して床に落として破損させた。弁償すると言いつついっこうに弁償されない。学区外の店にしか売っていないため弁償できないと言われた。	事実関係を確認したところ、事実ではあるが担当職員には黙っていたという。担任教師にも報告した上で相手宅に謝罪のため伺った。
5	12月1日	職員	要望	担当児童のアルバイト代から本人の希望する日用品を購入させて上げたい。アルバイト代は基本的には貯金することになっているが、本人の生活の頑張りを評価して許可して欲しい。	本来は、アルバイト代は退所後に向けて貯金することになっているが担当職員からの評価が高く特別な配慮の希望が出たので許可されることとなった。
6	2月20日	里親	苦情	ショートプランでお世話になっている里親宅から、成人した実子のコレクションが無くなった。確認して欲しい。	最初は否定していたが最終的に品金を黙って持ち帰ったことを認めた。玩具を友人と交換したり金銭は飲食に使っていた。担当指導員、里親支援員、本児で謝罪とお返しの為に里親宅に伺った。
7	3月4日	入所児保護者	苦情	高校卒業後の進路について詳細の説明を受けていない。親として心配をしていたので決まった時点で丁寧な報告を受けたかった。	施設側の不備を謝罪して、ご理解を得た。
8	1月24日	小学校父兄	苦情	娘がひまわり園入所児童から体当たりをされたり石を投げつけられたり暴言を受けた。担任にも相談して注意してもらったが改善しない。娘は学校に行きたくないとも言っている。	すぐに本児に事実確認を行った上で指導、相手方に謝罪の電話を入れた。正式に顔を見て謝罪をしたいという申し入れを行い、学校で機会を作ってもらうことになった。しかし本児が園フル円座に罹患して謝罪の機会が延期され、相手方から顔を合わせる謝罪は不要であると言われたため園内での指導に切り替えた。

(資料6) 出張・研修報告

①出張・外部研修

期 日	内 容	会 場	人数
4月7日	県養協 施設長会緊急会議	シズウェル	1
4月12日	富士圏域社会福祉施設長連絡会 役員会	富士厚生園	1
4月12日	県養協 指導員保育士部会代表者会	シズウェル	1
4月20日	県養協 施設長会4月定例会	シズウェル	1
4月28日	県養協 福祉研究会	静岡ホーム	1
5月9日	東部児童福祉施設長連絡会 5月定例会	ひまわり園	1
5月13日	ふじ虹の会総会・フォーラム	富士市消防庁舎	1
5月14日	県養協 絵画展表彰式	シズウェル	4
5月15日	富士圏域社会福祉施設長会 総会	プレステージ ノイ	1
5月15日	県養協 栄養士調理員部会	シズウェル	1
5月16日	県養協 指導員保育士部会5月定例会	富士山こどもの国	3
5月17日	県養協 福祉研究会	シズウェル	1
5月18日	県養協 施設長会5月定例会	シズウェル	1
5月25日	県養協 心理職員部会	シズウェル	2
5月29日	県養協 里親支援専門相談員部会	シズウェル	1
6月6日	～6月7日 県養協 関プロ運営委員会合同研修	おおとり荘	1
6月7日	東部社会福祉施設法人経営者協議会	ホテル沼津キャッスル	1
6月8日	県養協 家庭支援専門相談員部会	シズウェル	1
6月12日	社会福祉法人簿記入門講座	静岡労政会館	1
6月13日	県養協 新任職員研修会	シズウェル	4
6月13日	衛生・栄養管理講習会	ラ・ホール	2
6月15日	県養協 施設長会6月定例会	シズウェル	1
6月16日	常葉大学保育学部実習連絡会	ホテル グランド富士	1
6月18日	里親サロン	パラソル	1
6月25日	静岡県臨床心理士総会および大会	あざれあ	1
6月27日	県養協 事務職員部会	ひまわり園	1
6月27日	富士圏域社会福祉施設長連絡会 役員会	富士厚生園	1
7月4日	ショートルフラン調整会議 里親担当者会議	富士児相	1
7月4日	～7月5日 第53回関東ブロック児童養護施設研究協議会	成田ビューホテル	1
7月5日	県養協 指導員保育士部会7月定例会	静岡ホーム	6
7月6日	県養協 家庭支援専門相談員部会	シズウェル	1
7月19日	県養協 福祉研究会	シズウェル	1
7月20日	県養協 施設長会7月定例会	シズウェル	1
8月1日	食物アレルギー研修	こども病院	2
8月11日	里親交流事業	西の家表富士キャンピング場	1
8月11日	県養協 施設長会緊急会議	シズウェル	1
8月17日	県養協 里親支援専門相談員部会	シズウェル	1
8月18日	社会福祉法人施設事務職員経理応用講座	グランシップ	1
8月21日	社会福祉法人施設事務職員経理応用講座	グランシップ	1
8月17日	県養協 里親支援専門相談員部会	シズウェル	1
8月26日	地域の子どもの現状と施設に求められる役割	岩倉学園	1
8月28日	富士市長との懇談会	富士市役所	1
9月5日	養育研修会	みぎわ園	8
9月6日	オレンジリボンたすきリレー打合せ	富士市役所	1

9月7日	県養協 心理職員部会	静岡大学	2
9月13日	東部児童福祉施設長連絡会 9月定例会	ふじやま学園	1
9月14日	県養協 里親支援専門相談員部会	誠信少年少女の家	1
9月14日	県養協 家庭支援専門相談員部会	シズウェル	1
9月13日	県養協 指導員保育士部会 代表者会	シズウェル	1
9月15日	県養協 指導員保育士部会9月定例会	まきばの家	5
9月20日	県養協 福祉研究会	シズウェル	1
9月21日	県養協 第1回権利擁護研修	あざれあ	3
9月25日	食育指導者研修会	富士総合庁舎	3
9月28日	富士圏域社会福祉施設長連絡会 役員会		1
10月2日	社会的養護処遇改善加算説明会	シズウェル	2
10月3日	ショートルフラン調整会議 里親担当者会議	富士児相	1
10月5日	安全運転管理者講習	ホテル フラッシュアップ	1
10月5日	里親月間該当啓発活動	ピアゴ	1
10月5日	富士圏域社会福祉施設長連絡会 初任者研修	ペアステージ ノイ	2
10月11日	全養協特別セミナー「新しい社会的養育ビジョン」について	ニッショーホール	1
10月11日	今後の里親支援専門相談員の活動について	岩倉学園	1
10月12日	県養協 施設長会10月定例会	産業経済会館	1
10月12日	県養協 第2回権利擁護研修	産業経済会館	2
10月18日	県養協 指導員保育士部会 代表者会	シズウェル	1
10月19日	民社連と文教民生委員懇談会	富士市役所	1
10月20日	ブロック別児童福祉施設休職関係者研修会	プラザ・ヴェルデ	1
10月26日	食物アレルギーに関する情報交換会	フィランセ	1
10月28日	フォスターセッション	富士宮市役所	2
10月30日	県養協 福祉研究会	シズウェル	1
11月4日	第12期アレルギー大学in静岡	静岡労政会館	1
11月7日	～11月10日 第71回全国児童養護施設長研究協議会	とりぎん文化会館	1
11月16日	富士圏域社会福祉施設長会 視察研修	松崎十字の園・ふらつと月ヶ瀬	1
11月18日	～11月21日 日本心理臨床学会 第36回秋季大会	パシフィコ横浜	1
11月20日	県養協 家庭支援専門相談員部会	シズウェル	1
11月28日	～11月29日 第12回関東ブロック児童養護施設事務職員部会	埼玉パレスホテル大宮	1
11月29日	子どもの性的逸脱行動への対応	富士総合庁舎	1
11月30日	小児アレルギー教室	静岡こども病院	2
12月2日	～12月3日 子ども虐待防止学会	幕張メッセ	1
12月4日	県養協 里親支援専門相談員部会・研修	シズウェル	1
12月5日	～12月6日 東部児童福祉施設長連絡会 12月定例会	下田総合庁舎	1
12月7日	県養協 心理職員部会	シズウェル	1
12月14日	富士圏域社会福祉施設長会 福祉部長懇談会	富士宮市役所	1
12月19日	県養協 福祉研究会	シズウェル	1
12月21日	県養協 施設長会12月定例会	あざれあ	1
12月21日	県養協 第3回権利擁護研修	あざれあ	3
1月5日	ショートルフラン調整会議 里親担当者会議	富士児相	1
1月11日	県養協 家庭支援専門相談員部会	シズウェル	1
1月15日	調理技術研修	フィランセ	1
1月19日	富士圏域社会福祉施設長会 役員会	ひまわり園	1
1月24日	東部児童福祉施設長連絡会講演会「親子関係と親支援」	ホテル グランド富士	5
1月25日	県養協 施設長会1月定例会	シズウェル	1

1月25日	厚生労働省 入所児童実態調査説明会	静岡県総合庁舎	1
1月25日	県養協 福祉研究会	シズウェル	1
1月25日	県養協 全体研修「セラプレイ」	シズウェル	5
2月1日	県養協 家庭支援専門相談員部会	シズウェル	1
2月6日	県養協 事務職員部会・研修会	シズウェル	1
2月7日	「こども家庭ソーシャルワーカーの役割」	あざれあ	1
2月8日	県養協 心理職員部会	シズウェル	2
2月10日	里親啓発活動	大富士交流センター	1
2月15日	県養協 施設長2月定例会	シズウェル	1
2月15日	県養協 保育士等養成校との意見交換	シズウェル	3
2月15日	県養協 指導員保育士部会2月定例会「中堅職員研修」	静岡恵明学園児童部	2
2月16日	県養協 第5回里親支援専門相談員部会	シズウェル	1
2月19日	県養協 施設長会2月定例会	シズウェル	1
2月20日	～2月22日 児童福祉施設心理担当職員合同研修	子どもの虹情報研修センター	1
2月21日	県養協 福祉研究会	シズウェル	1
2月22日	子どもの性的逸脱行動への対応	富士総合庁舎	4
2月25日	里親啓発活動	フィランセ	1
2月27日	～2月28日 関東ブロック職員研修会	成田ビューホテル	2
3月3日	～3月4日 第28回 心の健康会議	山口市民会館	1
3月4日	子どものアレルギー疾患予防講習会	レイアップ御幸町ビル	1
3月6日	ショートプラン調整会議 里親担当者会議	富士児相	1
3月8日	県養協 施設長・部会長合同会議	シズウェル	2
3月8日	県養協 施設長会3月定例会	シズウェル	1
3月14日	東部児童福祉施設長連絡会 3月定例会	沼津リバーサイドホテル	1
3月18日	東部地区里親支援専門相談員意見交換	静岡恵明学園児童部	1
3月19日	県養協 福祉研究会	シズウェル	1
3月23日	平成29年度 施設利用精神障害者自立促進事業審査会	シズウェル	1

②園内職員研修会

期 日	研 修 内 容	担 当・発 題
5月15日	高齢児処遇について	山本
6月19日	ケースカンファレンス	金森 桑原 山本
7月14日	講義とワーク「満たすことと教えること」	中垣真通氏（子どもの虹情報研修センター）
10月12日	ケースカンファレンス	大石聡氏（県立こども病院）
10月17日	講義とワーク「受けとめる関わり」	中垣真通氏（子どもの虹情報研修センター）
11月14日	万引きをしない子を育てるために	山本
12月1日	子どもに「寄り添う」とは	佐竹 赤池
1月23日	ケースカンファレンス	田中 栗田 鈴木 和井内
2月13日	①新任職員の振り返り ②不正金問題	①田中 ②山本

③園内新任職員研修

期 日	研 修 内 容	担 当
5月9日	養育の基本	種田
6月29日	施設見学研修（誠信少年少女の家）	種田
3月12日	セラピーについて セカンドステップについて	山本

④感染症予防対策委員会

実施日	月1回	
-----	-----	--

(資料 7)

平成 29 年度 心理療法担当職員事業報告

① 個別心理治療

情緒的課題を抱えた児童への心理治療を目的とし、ひまわり園在園児童 3 名に個別の心理療法を実施。学習室内のプレイルームにて、週 1 回 45 分のセッションを実施する。

また、それぞれの児童のセラピー報告書を約 2 ヶ月ごとに提出している。

② 静岡県児童養護施設協議会の心理職員部会への参加（計 4 回）

③ セカンドステップの実施

④ 処遇検討会への参加

毎月行われている各ユニット（6 ユニット）の処遇検討会に可能な限り参加し、担当保育士らと共にアセスメントの作業を行い、援助方針の策定に携わった。

⑤ 園内研修の企画、実施、司会

- ・ 「高齢児処遇について」
2017 年 5 月 30 日 10:00～12:00 グループディスカッション
- ・ 「ケースカンファレンス」
2017 年 6 月 19 日 10:00～12:00
- ・ 「満たすことと教えること」
2017 年 7 月 14 日 10:00～12:00
講師：中垣真通氏（子どもの虹情報研修センター）
- ・ 「受け止める関わり」
2017 年 10 月 17 日 10:00～12:00
講師：中垣真通氏（子どもの虹情報研修センター）
- ・ 「万引きをしない子を育てるために」
2017 年 11 月 14 日 10:00～12:00 グループディスカッション
- ・ 自主研修「子どもに寄り添うとは」
2017 年 12 月 1 日 10:00～12:00 グループディスカッション
- ・ 「ケースカンファレンス」
2017 年 1 月 23 日 10:00～12:00
- ・ 「新任職員の振り返り & 不正金について」
2017 年 2 月 13 日 10:00～12:00 グループディスカッション

⑥ ひまわり幼稚園における児童対応

ひまわり幼稚園での保育サポートおよびアセスメントを適宜行っている。

⑦ 「こころこばなし」および社会的養護関連記事の配布

職員の養育スキル向上に繋がるような学びを提供するため、2016年9月より、月1回のペースで、「こころこばなし」と題したお便りを発行している。2017年度は12回発行。それぞれのテーマは『訓練の修了という始まり』『思春期について』『ネガティブな思いを聞くこと』『暗黙の了解』『クッション言葉』『言葉の中身を知ること』『評価の難しさ』個と集団』『素人と専門家』『基本、そして葛藤』『見守るということ』『詰問から内省へ』。

社会的養護関連記事は年間で31本配布した。

⑧ 研修参加および研修発表

- ・ 静岡県臨床心理士会総会および大会
日程 2017年6月25日 10:00～16:15
- ・ 静岡県児童福祉施設 指導員保育士部会 7月定例会
日程 2017年7月5日 10:00～15:00
- ・ 心理臨床学会 第36回秋季大会
日程 2017年11月18日～21日
「養女から母親への変容過程」
- ・ 日本子ども虐待防止学会 第23回学術大会
日程 2017年12月2日～3日
- ・ 静岡県児童権利擁護推進研修会
日程 2017年12月21日 13:30～16:30
- ・ 東部児童福祉施設連絡会主催子育て応援研修会
日程 2018年1月24日 15:30～17:00
- ・ 児童福祉施設心理担当職員合同研修
日程 2018年2月20日～2月22日
- ・ 第28回心の健康会議
日程 2018年3月4日

(資料8) ひまわりの種

①【小学生の部】

期 日	テーマ (議題)	内 容
4月22日 (土)	メンバーと役割分担	新メンバーの決定
	今年度、取り組みたい事や改善したい事	野菜栽培、交通安全への取り組み、種の会主催イベント (コンテストなど)
	登下校 交通安全	最近の状況確認
4月23日 (日)	メンバー自己紹介	入所児童に対し、種の会メンバーが自己紹介する
4月28日 (金)	畑耕作・野菜植え	栽培野菜の選定 シシトウ、ピーマン、キュウリ、ナスを植える。
4月29日 (土)		草取り作業と苗購入
5月4日 (木)		畑に苗を植える
5月12日 (金)	登下校 交通安全	最近の状況確認と対応
5月26日 (金)	登下校 交通安全「野菜栽培」	最近の状況確認と対応 栽培状況の確認
6月9日 (金)	今後の予定	野菜栽培、天王祭踊り練習打合せ、フリーマーケット打合せ
	朝の礼拝	最近の様子について
6月25日 (日)	フリーマーケットに向けて	子ども会フリーマーケットでの役割分担 収穫した野菜をどうするか
	野菜栽培	
6月30日 (金)	フリーマーケット	フリーマーケット商品の整理、値付け作業
7月2日 (日)		フリーマーケットでの販売
7月15日 (土)	登下校 交通安全	最近の状況確認
7月16日 (日)		落書きされた看板を種の会メンバーで消しに行く。
8月27日 (日)	朝の礼拝	最近の状況確認と改善策
	野菜栽培	畑の整備
	新たに取り組みたい事	新たにやってみたい事に対する意見交換
9月16日 (土)	オセロ大会・バイブレイド大会に向けて	オセロ大会 (園内予選) とバイブレイド大会 (種の会主催) の実施に向けて
9月17日 (日)	オセロ大会園内予選	県養主催行事、オセロ大会の園内予選を実施
11月5日 (日)	バイブレイド大会に向けて	事前準備、当日の役割分担
11月26日 (日)	種の会 バイブレイド大会	大会運営
12月26日 (火)	バイブレイド大会の反省	反省、気付き
	登下校 交通安全	最近の状況確認
1月21日 (日)	フリートーク	議題設定せず、自由に話す
2月24日 (土)	登下校 交通安全	最近の状況確認
		・この二人に対し、直接メンバーから注意を促す言葉をかける。
3月25日 (日)	1年間の振り返り	メンバーによる1年間の振り返り
	来年度に向けて	6年生からのメッセージ

②【中高生の部】

期 日	テーマ（議題）	内 容
4月23日	種会メンバーの募集	種会運営メンバーの募集
5月14日	要望についての話し合い	門限について 中学生自転車購入について
6月4日	要望についての話し合い	門限について 中学生自転車購入について
8月4日	夏祭り模擬店手伝い決め	模擬店手伝いの割り振り
8月15日	夏祭り準備	くじ引きの準備
12月2日	要望についての話し合い	中学生の自転車購入について
12月24日	クリスマス会について	くじ引きの準備

(資料9) 地域社会活動

①ボーイスカウト活動（富士一団）登録人数13名

期日	活動内容	活動場所
4月29日	みどりの羽根の募金	アピタ
5月20日	みどりの羽根の募金	しずてつストア
6月17日	工作	芙蓉会
7月23日	富士まつりパレード参加	中央公園
7月29日・30日	夏季キャンプ	須津川キャンプ場
9月30日	炊事訓練	丸火公園
12月10日	クリスマス装飾制作	芙蓉会
1月19日	凧作り	芙蓉会
1月21日	ビーバー集会	広見公園
1月28日	凧上げ	緑地公園
2月4日	国際交流フェア	ふじさんメッセ

②吉原小学校子ども会活動

期日	活動内容	結果・備考
5月28日	第10回吉原小校区ドッジボール大会	高学年男子（緑ヶ丘単独） 優勝 高学年女子（合同チーム） 準優勝 低学年男女混合（合同チーム） 準優勝
6月17日	盆踊り練習①	天王祭にむけ、今泉小緑ヶ丘町内の子ども達と踊り練習を一緒に行う。（小5・6年の参加）
7月1日	盆踊り練習②	
7月2日	うきうきフリーマーケット	売上金4,610円 種の会活動費に充てる。
7月8日	緑ヶ丘町内天王祭	今泉小の子達と一緒に神輿を担ぎ、練り歩く。
9月3日	第9回中部ブロックドッジボール大会	高学年男・女、低学年男女混合の3チームが出場する。いずれも初戦敗退。
12月17日	お楽しみ会	カップスタッキング・富士山かるた 他

③芙蓉会フットボールクラブ（通称：FFC）登録選手10名

期日	内容	結果・備考
6月10日・17日	ふじしんカップ（前期）	3敗1分
9月23日・24日	ふじしんカップ（後期）	4敗
10月8日	富士市スポーツ少年団大会	小学4年・5年の参加
10月29日	富士サッカーフェスティバル	小学6年の参加
1月6日	岳南大会 予選	3敗
1月7日	岳南大会 順位決定戦	3敗

(資料10) 行事の実施状況

①静岡県児童養護施設協議会行事

期日	実施行事	結 果
5月14日	第35回静岡県児童文化奨励絵画展	
8月22日	第46回静岡県児童福祉施設夏季球技大会	小学生男子 第3位 ベストチーム 第3位
11月25日	秋季文化交流会 (オセロ大会)	4名参加
1月14日	第40回静岡県児童福祉施設冬季球技大会	小学生男子 第3位 フェアプレイ賞 小学生女子 優勝 中高生男子 2回戦敗退

②園内行事

	期日	実施行事	部屋名	参加児童数	引率職員数
1	4月5日	サファリパーク	さくら・大地	2	2
2	4月18日	プロ野球観戦 (草薙球場)	銀河・大地	3	1
3	4月16日	Jリーグ観戦 (IAIスタジアム)	希望者	5	1
4	5月3日	演劇鑑賞 (静岡市民文化会館)	希望者	3	1
5	6月18日	横浜旅行	けやき	5	3
6	7月2日	演劇鑑賞カッパ座 (ロゼシアター)	幼児	10	3
7	7月23日	富士まつり	りんどう	3	1
8	8月1日	富士登山	希望者	7	3
9	8月2日	まかいの牧場	けやき	5	1
10	8月3日	川遊び (陣馬の滝・杵塚養鱒場)	大地	12	4
11	8月4日	プール遊び (富士マリンプール)	りんどう	7	3
12	8月7日	プール遊び (富士マリンプール)	さくら	8	3
13	8月10日	海水浴 (島郷海水浴場)	希望者	36	19
14	8月11日	プール遊び (富士宮市民プール)	けやき	5	2
15	8月17日	アニマルキングダム	りんどう	7	3
16	8月21日	プール遊び (富士マリンプール)	けやき	5	2
17	8月21日	プール遊び (富士マリンプール)	りんどう	7	3
18	8月24日	キャンプ (桃沢野外活動センター) ~26日	さくら	11	5
19	8月25日	プール遊び (富士マリンプール)	大地	13	3
20	8月27日	まかいの牧場	けやき	5	1
21	10月7日	映画鑑賞 (富士宮イオン)	りんどう	4	1
22	10月9日	カラオケ (ジャパンレンタカー)	りんどう	3	1
23	11月3日	映画鑑賞 (富士宮イオン)	りんどう	2	1
24	11月23日	東京ディズニーランド招待 (納得住宅工房)	希望者	53	24
25	12月3日	まかいの牧場招待	小学生	21	5
26	2月3日	球技大会祝勝会 (焼肉きんぐ)	小学女子	10	5
27	2月10日	雪遊び (富士山こどもの国)	希望者	12	7
28	3月3日	まかいの牧場	かえで	4	1
29	3月4日	東京見物	けやき	3	1
30	3月10日	外食と買い物 (静岡市方面)	大地	8	1
31	3月11日	ぐりんぱ	大地	5	3
32	3月11日	ボーリングと外食	かえで	3	1
33	3月17日	映画鑑賞と買い物 (富士宮イオン)	かえで	9	3
34	3月18日	ボーリングと外食	銀河	2	1
35	3月26日	ぐりんぱ	りんどう	3	1
36	3月26日	映画鑑賞 (富士宮イオン)	りんどう	5	1

(資料 1 1) 幼稚園・学校・地域との連携

①学校等との連携

期 日	関 係 機 関	内 容
5月18日	吉原小学校との連絡会①	施設概要説明と個別面談
5月19日	吉原小学校との連絡会②	個別面談
6月22日	吉原第一中学校との連絡会①	施設概要説明と個別面談
11月9日	吉原第一中学校との連絡会②	情報交換と個別面談
その他	個別支援会議	

②園への招待行事

期 日	内 容
8月19日	芙蓉会夏祭り 理事、評議員、ボランティア等を招待
12月25日	芙蓉会クリスマス会 理事、評議員、ボランティア等を招待

③地域防災訓練への参加

9月1日	地域防災訓練
------	--------

④地域交流

4月16日	生涯学習ソフトボール大会（職員1名 児童1名）
7月8日	天王祭（グラウンド開放、御神輿で町内練り歩き）

⑤ボランティア協力

- ・学習指導（週1回）…小西様 中村様 山崎様 佐野様 宮野様 深澤様
- ・七五三 … 丸喜衣裳店様 アイボリー美容室様 ひまわり美容室様 タカオカスタジオ様
- ・クリスマス…M&4D'S様 アミーコ・フリーチェ様
- ・クリスマス慰問…富士中央ライオンズ様
- ・散髪（年6回）…One's Mind（其田一生様）
- ・防犯教室、職業講話 … 富士防犯協会様、富士市商工会様
- ・ヨガ教室…プラナヴァンヨーガスタジオ（土井理恵様）
- ・餅つき慰問…株式会社ADEKA様
- ・クレーンゲーム慰問…フロンティアジャパン様
- ・センソリセラピー…富士健康美容サロン（渡邊武文様）

⑥施設開放

期 日	団 体	内 容	施 設
4月4日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
4月8日	東部企画会議	東部少年委員会	学習室
5月25日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
6月13日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
7月5日	東部企画会議	東部少年委員会	学習室
8月4日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
9月1日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
9月25日	東部企画会議	東部少年委員会	学習室
10月5日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
10月31日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
12月4日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
1月30日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
2月22日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
2月28日	東部企画会議	東部少年委員会	学習室
3月10日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室

⑦啓蒙活動

期 日	内 容	団 体	会 場
2月4日	発達障害児の対応	広見福祉推進会	広見まちづくりセンター
2月10日	児童養護施設の現状と課題	SASAERUフォーラム	ひまわり園

(資料12) 家庭支援等の実施状況

(1) 家庭支援

①児童と保護者の連絡状況(3月1日現在の在籍児童)

状況	一時帰省	一時外出	面会	電話のみ	手紙のみ	連絡なし
人数	26	3	16	1	4	7
割合	45.6%	5.3%	28.1%	1.8%	7.0%	12.3%

合計
57名

②面会実施状況

月	面会件数	月	面会件数
4月	13	10月	9
5月	8	11月	8
6月	7	12月	11
7月	17	1月	8
8月	5	2月	12
9月	6	3月	13

合計
117件

③一時帰省状況

	帰省期間	人数	備考
夏季	8/5~8/13	21	※個別ケースにより期間の長短あり
冬季	12/26~1/3	21	※個別ケースにより期間の長短あり

(2) 里親支援

①ショートルフラン(短期里親委託事業)状況

	期間	人数	備考
夏季	8/4~8/16	1	中1男子
	8/10~8/11	1	中2男子
	8/11~8/15	1	高2女子
	8/23~8/24	1	中4男子
冬季	12/26~1/3	1	中1男子
	12/30~1/2	1	中2男子

②週末里親委託状況(通年で4名の児童を委託)

月	委託人数	月	委託人数
4月	3	10月	2
5月	3	11月	2
6月	2	12月	3
7月	2	1月	1
8月	0	2月	2
9月	2	3月	1

※1回につき、概ね2泊3日で実施

③里親認定前研修

	研修	実習	人数
1	6月27日	-	2
2	11月5日	-	3
3	11月18日	-	3
4	11月22日	-	2
5	11月26日	-	2
6	11月27日	-	2

④里親支援専門相談員の活動

	期 日	活 動 内 容	場 所
1	9月18日	S. F 週末里親見送り・迎え入れ・記録	ひまわり園
2	9月14日	里親支援専門相談員部会参加	パラソル・誠信少年少女の家
3	9月22日～24日	K・W 週末里親連絡調整・見送り・迎え入れ・記録	ひまわり園
4	10月4日	ショートトルフラン調整会議・里親担当者会議	富士児相
5	10月5日	里親啓発・(ちらし、ボールペン等を配る)	アピタ
6	10月6日～9日	K・W 週末里親連絡調整・見送り・迎え入れ・記録	ひまわり園
7	10月15日	里親啓発・(ちらし作成・ちらし配り)	中央公園
8	10月28日	フォスターセッション参加	富士宮市役所
9	10月29日	S. F 週末里親見送り・迎え入れ・記録	ひまわり園
10	11月2日～5日	K・W 週末里親連絡調整・見送り・迎え入れ・記録	ひまわり園
11	11月5日	里親基礎研修・資料作成・実施・報告書作成(3名)	ひまわり園
12	11月18日	里親基礎研修・資料作成・実施・報告書作成(3名)	ひまわり園
13	11月19日	S. F 週末里親見送り・迎え入れ・記録	ひまわり園
14	11月22日	里親基礎研修・資料作成・実施・報告書作成(3名)	ひまわり園
15	11月26日	里親基礎研修・資料作成・実施・報告書作成(2名)	ひまわり園
16	11月27日	里親基礎研修・資料作成・報告書作成(2名)	ひまわり園
17	11月27日	里親サロン計画・準備・案内作成・実施・報告書作成	ひまわり幼稚園
18	12月4日	里親支援専門相談員部会参加・記録作成	シズウェル
19	12月8日	登録前研修参加	富士児相
20	12月18日	K. M 養育里親・里親宅訪問・引継ぎ資料作成・引継ぎ実施・記録	里親宅
21	12月26日～1月3日	K・W 冬季里親連絡調整・見送り・迎え入れ・記録	ひまわり園
22	12月30日～1月2日	R. Y 冬季里親 連絡調整・見送り・迎え入れ・記録	ひまわり園
23	1月8日	N. T 里親宅訪問	里親宅
24	1月28日	S. F 週末里親見送り・迎え入れ・記録	ひまわり園
25	1月29日	K. M 養育里親・里親宅訪問・引継ぎ資料作成・引継ぎ実施・記録	里親宅
26	2月8日	児童相談所と里親支援についての確認	ひまわり園
27	2月10日	里親相談会	大富士交流センター
28	2月16日	里親支援専門相談員部会参加	シズウェル
29	2月17日	里親サロン計画・準備・案内作成・実施・報告書作成	ひまわり幼稚園
30	2月18日	S. F 週末里親見送り・迎え入れ・記録	ひまわり園
31	2月23日	S. F 里親宅訪問 謝罪	里親宅
32	2月25日	里親相談会	フィランセ
33	3月2日	里親相談会準備・チラシ配り	富士宮図書館・保健所・社協・交流センター
34	3月6日	ショートトルフラン調整会議・里親担当者会議	富士児相
35	3月10日	里親相談会	大富士交流センター
36	3月11日	里親相談会	フィランセ
37	3月15日	K. W 里親委託に向けた支援会議・資料作成・実施・報告書作成	ひまわり園
38	3月18日	東部地区児童養護施設里専 1年間振り返り	恵明学園
39	3月29日	W. K 週末里親日程調整・実施・見送り・迎え入れ・記録	ひまわり園

(資料13) 児童の健康管理

①受診状況(治療・検査・予防接種)

科 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入 院													
土屋医院	53	8	11	21	11	14	14	31	25	23	19	18	248
土屋医院(薬のみ)	13	15	16	14	14	10	13	14	14	12	17	13	165
源太坂クリニック		1	1										2
小川小児科		1		3	4			1				2	11
いわずみクリニック										1			1
小松クリニック							1						1
片岡歯科医院	12	14	5	2	1	18	18	2	1	7	9	7	96
メロディ歯科			1		2	1	2						6
渡辺医院		1	1	2	3			1				5	13
三日市整形外科				1			1	1	3	3			9
鈴木整形外科	5		2	2	3	8	3	5				1	29
富士整形外科病院	4					6	1						11
渡辺整形外科											3		3
前田整形外科		1		1			2				1		5
善得クリニック	3		4								2	3	12
長谷川耳鼻科						3	1			1	6	2	13
里和耳鼻科	9	3	2		1	1	2	2		2	8	7	37
たかいクリニック		1	2	3	1	1	3	1	1	2			15
米本皮膚科	4	5	2	8	7	8	7	2	3	4	2	1	53
とみ皮膚科	1	4	1	2	4	5		1	1	3	5	5	32
加藤眼科医院吉原分院											1		1
朝岡眼科医院	2	6	6	2	5		1	2		1		2	27
羅眼科		3	1										4
中西眼科						3		1	1	1		1	7
小森眼科				1									1
戸田眼科	1												1
芦川病院(眼科)		1											1
柳沢クリニック	2	3	1	1	1		1		1		1		11
宮崎クリニック(婦人科)	1	1	1	1			1						5
富士メンタルクリニック(心療内科)	2	1											3
富士メンタルクリニック(薬のみ)(心療内科)	1												1
どんぐり診療所							1						1
沼津中央病院								2	1	1	1		5
静岡徳州会病院(小児科)						1	1						2
中東遠総合医療センター								2	1				3
県立こども病院(内分泌科)										2			2
県立こども病院(こころの診療科)										1	1	1	3
県立こども病院(血液腫瘍科)										1	1		2
聖隷富士病院(小児科)	1				1	1		2				2	7
聖隷富士病院(循環器科)												3	3
富士市立中央病院(小児科)			2						1	1		2	6
富士市立中央病院(耳鼻科)				1									1
富士市立中央病院(皮膚科)			1		1	1				2		1	6
富士市立救急医療センター(小児科)				2	2	2	1	2		2		1	12
合 計	114	69	60	67	61	83	74	72	53	69	78	77	877

インフルエンザ感染者数：B型 21名(4月) 10名(1月)

②年間通院件数の推移

年 度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
件 数	817	908	888	651	830	806	877

③健康診断

4月26日(6人) 7月11日(1人) 10月16日(2人) 10月5日(1人) 10月18日(63人) 10月31日(1人)

④歯科検診

5月10日	ひまわり幼稚園(6人)	片岡歯科
-------	-------------	------

⑤予防接種

インフルエンザ予防接種	全員接種
-------------	------

⑥その他の予防接種…個人の計画表に沿って実施。

(資料14) 平成29年度 行事食の献立

①季節ごとの行事食

月日	行事名	献立
4月7日	小・中学校入学式	お赤飯・エビフライ・キャベツ・トマト・ポテトサラダ・うさぎりんご・お吸い物
4月8日	お花見	カラフルおにぎり・チキンナゲット・つくね・サラダ菜・ミニトマト・かまぼこ・いちご・ジュース
5月5日	こどもの日	お赤飯・春巻・サラダ菜・判三糸・プリンアラモード・そうめん汁
6月7日	芙蓉会創立記念日	お赤飯・エビフライ・キャベツ・人参・ポテトサラダ・プリン・お吸い物
7月7日	七夕	七夕そうめん・筑前煮・えだまめ・七夕ゼリー
8月19日	芙蓉会夏祭り	焼きそば・焼きおにぎり・とうもろこし・やきとり・かき氷・フライドポテト フランクフルト・揚げたこやき・ギョーザピザ・アイス・ジュース
9月16日	中学校運動会	おにぎらず・鶏肉のから揚げ・サラダ菜・ミニトマト・厚焼きたまご ミニアメリカンドック・えだまめ・みかん・ジュース
10月4日	お月見	ご飯・魚の西京漬け・ブロッコリー・なすの揚げびたし・お月見ゼリー・お吸い物
10月14日	原田運動会	サンドイッチ・ミニアメリカンドック・チキンナゲット・フライドポテト つくね・サラダ菜・ミニトマト・えだまめ・梨・ジュース
10月21日	小学校運動会	おにぎり・鶏肉のから揚げ・フライドポテト・つくね・サラダ菜・ミニトマト えだまめ・厚焼きたまご・みかん・ジュース
12月4日	七五三	お赤飯・クリームコロッケ・キャベツ・ミモザサラダ・うさぎりんご・お吸い物



【 こどもの日 】



【 七夕 】



【 十五夜 】



【 ハロウィン 】

月日	行事名	献立
12月22日	冬至	ご飯・かじきの味噌漬け焼き・ブロッコリー・南瓜のそぼろ煮・ゆずマフィン・とろろ昆布汁
12月24日	クリスマス・イブ	カラフルピラフ・鶏手羽元から揚げ・カリカリトーストサラダ・カルピスマース・コーンポタージュ
12月30日	もちつき	もち（大福・磯辺餅・きなこ餅・おろし餅）・カップ麺・ジュース
1月1日	お節料理	ご飯・鶏肉の照り焼き・日の出えび・吹き寄せ煮・昆布巻・栗きんとん かずのこ・伊達巻・紅白かまぼこ・紅白なます・黒豆・田作り・いちご
1月7日	七草	七草粥・カニカマロール・梅干し・キウイ
1月11日	鏡開き	おやつ→お汁粉
2月3日	節分	恵方巻き・魚のアーモンドフライ・サニーレタス・鬼のマドレーヌ・いちご・つみれ汁
3月3日	ひなまつり	カップ散らし寿司・クリームコロッケ・サラダ菜・彩サラダ・カラフル白玉・お吸い物
3月20日	小・中学校卒業式	お赤飯・ヒレカツ・キャベツ・ブロッコリーのサラダ・クレープ・お吸い物
3月21日	卒業・旅立ちを祝う会	寿司・サンドイッチ・ピザ・やきとり・エビフライ・骨付きウインナー・枝豆 フライドポテト・ごま団子・カップケーキ・カルピスマース・フルーツ・ジュース



【 クリスマス 】



【 卒業式 】



【 ひなまつり 】



【 卒業・旅立ちを祝う会 】

②誕生会献立

月日	献立	おやつ
4月29日(土)	ピザトースト・鶏肉のチュールップ揚げ・彩サラダ・フルーチェ・コーンポタージュ	ケーキ・ジュース
5月27日(土)	寿司・骨付ウインナー・フライドポテト・オニオンチップサラダ・クレープ	ケーキ・ジュース
6月24日(土)	ピザトースト・鶏肉のチュールップ揚げ・小エビのカクテルサラダ・あじさいゼリー・アメリカンチェリー・豆乳コーンスープ	ケーキ・ジュース
7月22日(土)	オムライス・ハンバーグ・サニーレタス・人参・カリカリトーストサラダ・ぶどう・白菜とコーンのスープ	ケーキ・ジュース
8月25日(金)	ピザ・ミニアメリカンドック・チキンナゲット・小エビのカクテルサラダ・梨	ケーキ・ジュース
9月23日(土)	手巻き寿司・ヒレカツ・グリーンサラダ・桃のゼリー	ケーキ・ジュース
10月28日(土)	バターロールサンド・えびグラタン・グリーンサラダ・ぶどうの2層ゼリー・かぶとベーコンのスープ	ケーキ・ジュース
11月25日(土)	えびピラフ・煮込みハンバーグ・グリーンサラダ・カラフルフルーツゼリー・ジュリアンスープ	ケーキ・ジュース
12月2日(土)	サラダ巻・鶏肉のから揚げ・炒り鳥サラダ・フルーチェ・お吸い物	ケーキ・ジュース
1月27日(土)	ピザ・やきとり・小エビのカクテルサラダ・ストロベリーパバロア	ケーキ・ジュース
2月24日(土)	バターロールサンド・マカロニグラタン・シーザーサラダ・カラフルフルーツゼリー・キャベツのスープ	ケーキ・ジュース
3月24日(土)	手巻き寿司・鶏肉のチュールップ揚げ・ミモザサラダ・白玉クリームあんみつ	ケーキ・ジュース



【 1月誕生会 】



【 2月誕生会 】

③個別誕生日リクエスト献立

月日	年齢	性別	リクエスト	献立
4月4日	5	女	ハンバーグ	ご飯・ハンバーグ・サニーレタス・人参・スパゲティ・サラダ・いちご・かぼとちめじのスープ
4月6日	10	女	ガトーショコラ	おやつ→ガトーショコラ
4月15日	13	女	鉄火丼	鉄火丼・ふきとがんもの煮物・きゅうりとゆかりの和え物・パイナップル・お吸い物
4月17日	17	女	ボロネーゼ風パスタ	ボロネーゼ風パスタ・オニオンチップサラダ・グレープフルーツ
4月28日	13	男	メロンパン	メロンパン・バターロール・ピーマンとじゃが芋千炒め・キウイ・牛乳
5月1日	15	女	とんこつラーメン	とんこつラーメン・ヘルシー餃子・サラダ菜・ミニトマト・グレープフルーツ
5月6日	14	女	チョコミントアイス	おやつ→チョコミントアイス
5月14日	13	女	シナモンロール	シナモンロール・サラダ・ゼリー・牛乳
	15	女	ざるそば(とろろ付き)	ざるそば(とろろ付き)・かき揚げ・南瓜のそぼろ煮・グレープフルーツ
5月16日	20	女	あんかけ焼きそば	あんかけ焼きそば・ひじきの中華マリネ・パイナップル・なめこともずくのスープ
5月21日	18	男	そばグラタン	バターロール・そばグラタン・カリカリじゃこのサラダ・オレンジ
5月22日	9	男	手巻き納豆	手巻き納豆・魚のナッツパン粉焼き・サニーレタス・白菜のおかか和え・パイナップル・お吸い物
5月23日	5	男	チョコレート	おやつ→マーブルチョコレート
5月29日	11	男	カツカレー	カツカレー・コーンサラダ・りんご
5月31日	18	男	しょうゆラーメン	しょうゆラーメン・にら馒头・サラダ菜・パイナップル
6月5日	8	男	のりたっぷりラーメン	のりたっぷりしょうゆラーメン・海鮮シュウマイ・サラダ菜・グレープフルーツ
6月11日	13	男	とろろかけ鉄火丼	とろろかけ鉄火丼・厚揚げとレタスの煮びたし・パイナップル・味噌汁
	14	男	スーパーカップ	おやつ→スーパーカップ
6月15日	15	女	チーズハンバーグ	ご飯・チーズハンバーグ・サニーレタス・人参・和風サラダ・りんご・ほうれん草のスープ
6月16日	13	男	フルーツポンチ	ご飯・太刀魚の塩焼き・ブロッコリー・里芋のそぼろ煮・フルーツポンチ・お吸い物
6月24日	8	男	ピザトースト	ピザトースト・鶏胸のチューリップ揚げ・小エビのカクテルサラダ・あじさいゼリー・アメリカンチェリー・コーンスープ
6月30日	14	女	フルーツサンド	おやつ→フルーツサンド
7月27日	16	男	チョコモナカアイス	おやつ→板チョコモナカアイス
7月29日	4	女	チョココルネ	チョココルネ・ツナサラダ・バナナ・牛乳
7月31日	4	男	チョコアイス	おやつ→チョコアイス
8月1日	16	女	ペヤング焼きそば	ペヤング焼きそば・水菜とちくわのサラダ・オレンジ・チキンボールスープ
8月3日	18	女	ゴーヤチャンプルー	冷やし中華・ゴーヤチャンプルー・オレンジ
8月9日	10	男	ピザトースト	ピザトースト・野菜のコーンクリームスープ・いんげんと切り干し大根のごまマヨ和え・ぶどう
8月11日	12	男	わんこそば	わんこそば・かき揚げ・胡瓜のごま味噌ヨーグルト和え・すいか
	12	女	ヤンヤンつけぼーチョコ	おやつ→ヤンヤンつけぼーチョコ
8月15日	10	男	チョココルネ	チョココルネ・ごぼうサラダ・フルーツ缶・牛乳



【 カツカレー 】



【 わんこそば 】

③個別誕生日リクエスト献立

月日	年齢	性別	リクエスト	献立
8月17日	14	男	爽 (アイス)	おやつ→爽
8月21日	11	女	フルーツレアチーズケーキ	おやつ→フルーツレアチーズケーキ
8月25日	14	女	スーパーカップ	おやつ→スーパーカップ
8月27日	14	男	爽 (アイス)	おやつ→爽
9月3日	10	女	すいかアイス	おやつ→すいかアイス
9月4日	8	女	マスカット	ご飯・和風ハンバーグ・サニールタス・人参・スパゲティ・サラダ・マスカット&巨峰・味噌汁
9月5日	13	男	苺ヨーグルトアイス	おやつ→苺ヨーグルトアイス
9月9日	13	男	しゃかしゃかポテト	ご飯・チキンソテー・しゃかしゃかポテト・グレープフルーツ・ジュリアンスープ
9月13日	13	女	クレープ	さつま芋ご飯・魚の和風ソテー・サラダ菜・レンコンのきんぴら・クレープ・味噌汁
9月14日	5	女	おいしいスープ	バターロール・クロワッサン・ピーマンとじゃが芋千炒め・みかん缶・おいしいスープ
	7	男	とんこつラーメン	とんこつラーメン・ヘルシー餃子・サラダ菜・ミニトマト・パイナップル
10月7日	15	女	たらこスパゲティ	たらこスパゲティ・木菜とちくわのサラダ・グレープフルーツ・ハムと野菜のスープ
10月10日	5	男	プリン	おやつ→プリン
10月16日	6	女	いちごのアイス	おやつ→いちごのアイス
11月23日	7	女	塩ラーメン	野菜たっぷり塩ラーメン・枝豆しゅうまい・サラダ菜・メロン
	9	男	牛丼	牛丼・海草サラダ・パイナップル・味噌汁
12月6日	14	女	ペペロンチーノ	ペペロンチーノ・カリフラワーとゆで卵のサラダ・メロン・キャベツのスープ
12月18日	15	男	パピコ	おやつ→パピコ
12月19日	15	女	わんぱくサンド	わんぱくサンド・鶏肉のトマト煮・りんご・かぶとしめじのスープ
12月25日	10	女	カルピスマース	カラフルピラフ・鶏手羽元から揚げ・カリカリトーストサラダ・カルピスマース・コーンポタージュ
1月11日	4	男	鶏肉のから揚げ	ご飯・鶏肉のから揚げ・キャベツ・白菜の甘酢和え・サイダーかん・味噌汁
1月18日	17	男	手巻き寿司	手巻き寿司・凍り豆腐チャンプルー・りんご・そうめん汁
1月19日	12	男	しょうゆラーメン	のりたっぷりしょうゆラーメン・にら馒头・サラダ・いちごミルク
	11	女	ハンバーグ	ご飯・ハンバーグ・サニールタス・人参・スパゲティ・サラダ・パイナップル・かぶとしめじのスープ
2月5日	4	男	しょうゆラーメン	しょうゆラーメン・大学芋・パイナップル
2月8日	16	女	ポテトベーコンスパゲティ	ポテトベーコンスパゲティ・彩サラダ・メロン
2月23日	18	女	とんこつラーメン	とんこつラーメン・にら馒头・サラダ菜・パイナップル
3月19日	3	女	チョコパン	
3月24日	4	男	たこやき	おやつ→たこやき
3月28日	10	男	塩ラーメン	野菜たっぷり塩ラーメン・大学芋・いちごミルク



【 手巻き寿司 】



【 野菜たっぷり塩ラーメン 】

④調理実習献立

月日	献立
4月16日(日) けやき	・巻寿司(各部屋で決める) ・もやし炒め ・ヨーグルト
5月7日(日)	・タコライス ・ゼリー ・具だくさんスープ
7月16日(日) かえで	・おにぎらず ・フライドポテト ・ぶどうの2層ゼリー
8月13日～15日 各部屋	・ショートルフラン・一時帰省の為、各部屋対応
9月24日(日)	・しょうゆラーメン ・焼き餃子 ・ゼリー
10月29日(日) りんどう	・鍋(トマト・カレー・寄せ鍋・ごま豆乳から選択) ・炭酸ゼリー(コーラ・CCレモン・グレープ・オレンジから選択)
11月19日(日)	・炊き込みご飯 ・春巻き ・フルーツヨーグルト
12月30日(土)～1月2日(火) 各部屋	・ショートルフラン・一時帰省の為、各部屋対応
2月11日(日) 各部屋	・バレンタインチョコレート作り
3月11日(日) 大地	・ご飯 ・チーズタッカルビ ・カルピスマース ・卵スープ



【 巻き寿司：キンパ 】



【 おにぎらず 】



【 チーズタッカルビ 】



【 炊き込みご飯 】

(資料15) 防災訓練実施報告

月 日	訓 練 内 容	参加児童数	参加職員数
4月2日	火災発生想定での避難訓練	50	15
5月7日	地震発生想定での避難訓練	44	12
6月4日	火災発生想定での避難訓練	50	6
7月2日	地震発生想定での避難訓練	51	12
8月6日	火災発生想定での避難訓練	68	12
9月1日	富士市総合防災訓練	12	28
10月1日	火災発生想定での避難訓練	60	10
11月5日	施設防災訓練	60	13
12月3日	地震発生想定での避難訓練	43	10
1月13日	火災発生想定での避難訓練	48	7
2月4日	地震発生想定での避難訓練	45	12
3月4日	火災発生想定での避難訓練	44	11

(資料16) 実習生受入状況

①保育士実習

	期 間	養 成 校	人数
1	5月9日 ～ 5月19日	常葉大学浜松キャンパス	1
2	5月22日 ～ 6月3日	常葉大学富士キャンパス	2
3	6月6日 ～ 6月18日	静岡県立短期大学	1
4	6月20日 ～ 6月30日	常葉大学浜松キャンパス	1
5	6月26日 ～ 7月6日	横浜こども専門学校	1
6	7月3日 ～ 7月14日	浜松学院大学短期大学部	2
7	8月7日 ～ 8月17日	常葉大学富士キャンパス	3
8	8月21日 ～ 9月2日	新潟県立大学	1
9	8月22日 ～ 9月2日	鶴川女子短期大学	2
10	8月22日 ～ 9月2日	常葉大学短期大学部	2
11	9月4日 ～ 9月16日	白梅学園短期大学	2
12	9月5日 ～ 9月16日	常葉大学短期大学部	2
13	9月18日 ～ 9月29日	鎌倉女子大学短期大学部	1
14	9月18日 ～ 9月30日	浜松学院大学	2
15	10月3日 ～ 10月14日	常葉大学短期大学部	2
16	10月16日 ～ 10月26日	沼津情報ビジネス専門学校	2
17	11月21日 ～ 12月2日	常葉大学短期大学部	2
18	2月13日 ～ 2月25日	和泉短期大学	2
19	2月22日 ～ 3月5日	鶴見大学短期大学部	2

(資料17) 設備保守・安全点検

点検項目	業者名	点検年月日	備考
電気設備	関東電気保安協会	5月5日	年6回
		7月20日	
		9月21日	
		11月15日	
		1月17日	
		3月9日	
消防設備	サンコー防災（消防設備）	5月26日	年2回
		11月30日	
	富士消防用品商会（消火器）	5月26日	年2回
		11月24日	
消防立ち入り検査	富士市消防本部	未実施	年1回
厨房リフト	(株) 一厨 法定点検	4月24日	年1回
	(株) 一厨	11回	月1回
建築設備	王子不動産(株)	10月31日	年1回
特殊建物等定期検査	王子不動産(株)	10月31日	2年に1回
害虫駆除（厨房）	(株) 大富士ダ ^ス スクターミック	5月26日	年2回
		11月14日	
害虫駆除（居室）	(株) 大富士ダ ^ス スクターミック	7月7日	年1回
害虫駆除（集会室）	(株) 大富士ダ ^ス スクターミック	7月29日	年1回
害虫駆除（高校生寮）	(株) 大富士ダ ^ス スクターミック	12月12日	年1回
水質検査	静岡県生活化学検査センター	1月9日	年1回
貯水槽清掃	(株) 富士クリーンサービス	3月18日	年1回

地域小規模児童養護施設ひろみ（ひまわり園加算事業）

事業概要報告

平成 29 年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け（承認年月日：平成 28 年 4 月 1 日）、本体施設の支援のもと、24 時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。

平成 29 年度は、小学生 2 名、高校生 3 名でのスタートとなりました。7 月に小学 2 年生女子 1 名が新しく入所しました。

ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な関わりを持てるように努めました。

新しく入所した児童につきましては、ひろみでの生活や学校生活を落ち着いて送れるように、児童相談所や学校と連携し支援してきました。また高齢児が多い為、出来る限り子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るよう心掛けて支援しました。

地域との関係を大切にすることを心がけました。地域活動への主体的な参加をすると共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切することを意識しました。例年同様に、地域の防災訓練やバーベキュー、運動会等の行事では主体的に参加しました。

また昨年度は地域の方々からお誘いを受けたイベントに、職員子ども共に積極的に参加しました。その中で様々な方々との出会いがあり、地域との関係に新たな広がりが生まれてきました。そういった交流の中で、ボランティアでひろみに関わって下さった方の紹介で、高校 3 年女子が老人福祉施設でボランティアを始め、就職につながるということもありました。

保育士は調理技術や知識を養う為に、外部研修への参加や自主学習に努め、保育士 1 名が調理師免許を取得しました。



重要事項報告

昨年度は高校 3 年生が 2 名おりました。1 名は希望していた就職先に採用が決まり、自立しました。もう 1 名は当初、進学を希望していましたが、夏休み明けに、受験勉強が進まないことや、施設への不満などを理由に受験を断念するといったことがありました。その後、就職活動に切り換え、民間企業への採用が決まり、良い形で自立していきましたが、高校では勤勉で成績も優秀でありましたの



で、子どもの最善の利益という観点からも、良い結果とは言えず、進路に対する支援に課題が残りました。

また昨年度は、傷んでいた屋根の軒天部分を全面的に改修しました。そこだけではなく建物の老朽化が目立つ箇所が増えてきておりますので、全面的な改修や、移転や新築を含めた計画を考えていく必要があります。

施設設備

・軒天補修

498,000円

渡辺建設工業（株）



基本目標1

家族と離れて生活する子どもたちが、安心・安全に生活できる環境を保障し、権利擁護意識の向上に努めます。（資料2.3）

日常生活において、個々が意見を言いやすい環境や雰囲気を作ることを意識して支援しました。高齢児の子どもへの支援では、精神的に安定しない子どもおり、苦慮することがありました。子ども間でのトラブルで、施設内の雰囲気が悪くなることも多々ありましたが、全員での話し合いの場を作り、その都度解決してきました。

また子ども全員に対して個別面接（個別ヒアリング）を実施し、個別の状況把握に努めました。高校生1名に対して本園の個別対応職員による個別面接を定期的に行いました。

基本目標2

生活を営む主役は子どもであり、日常生活において主体的に考え、取り組むことができるように支援します。（資料4.5）

「キンモクセイの会」（児童会）の充実を図り、個々の意思を尊重すると共に、自らの意見や行動でひろみの生活を改善、向上することを促しました。行事については子どもの希望を取り入れ、実施致しました。また子ども達には一般的な生活における経済観念を養う為に、毎月の電気、水道、ガスなどの料金の掲示や、行事についても予算を意識して実施出来るように支援をしてきました。

基本目標3

子どもたちの地域社会活動を支援し、集団の中での個の自立と技能向上を目指します。また、地域との関わりを持ち、地域住民としての自覚が育つように支援します。(資料6)

日常生活の中で近隣住民との関わりを大切にし、良好な関係作りに努めました。地域活動(防災訓練、運動会、バーベキューなど)への主体的参加に努めました。地域住民との日常の中での交流を大切にし、児童養護施設への理解が得られるよう努めました。また今年度は地域からお誘いを受けたイベントに職員子ども共に積極的に参加しました。



地域の方による書道ボランティア

基本目標4

社会的自立を目標とする子どもたちの自立支援を実施します。

高校生についてはアルバイトやボランティアを継続できるように支援しました。自立を控えている高校生に対しては、ひろみ職員が企画する勉強会を実施しました。

自立支援計画書を作成しておりますが、それが活かされていないので、内容と活用方法を検討する必要があります。

進学支援については、進学希望の子どもが、途中で進学を諦めるといったことがありましたので、支援のあり方を振り返る必要があります。



メイクアップ講座のボランティア

基本目標5

家族再統合のための保護者との関係強化および児童相談所、学校、施設など社会的養護の連携に努めます。(資料7)

児童相談所との連携に努めました。児童の担当児童福祉司、心理司には定期的な面接をお願いし、ほぼ全員の児童に実施して頂きました。しかしケースワークが全く進展しなかったケースがあったので、保護者や行政への働きかけには課題があります。学校とは本読みカードなどを通して、日々の連絡を重視し、新しく入所する児童については事前に学校でケース会議を開くなど、連携して支援致しました。

基本目標6

子どもの健康に配慮すると共に、環境の整備、防災教育を推進し、安全な生活を支援します。(資料8, 9)

子どもの健康に配慮し年1回の健康診断、インフルエンザの予防接種を実施しました。防災訓練を月1回実施し、児童ならびに職員の防災意識の向上に努めました。また非常時に必要な物品を確認し、不足している物を揃えました。

感染症への対応としましては子ども6人中5人がインフルエンザに罹るなど、感染症への対策が大きな課題となりました。

基本目標7

実習生の受入を検討して児童養護施設の理解を広げ、後進の指導に努力します。(資料10)

実習生は1名受け入れましたが、他施設のグループホームと比べると少ないので、今後の検討事項となります。

資料1 入退所状況

①平成29年度 月別児童在所状況 (初日在籍)

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実人員	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	66	5.5

②理由別入退所児童一覧

入 所 児 童				
氏 名	性別	学年	入所日	入 所 理 由
N. N	女	小2	7月20日	継父逮捕 ネグレクト
退 所 児 童				
氏 名	性別	学年	退所日	退 所 理 由
F. M	女	高3	3月31日	就職自立
S. M	女	高3	3月31日	就職自立

資料2 個別対応職員による対応の状況

日 付	対象児童	内 容
5月24日	高3女子M	個別面接
7月20日	高3女子M	個別面接
7月27日	高2女子Y	個別面接
8月8日	小5女子	個別面接
9月24日	高3女子M	個別面接
1月3日	高3女子M	個別面接
3月9日	高3女子M	個別面接

資料3 外部研修報告

年月日	主催者	研修内容	参加人数
5月16日	静岡県児童養護施設協議会 指導員保育士部会	5月定例会 性教育について	1
6月13日	静岡県給食協議会富士支部	衛生、栄養管理講習会	1
7月5日	静岡県児童養護施設協議会 指導員保育士部会	7月定例会 精神疾患への理解	1

9月15日	静岡県児童養護施設協議会 指導員保育士部会	9月定例会 事例検討	1
10月28日	ふじ虹の会	フオスターセッション2017	1
2月13日	静岡県児童養護施設協議会 指導員保育士部会	2月定例会 中堅職員に求められるもの	1

資料4 児童会「キンモクセイの会」の実施状況

日付	主な内容	
4月29日	生活の振り返り	各役割分担 テレビの時間 行事について
5月27日	生活の振り返り	生活の改善について
6月24日	生活の振り返り	朝の掃除 行事について
7月22日	生活の振り返り	調理実習について
9月23日	生活の振り返り	生活で意識することの確認について
10月28日	生活の振り返り	パソコンの使用について
11月25日	生活の振り返り	大掃除について
2月24日	生活の振り返り	新議長、書記決め 行事について
3月24日	生活の振り返り	希望DVD 春休みのテレビについて

資料5 行事報告

① 静岡県児童養護施設協議会行事

年月日	行事内容	参加児童数	引率職員数
5月12日	第36回静岡県児童文化奨励絵画展	1	1
11月25日	静岡県児童養護施設協議会オセロ大会	1	1
1月14日	第40回静岡県児童福祉施設冬季球技大会	3	2

② 施設内行事

年月日	行事内容	参加児童数	引率職員数
4月2日	招待行事 カレーパーティー	3	1
4月30日	カラオケ	3	1
5月6日	富士急ハイランド	2	1
5月14日	絵画展表彰式 日本平動物園	1	1
5月27日	映画鑑賞	1	1
7月28日	海釣り 焼肉	1	1

8月1日	富士登山 ※本園行事	1	1
8月12日	マリンプール	3	1
8月13日	映画鑑賞	2	1
9月24日	奇石博物館	3	1
10月15日	市民福祉まつり	6	2
11月23日	招待行事 東京ディズニーランド ※本園行事	4	1
12月3日	招待行事 まかいの牧場 ※本園行事	2	1
1月3日	初詣	6	1
1月4日	新年挨拶会 外食	6	3
2月10日	冬季球技大会祝勝会 焼肉キング ※本園行事	3	1
3月4日	お別れ会 カラオケ 外食	6	3
3月21日	卒業旅立ちを祝う会 ※本園行事	6	3
3月26日	カラオケ	2	1

資料6 地域活動への参加状況について

日付	内 容	参加児童数	職員数
4月1日	茶ノ木平町3組 会合に出席		1
4月2日	支援団体 SASAERU 主催 カレーパーティー	3	1
5月22日	組合 岩崎さん お通夜 受付係		1
6月5日	町内クリーン作戦 公会堂周辺を草刈り	2	2
6月24日	支援団体 SASAERU まち交流フォーラム		2
7月5日	青葉台地区 青葉祭り	3	1
9月2日	組合主催 バーベキュー	6	2
10月1日	青葉台地区運動会	5	2
10月28日	里親会 ふじ虹の会主催 フォスターセッション		1
11月30日	富士山駅伝 交通警備 事前説明会		1
12月3日	地域防災訓練に参加 非難訓練 消火訓練を実施	6	2
12月30日	富士山駅伝 交通警備 応援	4	1
2月10日	支援団体 SASAERU まち交流フォーラム		1
2月16日	ボランティア メイクアップ講座	2	1
3月30日	茶ノ木平町3組 会合に参加		1
3月31日	広見町内会招待 広見さくら祭り	3	1

資料7 家庭支援、児童相談所、学校との連携、心理的対応等について

日付	対象児童	内 容
4月24日	小5女子K	東部児相 担当児童福祉司と面接
4月27日	小5女子K	東部児相 病院にてケース会議（児相、病院、園）
5月2日	小5女子K	東部児相 担当児童福祉司と通院
5月24日	小5女子M	静岡市児相 担当児童福祉司、担当児童心理司と面接
5月29日	2人	富士児相との連絡会 個別相談
6月1日	3人	東部児相との連絡会 個別相談
6月5日	小5女子K	東部児相 担当児童心理司と面接
6月9日	小5女子K	東部児相 担当児童福祉司と通院
6月12日	高3女子F	富士児相 担当児童福祉司と面接
7月1日	小2女子N	東部児相 入所予定児童のケース説明
7月6日	小2女子N	東部児相 入所予定児童 施設見学
7月14日	小2女子N	東部児相 入所予定児童について小学校、児相とケース会議
7月31日	小2女子N	東部児相 入所児童 小学校見学
8月14日	高3女子F	富士児相にて実母と面会
8月14日	小2女子N	実母と面会 東部児相 担当児童福祉司同席
8月16日	小5女子K	東部児相 担当児童福祉司と通院
8月28日	小2女子N	東部児相 担当児童心理司と面接
8月28日	小5女子K	東部児相 担当児童心理司と面接
8月29日	小5女子M	静岡市児相 担当児童心理司、担当児童心理司と面接
9月18日	小2女子N	実母と面会
9月27日	小5女子K	東部児相 担当児童福祉司と面接
10月30日	小2女子N	東部児相 担当児童心理司と面接
10月30日	小5女子K	東部児相 担当児童心理司と面接
11月6日	小2女子N	東部児相 担当児童福祉司と面接
11月17日	小5女子K	東部児相 担当児童福祉司と通院
12月28日	小2女子N	東部児相 担当児童心理司と面接
12月28日	小5女子K	東部児相 担当児童心理司と面接
12月29日	高3女子M	実母と面会
12月30日	高3女子F	実母と外出
1月10日	小2女子N	実母、継父と面会 東部児相 担当児童福祉司同席
1月23日	小5女子M	静岡市児相 担当児童福祉司 担当児童心理司と面接
2月2日	小5女子M	東部児童相談所 入所予定児童についてのケース説明

2月2日	高3 2名	児童家庭支援センターパラソル 退所児童について個別相談
2月16日	小5女子K	東部児相 担当児童福祉司と通院
2月20日	高3 2名	児童家庭支援センターパラソル 相談員と面接
2月22日	小2女子N	東部児相 担当児童福祉司と面接
3月7日	小5女子M	富士児相 入所予定児童 施設見学
3月14日	小5女子K	病院にて実母と面会 東部児相 担当児童福祉司同席
3月16日	小5女子M	入所予定児童 学校見学
3月26日	小5女子M	入所予定児童 荷物受取 個別相談
3月27日	小5女子M	実父と電話交流 静岡市児相 担当児童福祉司同席
3月29日	小2女子N	東部児相 担当児童心理司と面接
3月29日	小5女子K	東部児相 担当児童心理司と面接

資料8 児童の健康管理

①受診状況（治療・検査）

医療機関	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
青葉クリニック								1		2	6	3	1	13
コスモ歯科						3		7	2					12
加藤眼科医院				1	1								1	3
鈴木内科			1											1
高木医院								1			1			2
フジ虎ノ門病院						1	1		1	1		1		5
米本皮膚科									1					1
宮下医院											1			1
合計		0	1	1	1	4	1	9	4	3	8	4	2	38

②健康診断

10月18日 全児童 実施。(土屋医院)

③予防接種

インフルエンザ予防接種	1回目 6名 2回目 3名
二種混合	2名

資料9 防災訓練報告

年月日	訓練内容						参加人数	
	避難訓練	夜間	火災	地震	消火訓練	自主点検	児童	職員
4月8日	○			○	○	○	5	1
5月13日	○		○		○	○	5	1
6月10日	○		○		○	○	5	1
7月2日	○			○	○	○	6	2
8月6日	○	○		○	○	○	6	2
9月1日	総合防災訓練				○	○	6	2
10月7日	○		○		○	○	6	1
11月5日	○			○	○	○	6	1
12月3日	地域防災訓練				○	○	6	2
1月9日	○		○		○	○	6	2
2月4日	○			○	○	○	6	1
3月4日	○		○		○	○	6	1

※11月16日 消火器点検を実施

資料10 実習生の受け入れ状況

新潟県立大学人間生活学部 1名	期間：8月21日～9月1日	10日
-----------------	---------------	-----

資料11 事故・ヒヤリハット報告

※平成29年度はありませんでした。

資料12 苦情・要望報告

※平成29年度はありませんでした。

恩賜記念みどり園 （定員 30 名：暫定定員 24 名）

事業概要報告

平成 29 年度は暫定定員 24 名で事業を実施しました。年間の充足率は、定員換算で 78%、（暫定定員では 97%）受け入れた乳幼児の内訳は措置入所 11 名（内 3 名は一時保護からの切替）、一時保護 9 名、合計 20 名でした。昨年を 12% も上回る充足率で、9 月以降は一時保護を含めて 24 名が在籍していたので空きがなく富士市のショートステイを受け入れることができませんでした。



平成 28 年に児童福祉法が改正され、その理念を具現化する事を目的に「新たな社会的養育のあり方検討委員会」が平成 29 年 8 月 2 日に「新しい社会的養育ビジョン」を示し、「就学前の子どもの新規措置入所の原則停止」や、「3 歳未満の子どもは 5 年以内に里親委託率を 75% 以上とする」という文言等が業界内で大混乱を引き起こしましたが、現実には、今年の 10 月以降の一時保護を含めた充足率は 100%（暫定定員換算）を超えていました。

入所した子どもの 55 パーセントは虐待を理由とする入所で、SBS（揺さぶられ症候群）や火傷跡のある子ども等、心のケアを優先する必要がある子ども達です。子ども達それぞれに必要な支援を子ども毎に作成する、オーダーメイドの支援を心掛けた結果、年間の通院率は今年の 8.7% から 4.8% に、入院率は 2.06% から 0.35% に戻すことができました。退所児は 9 名、44% に当たる 4 名が家庭復帰（前年は 28.6%）することができましたが、家庭支援専門相談員や個別対応職員等が行った家庭復帰等への総対応件数は 1,624 件で前年の 539 件の 3 倍を上回りましたが、子ども毎の支援構築の結果ではないかと考えます。児童養護施設には 3 名の児童が措置変更となりました。措置変更のための施設交流では、浜松市にある児童養護施設と 9 回の交流を行い、6 回は措置変更先に向くことで、措置変更先の環境にも慣れ、子どもが安心できる存在を確保し、乳児院で培われた安心感や自己肯定感等を損なうことなく次の居場所に繋ぐことができました。職員研修では、静岡県乳児院協議会の共催で、「正しい発達を見極める」と題し、育てにくい子どもへの理解を深める研修会を開催し、乳児院のみならず、児童養護施設の職員にも参加を呼びかけて 34 名の参加が得られました。当園の最大の課題である看護師の充足の問題ですが、平成 29 年度は常勤看護師 2 名と非常勤の看護師 3 名の確保ができましたが、年度当初に常勤看護師 3 名ではなかったため、小規模グループケア等の加算が受けられませんでした。

次年度は常勤看護師 4 名、非常勤看護師 2 名の体制で事業ができるようになりました。

重要事項報告

(1) 感染症について

① ヒトメタニューモウイルス感染症について

4月11日～4月24日の期間に0歳児2名と1歳児1名がRSウイルスと同じように上気道炎や下気道炎を伴う症状（鼻水、発熱、せき、喘鳴などがあり、重症になると呼吸窮迫）を示すヒトメタニューモウイルスに感染しました。1歳児は前年にRSウイルス感染で人工呼吸器による呼吸管理をした児童であったため、大事をとって10日間の入院をしました。0歳児2名は園からの通院治療で完治することができました。

② その他の感染症について

12月下旬に、1月上旬に季節性インフルエンザA型に職員の家族が罹患しました。また、1月中旬に職員がインフルエンザB型に罹患しました。また、2月中旬にも職員の家族がインフルエンザB型に罹患しています。いずれの場合も出勤停止として休暇を取らせましたので、園内にインフルエンザが広がることはありませんでした。

(2) 土地取得について（基本目標4に付随する追加事業）

みどり園北側の畑地が造成され急遽売りに出たので、より家庭的な施設外での小規模グループケア施設等の新規事業実現のため、平成29年6月7日（水）の164回理事会及び、6月14日（水）第51回評議員会の承認を得て購入することができました。

また、土地の所有権移転も無事完了しました。

物件：土地	富士市今泉2101番地の1	雑種地	176.00㎡
	富士市今泉2101番地の13	雑種地	2.21㎡
	富士市今泉2101番地の8	雑種地	181.00㎡
		計	356.21㎡（108.66坪）
購入金額	土地代金	21,000,000円	
	固定資産税等	69,853円	
	不動産仲介料	745,200円	
	土地売買司法書士料	390,973円	
	印紙代	10,000円	
	計	22,216,026円	振込手数料2,160円

(3) 積立金の名目変更について

平成29年6月21日付で満期になった人件費積立金20,000,000円を土地取得に資金に当てさせていただきましたので、本来の使用目的とは異なる使用をしたので、第165回理事会の承認を得て、施設整備積立金から人件費積立金へ名目変更を行いました。

(4) 看護師充足に対しての保護単価の改正について

平成 30 年 1 月に常勤看護師(常勤的非常勤含)の人数が充足したため、配置基準が改正され、入所児童 1.6 人に対して直接処遇職員 1 名から、入所児童 1.3 人に対して直接処遇職員 1 名に、職員は位置に関する保護単価の改正が示されました。

事務費 3,552,154 円が増加しました。また、単価の変更もあり補正を行いました。

看護師着任日：平成 30 年 1 月 22 日(月)

※常勤看護師 1 名・非常勤看護師 1 名(平成 30 年 4 月から常勤)

修正後の看護師人数

常勤看護師：2 名

非常勤看護師：3 名(内 1 名週 40 時間勤務の常勤的非常勤)

(5) 暫定定員超過による長期一時保護の受け入れのための事務費の追加について

平成 29 年度は暫定定員 24 名で事業を実施していましたが、保護を必要とする乳幼児がおり一時保護として長期の受け入れを行いました。このため、概算で、事務費 2,536,420 円、事業費 1,030,740 円の増加が見込まれたので補正を行いました。

(6) 処遇改善費の支給について

社会的養護関連施設に従事する職員にも処遇改善費が支給されることになり、常勤職員全体に民間給与改善費の 2% の加算と常勤の直接処遇職員に上限 40,000 円迄(月額：職員によって異なる)の処遇改善費が支給される事になり、本年度分の支給金額の概算が出たので、第 166 回の理事会で承認を受け、一時金として全職員を対象支給しました。

支給日：平成 30 年 3 月 30 日(金)

改善費加算額：民間給与改善費の 2% + その他の加算/職員数

支給総額：4,250,000 円(概算金額)

(7) 事故記録等

- ① 事故の記録 総事故数 18 件(対象児童 18 名)
通院児童 2 名(ベッドからの転落)
ベッドからの転落 2 件：挟み込み 4 件：転倒・衝突 8 件
誤食 2 件：不投薬・配薬忘れ 2 件
- ② 児童間の事故・噛みつき報告 総報告数 27 件
噛みつき 25 件：引っ掻き 1 名：不明 1 名(頬に青痣)
- ③ インシデントレポート(ヒヤリハット) 総数 41 件

(8) 苦情・要望受付

・処遇、運営に関する苦情・要望等 0 件

I. 事業報告等

1. さくらに感謝するお花見会 (管理部門実施目標：季節行事 お花見)

桜の古木を伐採する前に 60 年間芙蓉会の街路樹として敷地境界を守ってくれた 4 本の桜に感謝するお花見会を開催しました。みどり園の芝生堰堤で実施する計画を立てましたが、当日が雨天のため規模を縮小してみどり園の食堂前のベランダや食堂・プレイルームを会場として実施しました。ライトアップは予定通り実施することができました。

開催日時

(1) 通路側桜のライトアップ 4 月 12 日(木)～4 月 20 日(木) 17:45～21:00

(2) お花見会の開催日 平成 29 年 4 月 8 日(土) 雨天のため規模を縮小

お花見会内容について

※朝から雨が降り続いたのでみどり園の関係者のみで開催しました。

みどり園では食堂前のテラスで炭火を熾し BBQ とバウムクーヘン作りと、焼きマシュマロを行いました。

措置変更されて岩倉学園に行った子どもや、里親さん宅に行った子どもも参加して一緒に食事をとり、炭火でできる体験しました。



2. 桜古木伐採 (環境整備・修繕工事 ①)

伐採日：第 1 回 平成 29 年 6 月 17 日(土)

第 2 回 平成 29 年 6 月 24 日(土)

第 3 回 平成 29 年 6 月 30 日(金) 施工費用：302,000 円

経過

平成 29 年 6 月 15 日(木)、株式会社大松園より桜古木の伐採を 6 月 17 日(土)に実施したい旨の連絡が入ったため、理事長、法人本部および各施設に連絡するとともに、みどり園東側通路沿いの隣家への挨拶を行いました。

(みぎわ園側門東側～北側分岐路まで)

同時に芙蓉会理事芳賀正治牧師に連絡し伐採前の樹木鎮魂の祈りを依頼しました。

6 月 17 日(土)伐採日当日朝午前 8 時 30 分より芳賀牧師に祈りを捧げてもらい伐採を開始し、午後 5 時までに古木 2 本半の枝と幹を切り落とし、太い枝と幹の部分は、学習室裏の斜面に移動させ、保管しました。桜の状態は予想以上に重篤で、猿の腰掛の菌が幹の中心部を浸食しており、外側 5 cm 程度が生きている状態でした。残りの 1 本半は 6 月 24 日(土)と、6 月 30 日(金)

に伐採を行いました。根元周辺の直径が 80 cm を超えている物もあり、抜根は不可能であり、地上部分を完全撤去すると、切った場所が通路になってしまうため、地上 1m 程度を残しての伐採としました。



3. 先駆的施設への視察研修(基本目標 1 実施目標②：基本目標 4 実施目標①)

開催期日：平成 29 年 8 月 1 日(火)

視察場所：社会福祉法人唐池学園 乳児院ドルカスベビーホーム

視察参加者：園長・加茂弘子主任保育士・佐野静香主任保育士・望月沙織主任栄養士・松井博美主任事務員・渡邊京子看護師

視察目的

みどり園の今後の施設展開を検討する上での参考とするため、幹部職員を中心として視察研修を実施しました。視察施設は施設外での小規模グループケア 2 カ所を行っており、また、里親支援事業を実施している施設であるため、今後の乳児院のあり方を検討する上での一助となりました。

4. 外部講師を招聘しての研修会の開催(県乳協と共催：基本目標 1 実施目標②)

静岡県乳児院協議会との共催で、発達の遅れた子ども達への支援を充実させるべく、保健師であり感覚統合療法等を基に子ども達への支援を行っている(株)ゆう地域支援事業團の代表である町村純子氏による講演会を開催した。

当日は乳児院だけでなく、市内の児童養護施設や児童家庭支援センターの職員が 34 名して 3 時間の実技を交えての講義を受講することができた。

テーマ 「正しい発達を見極める」～こどもからのサインを見逃さないで～

講師：(株)ゆう地域支援事業團 代表取締役 町村純子氏

開催日時：平成 29 年 9 月 5 日(火) 13:00～16:30

開催場所：特別養護老人ホームみぎわ園 地域交流室

参加者数：34 名 (内みどり園職員 12 名)

5. 園外保育の実施について

①園外保育

入所児と担当養育者が1対1での関係を深めることを目的とした日帰りの社会体験を平成29年度は13回実施し、延べ71名児童が参加しました。

[別紙資料3-(1)参照]

②お泊まり保育（宿泊体験）の実施

入所児と担当養育者が1対1での関係を深めることを目的とした宿泊体験を「休暇村富士」のコテージを宿泊場所に設定し2班に分かれて実施しました。

第1班実施日：平成29年10月2日(月)～10月3日(火)

ぐりんば・まかいの牧場

第2班実施日：平成29年10月23日(月)～10月24日(火)

富士サファリパーク

[別紙資料3-(1)-②参照]

6. 土地取得について (再掲：基本目標4に付随する追加事業)

みどり園北側の畑地が急遽造成され売りに出たので、平成29年6月7日(水)の164回理事会及び6月14日(水)第51回評議員会を経て購入が決定した土地の所有権移転が完了しました。

物件：土地	富士市今泉2101番地の1	雑種地	176.00 m ²
	富士市今泉2101番地の13	雑種地	2.21 m ²
	富士市今泉2101番地の8	雑種地	181.00 m ²
		計	356.21 m ²
			(108.66 坪)

購入金額	土地代金	21,000,000 円
	固定資産税等	69,853 円
	不動産仲介料	745,200 円
	土地売買司法書士料	390,973 円
	印紙代	10,000 円
	計	22,216,026 円
	振込手数料	2,160 円

II. 施設整備・修繕等報告

1. 自動火災報知器と非常通報装置との連動工事の実施について

(環境整備・修繕工事 ②)

消防法の改正で平成30年3月31日までに実施しなければならない自動火災報知器と消防署への非常通報装置の連動工事を実施しました。

工事实施日：平成29年8月30日(水)

施工金額：140,400 円

2. ガス乾燥機の取り替えについて (環境整備・修繕工事)

当園の洗濯室で稼働しているガス乾燥機が購入以来15年の歳月が経過しドラムの回転軸が湾曲し、ドラムが本体に接触してしまい、取り替えが必要になったため、取り替えを実施しました。

取り替え実施日：平成29年9月26日(火)

購入金額：993,600 円

3. 防犯カメラ等の更新と追加設置について（環境整備・修繕工事）

当園がリース契約をしている SECOM の防犯カメラおよびモニター、録画装置、無停電装置等のリース期間が満了するため、機器の取り替えおよび北門のダミーカメラを録画できるものに取り替える新規契約を行い、工事を実施しました。

取り替え実施日：平成 29 年 9 月 26 日(火)

リース料の追加補正金額：38,000 円（年間リース料に追加）



改修前



改修後

4. オーニングの取り替えについて（環境整備・修繕工事 追加）

1階児童居室前の日よけが老朽化し、布地が切れて使用不能になり、取り替えが必要なため、布地に防災素材を使用した耐久性のある防災素材のオーニングに取り替えを行いました。

取り替え実施日：平成 29 年 11 月 10 日(金)

施工金額：2,538,000 円



改修前



改修後

5. おむつ交換室暖房機器取替工事（環境整備・修繕工事 追加）

おむつ交換室の暖房が老朽化したため、高効率の暖房機器に取替えました。

取り替え実施日：平成 29 年 11 月 10 日(金)

購入金額：109,080 円

6. 人工呼吸器ユニット 118 の新規購入について（環境整備 追加）

当園が設置している酸素ポンベのみで作動する人工呼吸器ユニット 118 が購入後 20 年近くの年月が経過しているため、最新モデルへの買い換えを実施しました。

取り替え実施日：平成 29 年 11 月 13 日(月)

購入金額：267,840 円

7. 洗濯室暖房機取替工事 (環境整備・修繕工事 追加)

洗濯室の暖房器具が灯油ストーブで、老朽化し灯油漏れを起こしたため、天井設置型の暖房設備に取替えました。

取替え実施日：平成 29 年 12 月 12 日(火)

購入金額：275,400 円

8. LED 照明への取替え工事 (環境整備・修繕工事 追加)

園舎の照明設備が老朽化しており、取替が必要になった場所から省エネルギーの LED 照明への取替えを行いました。

取替え実施日：平成 30 年 1 月 15 日(月)～3 月 2 日(金)

1 階廊下非常用照明等 LED 取替工事 : 167,616 円

1 階検収室・調乳室・用度品庫 LED 取替工事 : 38,830 円

2 階食堂照明 LED 取替工事 : 96,876 円

9. サンデッキの柵改修工事 (インシデントレポートからの改善)

サンデッキで遊ぶ乳児が柵に頭を入れてしまったり、柵から手を出して土や木の実を手に取り、食べてしまう危険があるというインシデントレポートの対策のため、サンデッキの柵にパンチングメタルの板を張って手が出ないように改修しました。

改修工事实施予定日：平成 30 年 3 月 26 日

施工金額：615,600 円



改修前



改修後



10. 食堂カウンター・窓改修工事 (環境整備・修繕工事 追加)

食堂と厨房を結ぶカウンターと窓が老朽化し、窓が外れそうで危険なため改修工事を行いました。

改修工事实施日：平成 30 年 3 月 27 日

施工金額：140,400 円

12. 花壇改修工事

プレイルーム外側に設置していたコンクリート製のフラワーポットが老朽化し、罅が入り、割れてしまったので、花壇に改修する工事を行いました。

改修工事实施日：平成 30 年 3 月 27 日

施工金額：320,000 円



改修前



改修後

13. プレイルーム収納棚の改修工事

プレイルームの収納棚の中に棚が何もないので玩具を積み重ねての収納になってしまい、出し入れに支障を来しているのので、棚を設置する改修工事を実施しました。

改修工事実施日：平成 30 年 3 月 27 日

施工金額：178,200 円

Ⅲ. 施設整備等一覧

(1) 固定資産計上取得物品等

① 土地・建物等取得支出

土地取得支出

内 容	数量	設置及び使用場所（使用者等）	金額
分園型小規模 GC 事業用 土地	1 式	本園舎北側(児童・職員)	22,216,026

② 器具および備品等取得支出

器具および備品取得支出

内 容	数量	設置及び使用場所（使用者等）	金額
衣類乾燥機	1 台	洗濯室(職員)	982,800
日除けオーニング*	4 セット	居室南サunde`ッキ	2,538,000
人工呼吸器ユニット	1 台	居室等(職員)	267,840

ソフトウェア取得支出

内 容	数量	設置及び使用場所（使用者等）	金額
給食献立ソフト	1 式	事務所(栄養士)	352,620

(2) 固定資産廃棄物品

内 容	数量 供用年月日	設置及び使用場所	残存価格	廃 棄 理 由
(0050): 機械および装置 (04002)防犯装置	1 式 H13.12.13	本園舎内・玄関等	1	新型へ取替、リース契約移行

IV. 基本目標の達成状況

基本目標 1

乳幼児の愛着形成を重視し、よりよい関係作りへの取り組みを心掛けた心身の発達支援を行う共に、みどり園としての家庭的養護推進計画の実現を目指し、より良い養育環境構築のための施策を実施します。

- 家庭的養護推進計画に基づく小規模グループケアや養育形態の小規模化に取り組みました。

平成 29 年度も小規模グループケアの加算申請はできませんでしたが、発達上の課題等から児童養護施設では受け入れが難しい 2 歳～4 歳の幼児 4 名を対象とした小規模グループケアを断続的に実施しました。子どもたちのペースを尊重しながら、より沢山の生活経験をするを主題に掲げ、勤務者をできる限り固定しながら実施時には 2～3 名の職員を配置し、様々な社会体験を増やす事を目標に取り組みました。

本体施設でも小集団での園外保育や分散養育の機会を増やし、子ども達が担当養育者と個別に過ごす時間の確保や、養育単位の小規模化を心掛けました。

- 小児精神科医の診察や、助言を受けながら関わりの難しい乳幼児への関わり方を模索する取り組みを行いました。

平成 29 年度はこどもの心の診療所の所長で小児精神科医師の山崎知克先生の診察や助言を受ける機会を 2 回程持つことができました。診察を受けた M さんは無事に里親さんへの措置変更に繋がられました。ビデオカンファレンスの開催が出来なかったのは残念ですが、アドバイスを職員間で共有することができた結果が得られたものと考えています。

- 発達の遅れた乳幼児の支援の充実に取り組みました。

平成 24 年の静岡県のモデル事業がきっかけで始めたリトミックも 5 年目を迎え、平成 29 年度も隔週 1 回 60 分ずつ、幼児のグループを対象に年間延べ 24 回実施することができました。平成 27 年度から園独自の事業となったプレイセラピーを発達課題を持つ 4 名の幼児を対象に、毎週金曜日と、隔週の火曜日の午前中に 65 日実施しました。1 日 2 名のセッションで合計 130 回、多い子どもで 44 回受けることができました。

また、小グループでの園外保育を奨励し、13 回述べ 71 名の子ども達と担当養育者とほぼ 1 対 1 での外出を実施し、より家庭的な時間の確保に務めることができました。



リトミック



園外保育

[資料 3- (1) 参照]

- ・主任クラスの職員を対象に、先駆的な取り組みを行っている乳児院の視察を行い、みどり園の養育内容や、設備についての意見を交換しました。

先駆的な施設への視察研修を計画し、各部門の責任者の職員等 6 名が神奈川県綾瀬市にあるドルカスベビーホームで、施設外 2 カ所で行っている小規模グループケアの様子などを見学し、分園型小規模グループケア施設の建設等を踏まえた、みどり園の将来像の参考にさせていただきました。

開催期日：平成 29 年 8 月 1 日(火)

視察場所：社会福祉法人唐池学園 乳児院ドルカスベビーホーム

基本目標 2

乳幼児の権利擁護について職員に徹底します。また、平成 28 年度に受審した福祉施設第三者評価の結果を基に、既存の養育形態を見直し、一層充実した支援を心掛けます。

- ・第三者評価で課題とされていた権利擁護の課題を克服するために、管理規定や行動指針の改定を行い職員への徹底を計りました。

平成 28 年度に実施した福祉施設第三者評価での指摘事項である被措置児童虐待防止ガイドラインを遵守する取り組みについて、ガイドラインの内容を反映させた、施設の管理規定や行動指針の改定を行い、職員全員に被措置児童虐待防止ガイドラインや、改訂版の管理規定等を配布し、月例会議で説明を行う等、職員への周知を図る機会を設けました。

全国乳児福祉協議会の「倫理綱領」や、「より適切なかかわりをするためのチェックポイント」を定期的に職員が確認する機会として、月例会やケース会議の前に唱和する取り組みは継続して行いました。

- ・乳児院における権利侵害や、養育不全状況についての見識を深める機会を持ち、権利侵害の防止や、新任職員への支援に努めました。

新規職員に新任研修会を通じて、子ども達への権利侵害に該当する事柄の説明や、職員としての心構え、就業規則などの説明に加え、法人創立から現

在までの歴史を通じて、法人創立者渡邊代吉氏や、戸巻俊一前理事長の思想や、法人の理念や、先達が守り続けてきた養育に対する姿勢等について学ぶ機会を設けました。

また、新任職員には年間の指導担当者を個別に配置して相談支援を行いました。

全国乳児福祉協議会総務委員会や、関東ブロック乳児院協議会運営委員会に職員を派遣し、最新の業界情報等を入手し、職員会議等で権利擁護の遵守や権利侵害が起こりやすい状況などを紹介しながら注意喚起・職員指導を行いました。

- ・ **社会福祉施設第三者評価内容評価基準等を基に自己評価を実施し、目標達成計画の見直しを行いました。**

第三者評価・自己評価委員会を年間で9回(全体5回・委員のみ4回)開催し、「社会福祉施設第三者評価内容評価基準」および、「第三者評価共通評価基準」を使用した自己評価を常勤職員全員で実施しました。この結果を基に、平成28年度に修正した、改善に向けた取り組み・改善計画の検証や見直しを行い、乳幼児の養育環境の充実や、運営に関する職場環境の整備に努めました。

基本目標3

児童の健康に関する処遇の見直しを行い、感染症発症時の対応および、夜勤帯の緊急事態への対応についての強化を行う。

- ・ **感染症への対応のため、任意の予防接種を施設負担で実施し、感染症予防への対応強化に努めました。**

平成29年度も季節性インフルエンザの予防接種は接種可能な6ヶ月以上の入所児童全員(23名)に実施しました。職員も33名(常勤・非常勤全員)が接種しました。

また、平成23年度より接種を推進している、ヒブワクチン(延23名接種)や小児肺炎球菌ワクチン(延24名接種)に加え、任意接種であるロタウィルスワクチンを延べ6名の乳児に接種させることができました。

さらに、任意接種で接種が推奨されているB型肝炎ワクチンを入所児童16名に接種しました。これにより、入所児童が平成29年度に受けた予防接種は延べ198件(児童分のみ)となりました。

入院した児童は5名、入院日数は延べ30日でした。ヒトメタニューモウ

イルス感染症で1名が10日入院しています。アレルギー検査等の日帰り入院や、1泊入院も含まれていますが、入院率は昨年の2.06%を大きく下回る0.35%でした。〔資料2-(2)参照〕

RSウイルス感染症や、インフルエンザ、感染性胃腸炎等の感染症の園内侵入を防ぐことができました。これは感染症委員会のメンバーが年7回の委員会を開催し、対策の根本的な見直しや、職員への徹底方法を検討し、早期のマニュアルの書き換え等を心掛けてくれた事や、「早期発見・早期治療」を日常的に心掛けている職員の努力や、協力の表れであると考えます。

〔資料7-(7)参照〕

・人工呼吸器「118救急車を呼ぶ前に」の取り扱い講習会を実施しました。

・看護師の欠員が解消しました。

長年の課題であった常勤看護師の定数確保への課題を解消することができました。年間を通じて看護師の求人情報をハローワークに出した結果、平成29年度は常勤の看護師2名と常勤的非常勤看護師1名、非常勤看護師1名を採用することができました、非常勤の看護師1名がご主人の海外赴任のため退職いたしました。平成30年2月には常勤看護師と常勤的非常勤看護師（週40時間勤務できる非常勤看護師）で3名の看護師最低基準を満たし、さらに助産師の採用が決定し、常勤看護師4名と非常勤職員2名の体制で新年度を迎えることができました。

・児童の隔離時の職員配置の増員を行い、看護・養育の対応強化に努めました。

非常勤保育士や、非常勤看護師、保育学部の学生アルバイト等の雇用を増やし、日中勤務する直接処遇職員の人数を増やすと共に、常勤職員の勤務を見直し人手が必要な早朝や、夕方の時間帯の勤務者確保を行い、隔離時には職員が1名配置できるように対応の強化を図りました。

夜間の緊急時の対応について「宿直者」の配置を計画しておりましたが、入所児童の減少と、日中の非常勤保育士の確保で、夜勤ができる常勤保育士の人数が増えておらず、勤務態勢が構築できず、実施することができませんでしたので、今後も継続して検討していきます。

・緊急一時保護児童の受け入れについて、被虐待児の入所時健康診断の受診の徹底と、感染症潜伏期間の可能性考慮した対応に努めました。

被虐待児等の緊急一時保護時の健康診断の受診の徹底を、各児童相談所に協力を求めることができました。平成29年度はRSウイルスの園内侵入を阻

止することができましたが、ヒトメタニューモウイルス感染が3名おりましたので。更なる対応の強化を図りたいと思います。

・夜勤の時間を短縮し、職員の負担軽減を図りました。

乳幼児突然死症候群（SIDS）対策の15分毎の安否確認や、関わりの難しい乳幼児の増加から夜勤帯に休憩時間や仮眠時間が確保できない状況も増え、職員の負担が増大しているため、16時から翌日の朝9時迄の17時間拘束、一晩で2日分勤務する夜勤から、19時から翌朝8時の13時間拘束(1日半)の時間に夜勤期間を短縮いたしました。これにより職員からは負担が軽減したと好評価を得ています。

基本目標4

小規模化に対応した園舎の建て替えに向けて、準備を開始します。

・分園型小規模グループケアの実施を想定し、園舎北側の土地を所得しました。

家庭的な施設形態とされている、分園型小規模グループケア施設の建設を想定して園舎北側に隣接する土地 356.21 m²（108.66 坪）を購入しました。

恩賜記念みどり園 平成 29 年度事業報告の附属明細書

資料 1 平成 29 年度入所実績表・入退所理由別表

(1) 平成 29 年度入所実績表

暫定定員 24 名

区分 性別 月別	実人員				初日 充足率	一時保護	途中入退所				総計	定員30名 充足率	暫定24名 充足率
	男子	女子	計	初日 在籍 延べ数	%	延人数	延人数	内訳		%		%	
								男子	女子				
平成29年 4月	9	9	18	540	60%	93	10	10	0	643	71%	89%	
5月	10	9	19	589	63%	98	0	0	0	687	74%	92%	
6月	10	8	18	540	60%	59	17	9	8	616	68%	86%	
7月	11	9	20	620	67%	7	22	22	0	649	70%	87%	
8月	12	10	22	682	73%	15	16	16	0	713	77%	96%	
9月	13	10	23	690	77%	5	16	0	16	711	79%	99%	
10月	13	11	24	744	80%	31	-1	-1	0	774	83%	104%	
11月	12	11	23	690	77%	50	0	0	0	740	82%	103%	
12月	12	11	23	713	77%	37	12	0	12	762	82%	102%	
平成30年 1月	12	12	24	744	80%	31	0	0	0	775	83%	104%	
2月	12	12	24	672	80%	28	0	0	0	700	83%	104%	
3月	12	12	24	744	80%	32	-33	-19	-14	743	80%	100%	
計	138	124	262	7,968		486	59	37	22	8,513	78%	97%	

(注) 表中の充足率は暫定定員ではなく、定員 30 名および暫定 24 名計算したものである。

(注) 表中の実人員数は、初日在籍の乳児の数

(注) 表中の延人数は、月の途中で入退所した乳児の数、及び一時保護乳児数を含む

$$\begin{aligned}
 & \text{暫定定員計算} \quad \text{初日在籍} \quad \text{途中入退所} \\
 & \quad \quad \quad 7,968 + 59 = 8,027 \text{ 人 (措置入所児童総数)} \\
 & \text{入所児童のみ} \quad 8,027 \div 30.4 \text{ 日} \div 12 \text{ 月} \times 1.11(90\%) = 24.42 \\
 & \text{一時保護含む} \quad 8,513 \div 30.4 \text{ 日} \div 12 \text{ 月} \times 1.11(90\%) = 25.90
 \end{aligned}$$

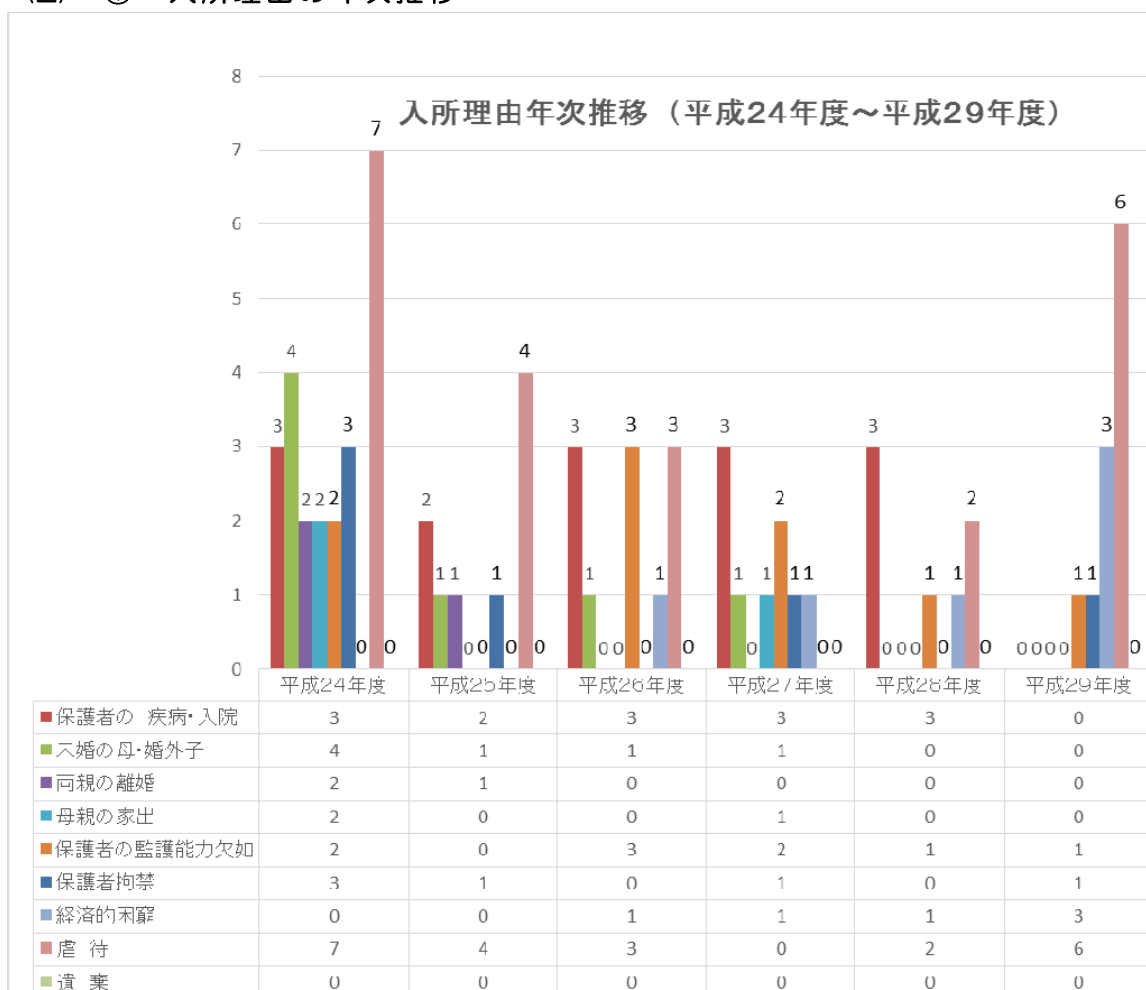
※ 計算式は厚生労働省雇用均等・児童家庭局からの通知によるものである。

(2) 平成 29 年度 入退所理由別表

入 所 理 由	人 数	退 所 理 由	人 数		
1. 養育困難 (1) 保護者の疾病・入院 (2) 未婚の母・婚外子 (3) 両親離婚 (4) 母の家出 (5) 保護者の養育能力欠如 (6) 保護者拘禁 (7) 経済的困窮	5 () () () () (1) (1) (3)	1. 家庭引取	4		
		2. 里親・FH委託	2		
		3. 他施設に措置変更 内訳 (1) 児童養護施設 (2) 障害児施設 (3) その他の施設	3 (3) () ()		
				4. その他	
				合計	9
		2. 虐待	6		
		3. 遺棄	0		
合計	11	合計	9		
4. 一時保護 (措置入所への切替3名含)	9	一時保護解除(退所) (家庭引取5名)	5		

*注1. 表中(1)～(2)の人数は入所・退所理由の細目内訳です。*注2. 入所理由は新規入所の人数

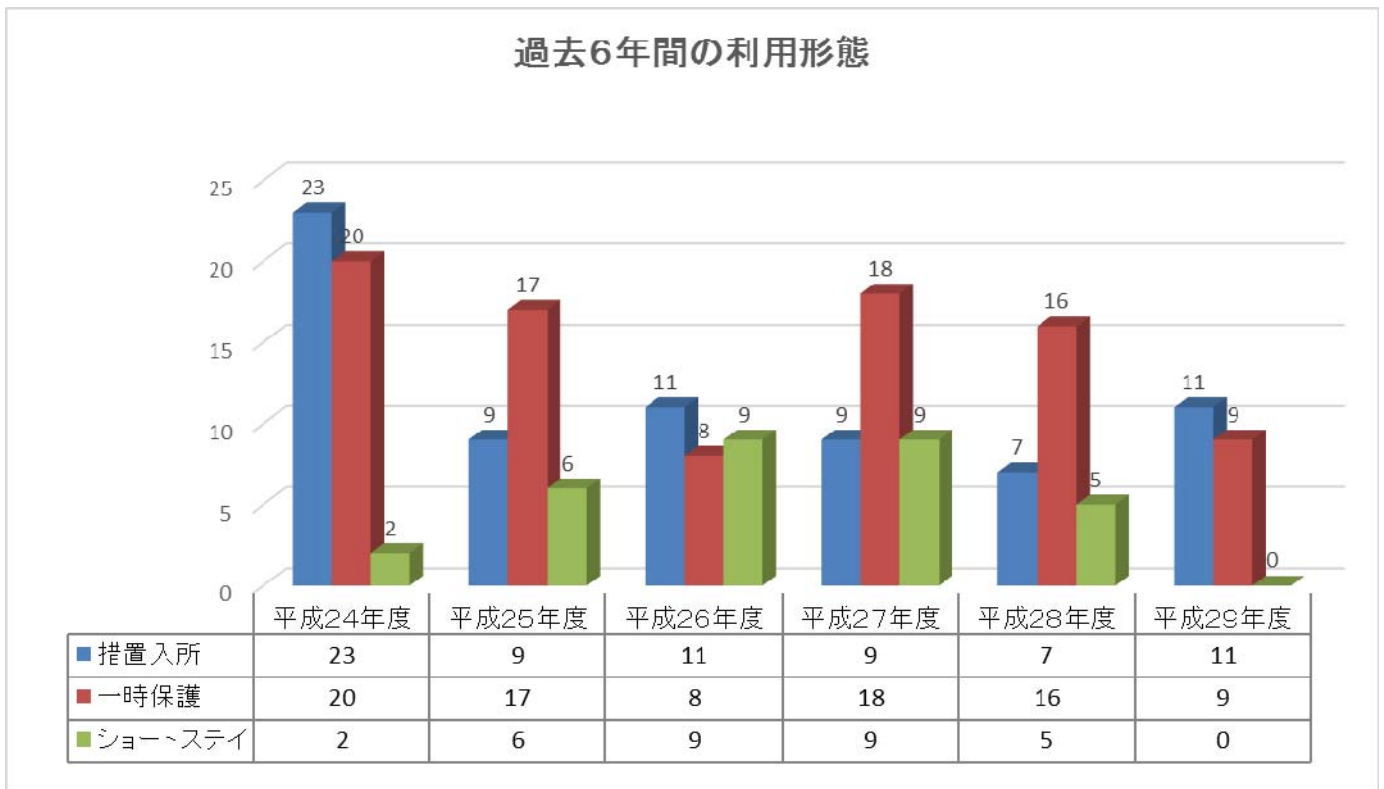
(2)－① 入所理由の年次推移



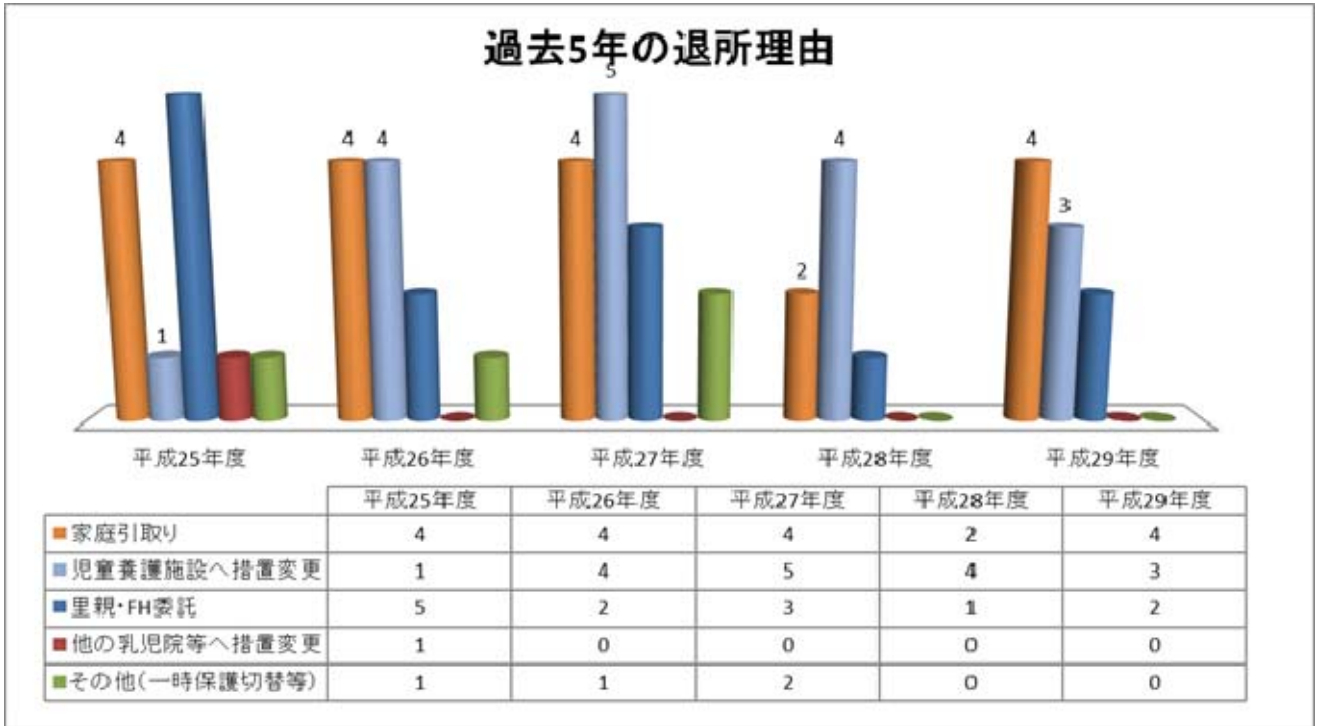
(2)ー② 平成29年度 富士市ショートステイの利用状況

年 齢	利用人数	利用日数
2歳未満	0人	0日
2歳以上	0人	0日
合 計	0人	0日
母 親	0人	0日

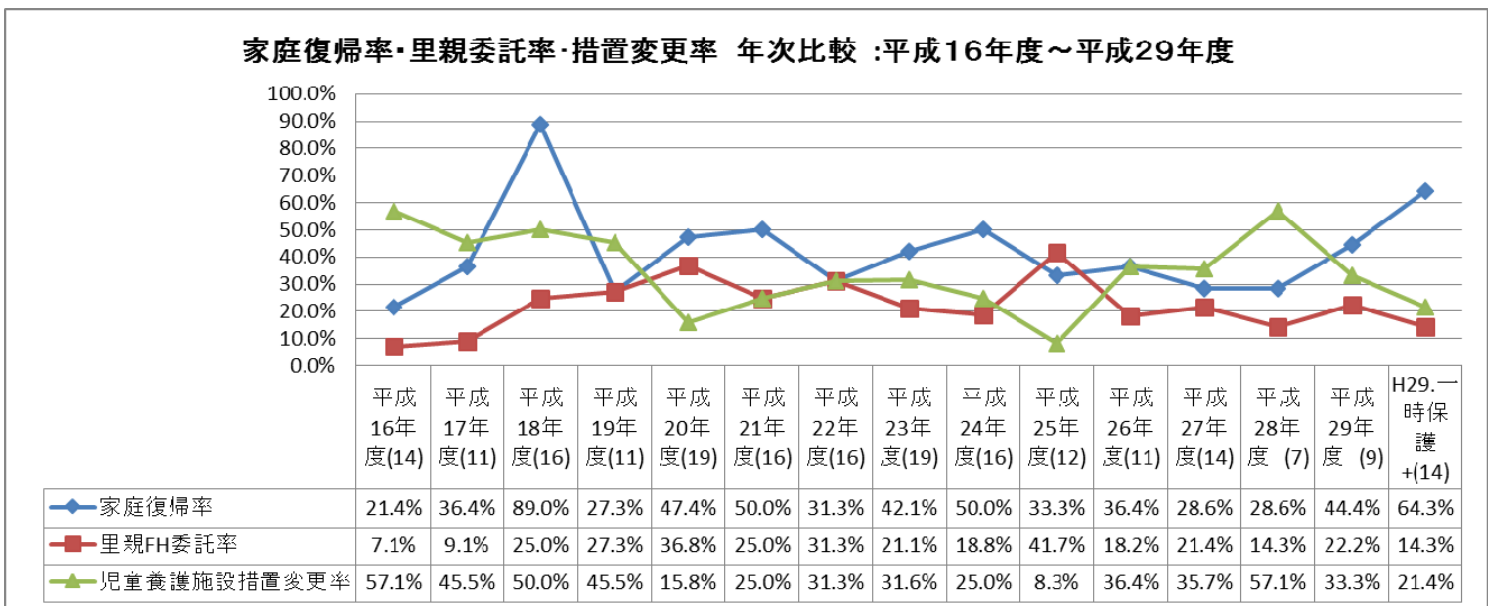
(2)ー③ 利用形態の年次比較



(2)－④ 退所理由年次比較



(2)－④ 家庭復帰率・里親委託率・児童養護施設への措置変更率の年次比較



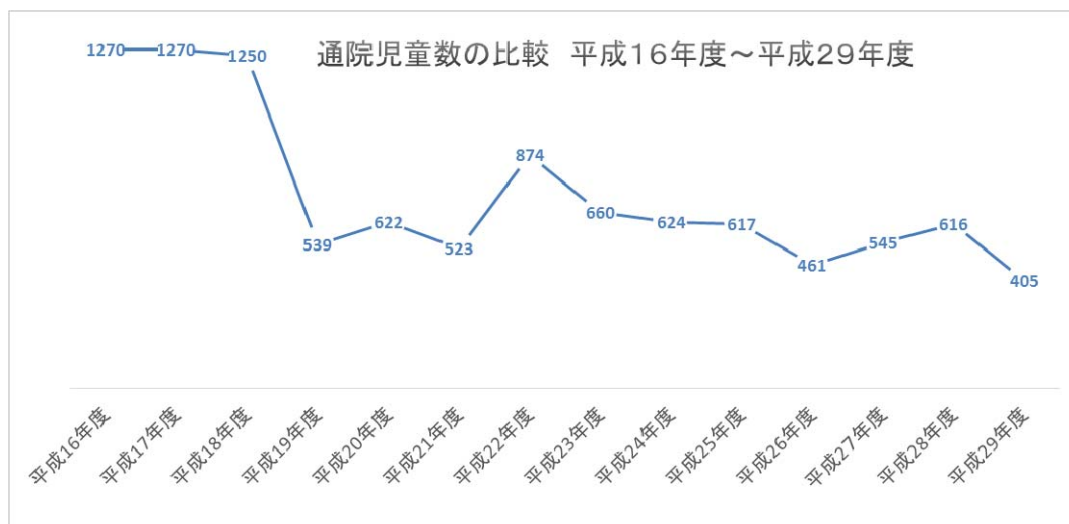
資料2 平成29年度 疾病科別受診状況及び予防接種、健康診断、事故記録等

(1) 通院及び予防接種・健康診断の記録 総受診件数 709件

(1)-① 平成29年度月別通院児童数 (年間405件)

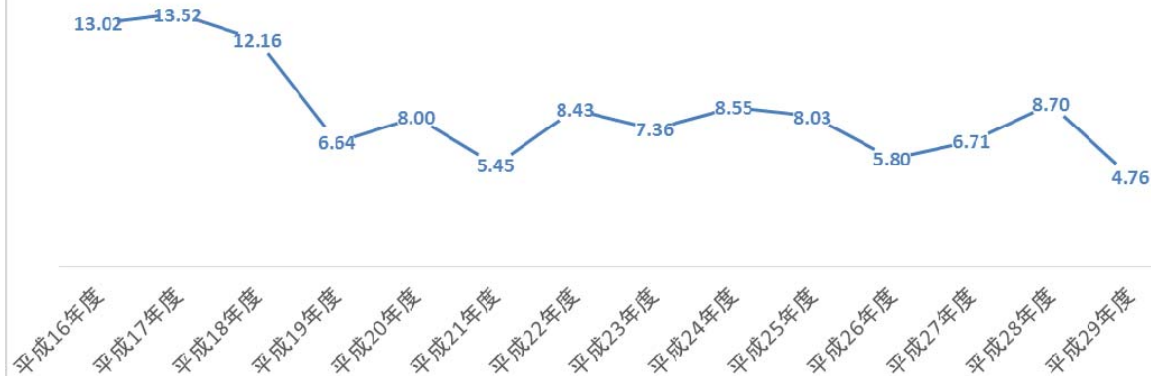
通院数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
いいずみファミリークリニック	12	8	10	13	8	12	40	24	15	8	10	25	185
小川内科小児科医院		2			1				1				4
かみで耳鼻咽喉科	10	11	3	2	6	3	12	12	5	4	6	4	78
小森眼科クリニック								1					1
海野皮膚科医院					2	1	1	1			2	2	9
米本皮膚科医院									2	1	1	2	6
片岡歯科医院													0
中山医院	1	1	1	1	2								6
沼津市立病院									2		2	1	5
こどもの心の診療所							1						1
富士宮市立病院		1								1	1	1	4
富士市立中央病院													
(整形外科)	3												3
(小児科)	5	9	5	5	3	7	8	6	7	4	3	4	66
(形成外科)					2	2		1				1	6
(救急外来)				1									1
県立こども病院													
(循環器科)				1					2				3
(耳鼻科)		1			1	1							3
(小児外科)									1			1	2
(眼科)								1					1
(神経科)			1			1			1				3
(新生児科)		1			1								2
(泌尿器科)												1	1
(アレルギー科)	1					2		1					4
(リハビリテーション科)			1										1
(救急外来)													0
富士市立救急医療センター	1												1
富士市立こども療育センター		2	1		1			1	1	2		1	9
通院数合計①	33	36	22	23	27	29	62	48	37	20	25	43	405

(1)-② 過去13年間の通院数・通院率の比較 (年間通院数の比較)



通院率比較:平成16年度～平成29年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均
平成16年度(9,755名)	712	758	796	869	952	872	843	810	837	837	756	713	9,755 名
通院数(1,270名)	67	101	87	62	134	161	173	141	82	98	96	68	1,270 名
通院率:通院数/延べ人数	9.41	13.32	10.93	7.13	14.08	18.46	20.52	17.41	9.80	11.71	12.70	9.54	13.02 %
平成17年度(9,393名)	571	616	630	646	693	812	894	855	853	929	907	987	9,393 名
通院数(1,270名)	78	89	69	45	59	127	128	136	126	81	180	152	1,270 名
通院率:通院数/延べ人数	13.66	14.45	10.95	6.97	8.51	15.64	14.32	15.91	14.77	8.72	19.85	15.40	13.52 %
平成18年度(10,238名)	894	850	893	867	851	817	884	870	868	868	776	845	10,238 名
通院数(1,250名)	99	157	93	191	93	96	98	140	124	40	56	63	1,250 名
通院率:通院数/延べ人数	11.07	18.47	10.41	22.03	10.93	11.75	11.09	16.09	14.29	4.61	7.22	7.46	12.16 %
平成19年度(8,143名)	572	638	632	655	628	618	692	690	746	780	723	769	8,143 名
通院数(541名)	46	56	82	80	55	32	44	19	49	17	32	29	541 名
通院率:通院数/延べ人数	8.04	8.78	12.97	12.21	8.76	5.18	6.36	2.75	6.57	2.18	4.43	3.77	6.64 %
平成20年度(7,771名)	709	688	630	616	496	464	554	657	732	752	651	822	7,771 名
通院数(622名)	31	31	75	59	15	20	94	70	89	60	35	43	622 名
通院率:通院数/延べ人数	4.37	4.51	11.90	9.58	3.02	4.31	16.97	10.65	12.16	7.98	5.38	5.23	8.00 %
平成21年度(9,596名)	705	691	703	783	829	864	930	854	855	815	774	793	9,596 名
通院数(523名)	83	34	38	38	45	29	44	24	27	27	24	110	523 名
通院率:通院数/延べ人数	11.77	4.92	5.41	4.85	5.43	3.36	4.73	2.81	3.16	3.31	3.10	13.87	5.45 %
平成22年度(10,371名)	730	803	823	934	907	902	892	869	914	920	812	867	10,373 名
通院数(874名)	24	72	44	60	96	65	69	94	79	59	135	77	874 名
通院率:通院数/延べ人数	3.29	8.97	5.35	6.42	10.58	7.21	7.74	10.82	8.64	6.41	16.63	8.88	8.43 %
平成23年度(8,971名)	781	805	740	824	806	747	713	690	726	734	694	711	8,971 名
通院数(660名)	66	63	69	79	77	61	56	51	52	26	25	35	660 名
通院率:通院数/延べ人数	8.45	7.83	9.32	9.59	9.55	8.17	7.85	7.39	7.16	3.54	3.60	4.92	7.36 %
平成24年度(7,298名)	447	476	450	528	573	571	638	683	748	700	713	771	7,298 名
通院数(624名)	33	38	28	54	39	31	71	44	74	42	59	111	624 名
通院率:通院数/延べ人数	7.38	7.98	6.22	10.23	6.81	5.43	11.13	6.44	9.89	6.00	8.27	14.40	8.55 %
平成25年度(7,688名)	601	558	543	636	625	667	734	690	701	677	601	655	7,688 名
通院数(617名)	60	50	59	43	31	47	71	41	62	43	50	60	617 名
通院率:通院数/延べ人数	9.98	8.96	10.87	6.76	4.96	7.05	9.67	5.94	8.84	6.35	8.32	9.16	8.03 %
平成26年度(名)	621	691	635	641	592	684	692	686	707	682	633	690	7,954 名
通院数(461)	52	66	47	33	11	42	52	55	33	16	19	35	461 名
通院率:通院数/延べ人数	8.37	9.55	7.40	5.15	1.86	6.14	7.51	8.02	4.67	2.35	3.00	5.07	5.80 %
平成27年度(名)	600	617	602	626	646	655	706	700	744	744	711	767	8,118 名
通院数(545)	45	28	19	28	30	50	77	59	58	49	43	59	545 名
通院率:通院数/延べ人数	7.50	4.54	3.16	4.47	4.64	7.63	10.91	8.43	7.80	6.59	6.05	7.69	6.71 %
平成28年度(名)	548	564	574	589	601	585	672	605	609	571	505	657	7,080 名
通院数(616)	24	48	40	82	88	39	52	61	47	53	37	45	616 名
通院率:通院数/延べ人数	4.38	8.51	6.97	13.92	14.64	6.67	7.74	10.08	7.72	9.28	7.33	6.85	8.701 %
平成29年度(名)	643	687	616	649	713	711	774	740	762	775	700	743	8,513 名
通院数(406)	33	36	22	23	27	29	62	48	37	20	25	43	406 名
通院率:通院数/延べ人数	5.13	5.24	3.57	3.54	3.79	4.08	8.01	6.49	4.86	2.58	3.57	5.79	4.757 %

平均通院率の比較 平成16年度～平成29年度



(1)－② 平成29年度 月別健康診断受診数 (年間106件)

健康診断	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生後1週間健診													0
1-2ヶ月検診	1						1						2
3-4ヶ月健診	1			2						1			4
6-10ヶ月健診				1	1	2	1		1	1	1		8
1歳-1歳半検診		1	2	1		1			1	1			7
3歳児検診						1		1					2
定期健診・歯科検診					23						25	24	72
入所時健診													0
退所時健診(嘱託医)		2		1			1					7	11
健康診断合計②	2	3	2	5	24	4	3	1	2	3	26	31	106

(1)－③ 平成29年度 月別予防接種実施児童数 (年間198件)

予防接種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
K-2シロップ													0
MRワクチン			1		2			2	1			3	9
BCG		3	1			2				1			7
日本脳炎					2	4	1		1		1		9
四種混合1~3回	3	3	4	5	5	3			2	2	2		29
インフルエンザ							20	11	12	4			47
シナジス(RSウイルス)													0
ヒブワクチン	1	3	2	2	3	3		2	3	1	2	1	23
小児肺炎球菌ワクチン	2	2	2	2	5	1		2	4	1	2	1	24
ロタウイルス		1	1	1					1	1	1		6
水痘			1	3	3			2	2	1	1	3	16
B型肝炎	2	2	10	3	3	1			4	1	1	1	28
その他													0
予防接種合計③	8	14	22	16	23	14	21	19	30	12	10	9	198
総計 ①+②+③	43	53	46	44	74	47	86	68	69	35	61	83	709

(2) 平成29年度 入院児童について(対象児4名 延人数5名・入院日数延30日)

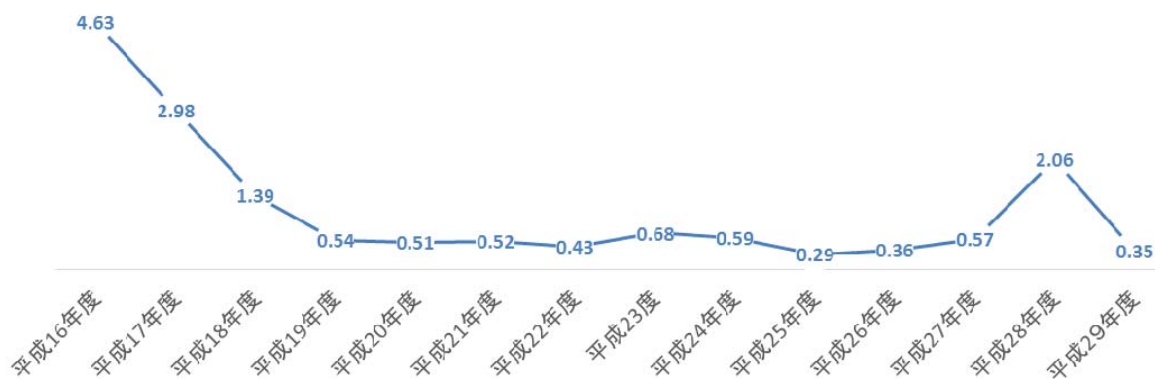
氏名	性別	入院期間	病院名	病名	入院日数
① H.K	男	平成29年4月11日～4月21日	静岡県立こども病院	ヒトメタニューモ感染	11
② Y.N	男	平成29年9月20日～9月20日	静岡県立こども病院	アレルギー負荷試験	1
③ Y.M	女	平成29年9月20日～9月26日	富士市立中央病院	尿路感染症	7
① H.K	男	平成29年10月2日～10月10日	富士市立中央病院	熱性痙攣	9
④ R.N	男	平成29年11月13日～11月14日	静岡県立こども病院	眼振精密検査	2
入院者数		5名		延べ入院日数 30日	

(2)-① 過去13年間の入院率比較

入院率比較：平成16年度～平成29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均
平成16年度(9,755名)	712	758	796	869	952	872	843	810	837	837	756	713	9,755 名
入院者数(28名延べ452日)	2	11	66	16	43	80	52	114	45	17	6	0	452 名
入院率:入院数/延べ人数	0.28	1.45	8.29	1.84	4.52	9.17	6.17	14.07	5.38	2.03	0.79	0.00	4.63 %
平成17年度(9,393名)	571	616	630	646	693	812	894	855	853	929	907	987	9,673 名
入院者数(27名延べ280日)	57	53	21	0	0	33	23	15	53	10	15	0	280 名
入院率:入院数/延べ人数	9.98	8.60	3.33	0.00	0.00	4.06	2.57	1.75	6.21	1.08	1.65	0.00	2.89 %
平成18年度(10,238名)	894	850	893	867	851	817	884	870	868	868	776	845	10,283 名
入院者数(13名延べ143日)	0	8	26	0	0	0	16	43	34	15	1	0	143 名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.94	2.91	0.00	0.00	0.00	1.81	4.94	3.92	1.73	0.13	0.00	1.39 %
平成19年度(8,143名)	572	638	632	655	628	618	692	690	746	780	723	769	8,143 名
入院者数(4名延べ44日)	0	0	17	11	7	0	0	0	0	0	9	0	44 名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.00	2.69	1.68	1.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.24	0.00	0.54 %
平成20年度(7,771名)	709	688	630	616	496	464	554	657	732	752	651	822	7,771 名
入院者数(6名延べ40日)	0	12	0	0	0	0	5	0	23	0	0	0	40 名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	1.74	0.00	0.00	0.00	0.00	0.90	0.00	3.14	0.00	0.00	0.00	0.51 %
平成21年度(9,596名)	705	691	703	783	829	864	930	854	855	815	774	793	9,596 名
入院者数(7名延べ50日)	4	1	0	0	6	0	0	6	20	0	2	11	50 名
入院率:入院数/延べ人数	0.57	0.14	0.00	0.00	0.72	0.00	0.00	0.70	2.34	0.00	0.26	1.39	0.52 %
平成22年度(10,371名)	730	803	823	934	907	902	892	869	914	920	812	867	10,373 名
入院者数(7名延べ45日)	0	4	0	0	12	0	16	8	0	0	5	0	45 名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.50	0.00	0.00	1.32	0.00	1.79	0.92	0.00	0.00	0.62	0.00	0.43 %
平成23年度(8,971名)	781	805	740	824	806	747	713	690	726	734	694	711	8,971 名
入院者数(3名延べ61日)	0	0	0	5	0	0	1	4	0	20	29	2	61 名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.00	0.00	0.61	0.00	0.00	0.14	0.58	0.00	2.72	4.18	0.28	0.68 %
平成24年度(7,298名)	447	476	450	528	573	571	638	683	748	700	713	771	7,298 名
入院者数(6名延べ43日)	0	0	0	0	0	0	3	0	6	5	0	29	43 名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.47	0.00	0.80	0.71	0.00	3.76	0.59 %
平成25年度(7,688名)	601	558	543	636	625	667	734	690	701	677	601	655	7,688 名
入院者数(2名延べ22日)	0	0	0	0	0	7	0	15	0	0	0	0	22 名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.05	0.00	2.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.29 %
平成26年度(7,954名)	621	691	635	641	592	684	692	686	707	682	633	690	7,954 名
入院者数(4名延べ29日)	0	0	4	0	0	7	0	0	18	0	0	0	29 名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.00	0.63	0.00	0.00	1.02	0.00	0.00	2.55	0.00	0.00	0.00	0.36 %
平成27年度(8,118名)	600	617	602	626	646	655	706	700	744	744	711	767	8,118 名
入院者数(5名延べ46日)	0	0	0	9	6	14	0	0	0	17	0	0	46 名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.00	0.00	1.44	0.93	2.14	0.00	0.00	0.00	2.28	0.00	0.00	0.57 %
平成28年度(7,080名)	548	564	574	589	601	585	672	605	609	571	505	657	7,080 名
入院者数(15名延べ146日)	0	5	6	15	41	2	9	30	32	6	0	0	146 名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.89	1.05	2.55	6.82	0.34	1.34	4.96	5.25	1.05	0.00	0.00	2.06 %
平成29年度(8,513名)	643	687	616	649	713	711	774	740	762	775	700	743	8,513 名
入院者数(5名延べ30日)	11	0	0	0	0	8	9	2	0	0	0	0	30 名
入院率:入院数/延べ人数	1.71	0.00	0.00	0.00	0.00	1.13	1.16	0.27	0.00	0.00	0.00	0.00	0.35 %

平均入院率の年次比較 平成16年度～平成29年度



(3) 定期健康診断

(3)-①入所児童定期健康診断

内科検診（年2回）：嘱託医：飯泉哲哉医師

実施日：1回目：平成29年8月29日

2回目：平成30年2月21日

歯科検診（年1回）：片岡歯科医院：片岡俊夫医師

実施日：平成30年3月7日

(3)-②職員定期健康診断（新富士病院）

1回目：平成29年9月6日・9月8日・9月19日

2回目：平成30年2月2日・2月6日・2月14日

(4) 感染症の記録

(4)-①ヒトメタニューモウイルス感染症

感染者数：3名（乳幼児3名・年齢：6ヶ月～1歳5ヵ月）

感染確認：平成29年4月11日～平成29年4月24日

喘息の既往があり、重症化すると呼吸管理が懸念される1歳児を
県立こども病院に入院させる。

入院期間：10日

拡大感染防止対策施工期間

平成29年4月11日～平成29年5月24日

(4)-②季節性インフルエンザA型・B型

12月下旬に季節性インフルエンザA型に職員の家族が罹患しました。

また、1月中旬に職員がインフルエンザB型に罹患し、2月中旬にも
職員の家族がインフルエンザB型に罹患しています。いずれの場合も出
勤停止として5日～7日の休暇を取らせましたので、園内にインフルエ
ンザが広がることはありませんでした。

(5) 事故記録等

(5)-①事故の記録 総事故数 18件 (対象児童 18名) 通院児童 2名

(内訳)

- | | | | |
|--------------|----|---------|----------------------------|
| (1) はさみこみ | 4件 | 通院 0件 | (ベッドの柵や避難車で移動中に隙間に挟む) |
| (2) ベッドからの転落 | 2件 | 通院 2件 | (通院するが、異常所見なし) |
| (3) 衝突・転倒 | 8件 | 通院 0件 | (食堂机や水道蛇口に頭をぶつける等) |
| (3) 誤食 | 2件 | 通院 0件 | (他児のおやつを与える、床に落ちていたものを食べる) |
| (4) 誤投薬 | 0件 | 医師相談 0件 | |
| (5) 不投薬 | 2件 | 医師相談 0件 | (点耳薬の投薬忘れ、配薬忘れ) |
| (6) その他 | 0件 | 通院 0件 | |

(5)-②児童間の事故 総報告数 27件 通院児童 0名

(内訳) 噛みつき 25件・ひっかき 1件・不明 1件 (青痣を見つける)

(5)-③インシデントレポート (ヒヤリハット) 総数 41件

インシデントレポートからの改善事例



改善前：子どもの手が柵から出てしまう



改善後：パンチングメタル貼付、手が出ない

インシデントレポートの要約

No.	年月日	発生場所	発生時間	インシデントの内容	対応
1	平成29年5月13日	乳児室②	PM3:00	水分補給中の子どもが口をモグモグしていたので確認すると、マグマグの蓋に貼っていた本人確認用の紙片を食べていた	マグマグを渡す際、誤飲につながる物が無いように確認して渡す。
2	平成29年5月14日	おむつ交換室で発見	発見時間 AM9:30	排泄介助時子どもの右足首に髪留めゴムが巻き付いており足にも跡が残っている	朝子ども達の髪留めをしたが、本児は髪を縛っていなかった。髪留めをしていない子がいたら確認をして縛り直す等の対応をする。
3	平成29年5月14日	プレイルーム	AM9:17	排泄に誘導しようとしたら口をもぐもぐ動かしている子がいたので確認すると髪留めの金属部品の一部が出てきた。	金属製の髪留めのチェックを回収時にするか、金属製の髪留めを使用禁止にする。
4	平成29年5月21日	芝生園庭	PM3:30	園庭東北側の生け垣の切れ間に設置していた柵の隙間を抜けて、子ども達2名が外側の白い柵に上ろうとしていた。	生け垣の隙間の柵を子ども達が抜けられない強固な大型柵に即日変更をする。
5	平成29年6月9日	プレイルーム	PM6:40	長さ15cmくらいの輪にして結ばれたリボンを口に入れていた	子ども達の口の動きを常に見る。子どもの口に入りそうな物、破損した物は子どもに出さないように常に確認する。
6	平成29年6月9日	芝生園庭	AM10:00	子どもが大型遊具の滑り台の一番上の柵につかまりぶら下がって遊んでいた。保育士は誰もそばについていなかった。	園庭で遊ぶときの子どもの動きに注意し、大型遊具で遊ぶときには必ず職員が付き添うように職員に再確認した。
7	平成29年6月13日	乳児室③	AM6:20	朝寝室の通路に面した窓が開いていた。一度鍵を閉めると、年長児が鍵を開けていることが解った。	年長児の手が届かない所に補助錠をつけて、子どもが窓を開けることができないように対策をとる。
8	平成29年6月21日	その他	—	事故報告を受けている時、報告者が養育中の子どもの対応をから目を離し、子どもだけの状態になっていた事がわかる。	子どもの側に必ず誰か養育者がいる。この必ずしなければならぬことの徹底をするように、指導職にも徹底する。
9	平成29年7月2日	芝生園庭 裏門	AM10:00	裏門には3種類の鍵が準備されているが一番下の鍵しか施錠されていなかった様で子どもが鍵を開けて出て行ってしまった。	全ての鍵をかけるように職員に徹底する。
10	平成29年7月7日	用度品庫	AM7:52	用度品庫前に鋭利な玩具の破片が落ちていた。	子どもが口にするので大変なので、物品の管理の徹底と、慎重な取り扱いを要請した。
11	平成29年7月10日	1階食堂	PM5:10	食事介助前、子どもの口の中にプラスチック部品がついた髪留めを入れていた。	髪留めを使用しているときには職員間で情報共有を確実にし、髪留めの管理や回収を徹底する。
12	平成29年7月10日	沐浴室	PM7:10	入浴介助中に職員が持ち場を離れ、3歳児が一人で沐浴室内のトイレの水を流す。	入浴介助中は子どもから目を離さないことの徹底ができていないので、職員に徹底する。
13	平成29年7月14日	おむつ交換室	PM7:25	オムツ交換室から這い這いの子が出てきてしまい、電源が入った自動ドアに挟まれそうになる。気づいた職員が抱き上げて事なきを得る。	自動ドアの危険性や這い這いの子どもから目を離さないように職員に徹底する。
14	平成29年7月26日	芝生園庭	AM9:20	園庭大型遊具の滑り台部に2匹の毛虫がいた。	見つけてすぐに排除したが、樹木消毒を業者に依頼し、職員には注意喚起を行った。
15	平成29年8月14日	芝生園庭	AM9:40	砂場近くのテーブルのところに30cm程度のナイロンポーブが落ちていて子どもが見つける。	首に巻くなどの危険があるため、朝の見回り巡視の強化と徹底を呼びかける。
16	平成29年8月18日	サンデッキ	AM8:30	プレイルームにいるはずの子どもがサンデッキに出て、乳児室③の掃き出しから入ってくる。	どこから出たのかは不明、職員に子どもを見失わないように注意喚起を行う。
17	平成29年8月18日	1階廊下	AM8:20	トイレ前に子どもが一人で遊んでいる。ウンチといたので職員が確認をせずに廊下に出してしまう。	排泄対応している職員と、プレイルームにいる職員にお互いに声を掛け合うように指導する。「子どもを一人にしない」大原則の徹底
18	平成29年9月6日	プレイルーム	AM10:00	平均台に使用しているスプリングが外れて落ちており、子どもが持ってくる。	使用前の確認を徹底し、修繕が必要なものは使用しないことを確認する。
19	平成29年9月27日	乳児室③	AM6:10	朝の見回り時にサンデッキに出ている子供を見つけた。換気のため開けた掃き出しから出てしまう	早朝の換気は掃き出しではなく、天窗を開けるように徹底する。
20	平成29年10月1日	プレイルーム	AM11:48	昼食前の排泄指導中に他児の耳に噛みつこうとしているのを見つけ未然に防ぐ。	排泄対応時も複数で対応できるように配慮する。
21	平成29年10月7日	プレイルーム	AM8:25	子どもが、金属の細かい部品を見つけて職員に渡してくれる。	子どもが口にするので大変なので、物品の管理の徹底と、慎重な取り扱いを要請した。
22	平成29年10月9日	乳児室②	—	衣装ダンスの取っ手のネジが外れて剥き出しになっている。	補強して取り付け直す。

No.	年月日	発生場所	発生時間	インシデントの内容	対応
23	平成29年11月6日	乳児室③	PM12:00	午睡の寝かしつけの最中ベッドを降りた数名が布団が積まれたベッドのよじ登り布団の上に乗って遊ぶ。すぐに下ろすが、また上ろうとする。	事故防止の対策としてベッド内に置かれた予備の布団は別の場所に移動して保管する。
24	平成29年11月7日	サンデッキ	PM4:25	サンデッキで遊んでいたところ、3人の子が柵の鍵を開けて芝生に出てしまう。	すぐに連れ戻し、室内遊びに切り替える。柵にも補助ベルトを着用するように検討する。
25	平成29年11月15日	プレイルーム	AM8:15	朝出勤すると子どもがゴミを渡すようにソフトコンタクトレンズを渡してきた。職員に聞くが誰の物か分からなかった。	職員にコンタクトレンズの取り扱い、管理を徹底するように注意喚起する。
26	平成29年12月20日	プレイルーム	AM7:20	3歳児が水分補給用のペットボトルの上部を分解してしまう	3歳児に危ないことだと説明し、2度としないように注意する。職員にも情報共有をする
27	平成29年12月23日	芝生園庭	AM9:30	子どもたちと遊んでいると、園庭西側のプレイハウスの組み立て箇所が外れそうになる。	すぐに使用を中止して、撤去して修理を依頼する。
28	平成30年1月9日	ナースプール	AM5:35	朝服用するビオフェルミンを夜勤1が準備するが、白湯で溶かすと固まってしまった。トロミ剤のツルリンコと間違えたようである。	準備した職員に間違えないように注意をする。
29	平成30年1月9日	プレイルーム	AM8:20	2歳児が1歳児を押し倒し、馬乗りになり胸の上でバウンドしたのですぐに止める。	2歳児に注意するとともに、当該児の行動について勤務職員への注意喚起する
30	平成30年1月10日	サンデッキ	AM10:00	サンデッキで遊んでいた所、大きい子が柵の外の南天の実を摘んでいたら、2歳未満児が食べようと口にいれる。すぐに取り出して回収する。	業者に柵の外に手がでないような対策を提案してもらうように依頼する。
31	平成30年1月10日	プレイルーム	AM8:20	親指に爪が深爪で痛い子どもが申告してくる。	当該職員に注意する。また連絡会時に職員に注意を促す。
32	平成30年1月15日	ナースプール	PM6:35	ナースプールで爪楊枝を発見する。夜勤者の食事で使用したものと思われる。子どもが入らない所ではあるが、もしもの危険がある為注意を促す	日勤連絡帳に記載する。また、月例会時にも職員への注意を呼びかける。
33	平成30年1月20日	観察室	AM6:20	観察室隔離中の子がベッドから降りて消毒用のバケツを触る。すぐに気がつき消毒バケツを外に出し、ベッドにも予防策を講じる。	ベッドの柵の向き等の予防策を徹底させるように勤務者に引き継ぐ。
34	平成30年2月1日	乳児室②	AM11:00	食事介助前、おかずのおでんの中にウズラの卵が入っていることに気づく。他児のものとは比べると刻みの形状が異なっていたので厨房に連絡して変えてもらう。	勤務職員に指導を行う。また職員全体に離乳期間中や幼児の食事についての情報提供を繰り返し行う。
35	平成30年2月2日	里親宅	AM11:40	里親委託準備中の児の左鼻の入り口の所に豆粒より小さいピンク色の堅い物が入っていた。爪では潰れず何かは不明。鼻に入れたか聞くとニヤニヤして答えず。	職員への情報提供を行い、注意喚起を行う。
36	平成30年2月10日	乳児室②	AM7:45	ナースプールとの境の柵が外れ2歳児が支えていた。元に戻し鍵を閉め直すが、その後廊下との境の柵も同じ2歳児が開けたしまった。	職員に情報提供・注意喚起をし、ねじ込み錠の固定をしっかりとるように徹底する。
37	平成30年2月14日	乳児室①	PM4:00	食事の支度のため子ども達をベッドに入れるが、1歳児がベッド柵に足をかけ危険なため、避難車に入れて対応する。	職員に情報提供し注意喚起する。
38	平成30年2月19日	サンデッキ	AM9:30	サンデッキの柵の欠損部分を止めていたプラスチック板の固定バンドが風化して落ちていたのを子どもが持ってなめていた。	固定バンドの取り替えを行う。また、枠にアルミ製のボードを貼る工事を行い改善する。
39	平成30年3月9日	乳児室②	AM8:20	1歳児の食事介助中、児がご飯粒を鼻に押し込もうとしているのに気がつきやめさせる。	職員に情報提供し、注意喚起をする。
40	平成30年3月11日	1階廊下	PM3:30	廊下の押し入れの扉を2歳児が開け閉めして手を挟みそうになる。	戸が開かないように鍵をつける
41	平成30年3月18日	芝生園庭	AM9:00	花壇工事で外された金属製の杭が2本プレイルームの窓枠の外に置いてあり、2歳児女児が持っていた。	すぐに回収してサービスヤードに保管する。

資料3 平成29年度 園外保育実施実績

平成29年度は、ユニット毎の園外保育ではなく、「家庭的」ということを意識して、養育担当者と一緒に3～4名の小グループで、バスや電車などの公共の交通機関を使用しての外出を実施しました。お泊まりユニット毎に2回実施しました。担当者と個別に接する機会を設けました。また、通常の養育でも、小グループによる行動を奨励し、近隣への散歩等を通して社会性の発達を促進する努力を行いました。

(1) 園外保育の実施状況

年 月 日	行先・目的等	児童数	職員数	備 考
平成29年4月25日	原田公園	13	11	徒歩・公用車使用
平成29年6月16日	アピタ	3	2	徒歩
平成29年8月26日	ロゼシアター ロゼ子どもコンサート	6	6	3名×2公演：公用車
平成29年10月15日	中央公園 福祉まつり	3	3	ひまわりバス使用
平成29年10月26日	サツマイモ掘り	3	2	小規模GC：公用車
平成29年11月15日	田貫湖	4	3	小規模GC：公用車
平成29年11月19日	富士宮市農協 農協際	4	3	小規模GC：公用車
平成30年1月15日	はま寿司 外食体験	14	15	公共バス・徒歩・公用車
平成30年2月19日	静岡市こどもクリエイティブタウン ま・あ・る	4	4	公用車・電車使用
平成30年2月28日	米の宮公園 ぐるん・ぱ・よねのみや	3	3	送迎バス：迎えは公用車
平成30年3月13日	三島市 楽寿園	4	4	電車・公用車
平成30年3月19日	エスパルス ドリームプラザ	4	4	公共バス・電車・公用車
平成30年3月23日	静岡市ツインメッセ トミカ博	4	4	公用車
	延べ人数	69	64	※公用車運転手は数に含めず

(1) ー② お泊まり保育実施状況

入所児と担当養育者が1対1での関係を深めることを目的とした宿泊体験を「休暇村富士」のコテージを宿泊場所に設定し2班に分かれて実施しました。

第1班実施日：平成29年10月2日(月)～10月3日(火)

行き先：ぐりんぱ・まかいの牧場：児童6名 引率職員7名 公用車2台使用

第2班実施日：平成29年10月23日(月)～10月24日(火)

行き先：富士サファリパーク：児童6名 引率職員7名 公用車2台使用

(2) 誕生会・お楽しみ会

- ① 誕生日…子どもの誕生日毎に担当養育者と1対1でお祝いをしました。
- ② お楽しみ会(月1回)…お楽しみ会の時に、皆で誕生日のお祝いをしました。
- ③ 七五三…記念に、美影館さんのご好意で記念撮影をしていただいています。

芋掘り



誕生日



お泊まり保育



クリスマス



資料4 平成29年度 お楽しみ会行事献立及び、年間給食数（単位：人）

			年間延人員、各月給食数	
月	日	行事食献立	延給食対象児数	延食数
4	8	お花見 丸鶏、焼野菜、稲荷寿司、おにぎり、どらやき	642	1,895
5	24	3色おにぎり、星型にんじん、からあげ、枝豆とツナのポテトサラダ、ゼリーホイップのせ、野菜ジュース	686	2,055
6	27	ラップサンド、ミートローフ、野菜スープ、一口おにぎり	614	1,833
7	19	ジャージャー麺、照り焼きチキン、ミニトマト、夏野菜のおひたし、野菜ジュース、ゼリー	649	1,934
8	22	バーベキュー、おにぎり、やきそば、チキンスティック、フランクフルト、焼野菜、きゅうりとトマトのサラダ、スイカのフルーツポンチ、野菜ジュース	713	2,128
9	20	ロールサンド、チューリップから揚げ、トマト、ひよこの竹輪、ポテト、バナナパフェ	711	2,091
10	2・3 23・24	お泊り保育	774	2,255
11	28	照り焼きチキンピザ、野菜たっぷりピザ、野菜チップス、野菜スープ、デザートピザ	739	2,201
12	20	星型チキンライス、トナカイのミートローフツリーサラダ、野菜スープ、サンタのカップケーキ	761	2,238
1	5	犬の稲荷寿司、照り焼きチキン、きゅうり竹輪、花魁入りすまし汁、白玉パフェ	775	2,292
2	8 19・28	オニのミートローフ、一口野菜のフォンデュ、一口おにぎり、フルーツロール ※園外保育	700	2,071
3	13・19	園外保育	743	2,166
※途中入退所の為、在籍児童数は年間児童総数とは一致しない 合計			8,507	25,159



資料5 平成29年度 防災対策、避難訓練等の実施状況

(1)地震想定避難訓練(夜間想定訓練2回) ※消火訓練は毎月実施した。

	実施日	開始時間	参加人員	備考
1	平成29年5月10日(水)	9:11~	児童21名・職員2名+8名(オプザバー)	夜間想定
2	平成29年7月11日(火)	9:00~	児童20名・職員17名	
3	平成30年1月15日(月)	9:00~	児童25名・職員2名+7名(オプザバー)	夜間想定
4	平成29年3月15日(水)	15:35~	児童19名・職員8名	

(2)火災想定避難訓練(夜間想定訓練0回)

※非常通報装置を使用し消防署への通報訓練も行う

	実施日	開始時間	参加人員	備考
1	平成29年4月12日(水)	9:32~	児童15名・職員12名	通報訓練
2	平成29年6月14日(水)	9:00~	児童20名・職員11名	通報訓練
3	平成29年8月7日(月)	9:00~	児童21名・職員19名	通報訓練
4	平成29年10月26日(木)	9:35~	児童25名・職員15名	通報訓練
5	平成29年12月6日(水)	9:10~	児童23名・職員12名	通報訓練
6	平成30年2月7日(水)	9:03~	児童24名・職員16名	通報訓練

(3)総合防災訓練(訓練回数2回)

	実施日	実施時間	内容・参加人員等	備考
1	平成29年9月1日(金)	8:00~ 16:00	児童22名・職員21名 避難訓練・消火訓練・災害対応訓練 防災備蓄品の点検と入替(午後)	※富士地区 総合防災訓練
2	平成29年11月1日(水)	8:00~ 11:40	児童21名・職員16名 避難訓練・消火訓練・非常食試食等	※福祉施設 総合防災訓練

(4)職員間通報訓練 ※緊急連絡網等を使用した通報訓練(実施回数1回・法人12回)

	実施日	実施時間	参加人員・訓練内容等	備考
1	平成29年9月1日(金)	1回	みどり園職員を対象にした通報による 招集訓練	
1	平成29年 4/1・5/1・6/1・7/1 8/1・8/31・10/1・ 11/1・12/1 平成30年 1/7・2/1・3/1	12回 夜間は 1回 8/31 実施	災害安否コールシステムを使用 した通報・安否確認訓練(全職員)	※法人 全職員対象

(5)防災用備品の点検・整備等 (実施回数 1 回)

	実施日	実施時間	内容	備考
1	平成 29 年 9 月 1 日 (金)	13:00~	防災倉庫内備品の点検・確認・入替	

総合防災訓練時の設営訓練と消火訓練：平成 29 年 9 月 1 日



総合防災訓練時の設営訓練と炊き出し訓練：平成 29 年 11 月 1 日



※ポリ袋等を使った、茹でただけで料理、おこわ、ゆで野菜、ナポリタンを作りました。

資料6 平成29年度保守点検実施表

点検項目	業者名	点検年月日	備考	
電気工作物	関東電気保安協会	H29.4.20	年6回	
		H29.6.15		
		H29.8.3		
		H29.10.26		
		H29.12.21		
		H30.2.20		
消防設備	サンコー防災 (消防用設備点検)	H29.5.26	年2回	
		H29.11.30		
	富士消防用品商会 (消火器点検)	H29.5.26	年2回	
		H29.11.24		
給水給湯設備 空調設備機械等	協栄空調株式会社	H29.5.9	年2回	
		H29.11.20		
園舎殺菌消毒	(株)大富士タスクインターミニック	H29.6.16	年2回	
防鼠点検 厨房・食堂		H29.11.2		
		H29.4.28	毎月	
		H29.5.12		
		H29.6.23		
		H29.7.28		
		H29.8.25		
		H29.9.29		
		H29.10.27		
		H29.11.24		
		H29.12.22		
		H30.1.26		
		H30.2.23		
		H30.3.23		
		園舎ジキリ殺虫施工	H29.5.12	年2回
			H29.10.18	
布団乾燥機	株式会社 Manamana	H29.10.20	年2回	
		H30.3.16		
貯水槽清掃	ニッケン消毒(株)	H30.3.15	年1回	
水質検査	静岡県生活化学検査センター	H29.12.5	年1回	
昇降機リフト	クマリフト株式会社	H30.3.13	年1回	
建築設備等定期検査	王子不動産(株)	H29.10.30	年1回	
タッチ式自動ドア	ナブコシステム(株)	※必要に応じて		
事務機器	(株) N e t			
	(株) ティーケーシステム			
電解水「守る水」	株式会社アオノ	4/18.5/19.6/23.7/10.8/21	毎月	
		9/22.10/23.11/20.12/19		
		12/19.1/26.2/13.3/19		

資料7 平成29年 研修会、会議等参加実績

外部研修会参加人数 69名(開催45回)

法人内・施設内研修会参加人数 102名(開催17回)

(1) 全国乳児福祉協議会・関東ブロック乳児院協議会等の県外研修会

参加人数 18名(10回)

年 月 日	研 修 会 名	場 所	参加人数
平成29年 5月30日	関東ブロック乳児院協議会 初任者研修体制勉強会	横浜市：社会福祉会館	2名
6月8日～9日	第52回関東ブロック乳児院研究協議会	栃木県：ホテルマイステイズ宇都宮	3名
7月5日～7日	第61回全国乳児院研修会	和歌山県：アパローム 紀の国	2名
9月21日～22日	第67回全国乳児院協議会	札幌市：札幌ガーデンパレス	1名
10月11日～12日	関東ブロック乳児院協議会初任職員研修会	横浜市：横浜社会福祉協議会	3名
11月3日～4日	運動感覚統合プログラムに関する研修会	神奈川県：相模女子大学	1名
11月9日～10日	第35回関東ブロック乳児院協議会職員研修会	千葉市：オークラ千葉ホテル	3名
11月11日～12日	子育てアドバイザー養成講座	東京都：両国ファッションセンタービル	1名
11月19日	15th こどもの虐待死を悼み命を讃える市民集会	東京都：銀座プロチャム中央会館	1名
12月13日～14日	社会的養護を担う児童福祉施設長研修会(東日本)	東京都：全国社会福祉協議会	1名

(2) 静岡県乳児院協議会・東京都社会福祉協議会乳児部会等の業界研修会等

参加人数 22名(6回)

年 月 日	研 修 会 名	場 所	参加人数
平成29年 4月28日	静岡県乳児院協議会 家庭支援・個別対応職員研修会	静岡恵明学園	2名
5月31日	静岡県乳児院協議会 看護研修会	静岡乳児院	2名
9月5日	静岡県乳児院協議会 養育研修会	恩賜記念みどり園	11名
10月18日	静岡県乳児院協議会 栄養調理研修会	浜松乳児院	2名
11月11日	児童虐待防止静岡のつどい	静岡県総合福祉会館	3名
平成30年 1月19日	静岡県乳児院協議会 事務研修会	恩賜記念みどり園	2名

(3) 静岡県社会福祉協議会等の県内研修会 参加人数 29名 (17回)

年 月 日	研 修 会 テーマ等	場 所	参加人数
平成 29 年 6 月 13 日	平成 29 年度県指保の会新任職員研修会	静岡県総合福祉会館	1 名
6 月 13 日	静岡県児童相談所主催援助技術研修会	静岡：あざれあ	1 名
7 月 18 日	県社協主催 経理事務応用講座	グランシップ	1 名
8 月 3 日	ヒヤリハット・アクシデント講座	静岡県総合福祉会館	1 名
8 月 4 日	感染症講座・児童福祉施設編	静岡県総合福祉会館	1 名
9 月 17 日	子ども虐待対応・医学診断研修会	静岡県医師会館	1 名
9 月 21 日	県養協主催 権利擁護推進研修会	静岡：あざれあ	1 名
9 月 22 日	フォスタリングチェンジプログラム講演	静岡；ペガサート	1 名
10 月 5 日	富士圏域社会福祉施設長会初任者研修	富士：ペアステージ・ノイ	3 名
10 月 26 日	食物アレルギーに関する情報交換会	富士：フィランセ	1 名
10 月 27 日	社会福祉施設における感染症予防講座	静岡県富士総合庁舎	1 名
10 月 29 日	子ども虐待対応・医学診断研修会	静岡県医師会館	3 名
10 月 30 日	リスクマネジメント講座	静岡：あざれあ	1 名
11 月 4 日	アレルギー大学	静岡：労政会館	2 名
12 月 12 日	県社協主催 社会福祉法人予算管理講座	グランシップ	1 名
平成 30 年 1 月 24 日	静岡県児童福祉施設連絡会養育権集会	ホテルグランド富士	8 名
2 月 15 日	県社協主催 社会福祉法人決算実務講座	グランシップ	1 名
2 月 23 日	安全パートナーリングとデモンストレーション	静岡：あざれあ	1 名

(4) 法人内研修会・園独自研修会等

(4)-① 法人研修会等 30名 (9回)

年 月 日	研 修 会 名	場 所	参加人数
平成 29 年 4 月 11 日	法人 新規採用職員研修会	みぎわ園地域交流室	5 名
9 月 26 日	法人 中堅職員研修会	みぎわ園地域交流室	3 名
10 月 17 日	法人 中堅職員研修会	みぎわ園地域交流室	3 名
11 月 17 日	安全衛生委員会 感染症伝達講習	みぎわ園地域交流室	6 名
11 月 21 日	安全衛生委員会 感染症伝達講習	みぎわ園地域交流室	2 名
11 月 29 日	安全衛生委員会 感染症伝達講習	みぎわ園地域交流室	4 名
12 月 13 日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園地域交流室	3 名
平成 30 年 1 月 11 日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園地域交流室	2 名
2 月 20 日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園地域交流室	2 名

(4)-② みどり園独自研修会等 72名 (8回以上)

年 月 日	研 修 会 名	場 所	参加人数
平成 29 年 4 月 1 日	新任職員研修会 「乳児院について」 法人就業規則・管理規定等の説明	会議室	4 名
7 月 4 日	吸引技術・痙攣時の観察と対応について	乳児室等	13 名
8 月 1 日	先駆的取り組み施設視察研修会	綾瀬市：ドルカスベビーホーム	6 名
9 月 1 日	新任職員研修会 「防災/避難体制①」	園庭等	5 名
11 月 1 日	新任職員研修会 「防災/避難体制②」	園庭等	7 名
11 月 1 日	みどり園 118 救急救命講習会	会議室	20 名
11 月 17 日～29 日	吐物処理の方法について(伝達講座欠席者補講)	ナースプール等	12 名
平成 30 年 3 月 6 日～24 日	吐物処理の方法について(伝達講座欠席者補講) ※休憩時間等に複数回設定して実施	ナースプール等	5 名

(5) 全国乳児福祉協議会・関東ブロック乳児院協議会運営委員会等

県外開催の業界会議 延べ9名 (9回)

年 月 日	研 修 会 名	場 所	参加人数
平成 29 年 4 月 18 日	関東ブロック乳児院協議会 平成 29 年度第 1 回運営委員会	横浜市社会福祉センター	1 名
4 月 19 日	関ブロ乳児協 平成 29 年度 総会	横浜市社会福祉センター	1 名
6 月 9 日	関ブロ乳児協 第 2 回運営委員会	栃木県：ホテルマイステイズ 宇都宮	1 名
6 月 30 日	全国乳児福祉協議会 総務委員会	全社協：新霞が関ビル	1 名
9 月 20 日	全国乳児福祉協議会 臨時総務委員会	札幌市：札幌ガーデンパレス	1 名
9 月 22 日	全国乳児福祉協議会 臨時合同委員会	札幌市：定山溪	1 名
11 月 11 日	関ブロ乳児協 第 3 回運営委員会	千葉市：オークラ千葉ホテル	1 名
平成 30 年 2 月 8 日～9 日	関ブロ乳児協 第 4 回運営委員会	横浜市社会福祉センター	1 名
2 月 23 日	全国乳児福祉協議会 総務委員会	全社協：新霞が関ビル	1 名

(6) 静岡県乳児院協議会等の県内開催会議

県内開催の会議等 延べ12名(11回)

年 月 日	研 修 会 名	場 所	参加 人数
平成 29 年 4 月 6 日	静岡県乳児院協議会 平成 29 年度 第 1 回 理事会	静岡県総合福祉会館等	1 名
5 月 9 日	東部児童福祉施設長連絡会	ふじやま学園	1 名
5 月 15 日	富士圏域社会福祉施設長会	富士：ペアステージ・ノイ	1 名
6 月 27 日	静岡県乳児院協議会 定例 理事会	静岡乳児院	1 名
8 月 8 日	静岡県乳児院協議会 定例 理事会	静岡恵明学園	1 名
8 月 28 日	富士市民間社会福祉施設連絡会	富士市：市役所	1 名
11 月 11 日	静岡県乳児院協議会 臨時 理事会	静岡県総合福祉会館	2 名
平成 30 年 1 月 12 日	静岡県乳児院協議会 定例 理事会	静岡県総合福祉会館	1 名
2 月 15 日	静岡県乳児院協議会 代表者会議	静岡恵明学園	1 名
3 月 8 日	静岡県乳児院協議会 定例 理事会	浜松乳児院	1 名
3 月 14 日	東部児童福祉施設長連絡協議会	沼津リバーサイドホテル	1 名

(7) 法人・施設内会議・委員会

法人・施設内会議・委員会 開催回数 77回

会 議 名	開 催 日						回 数	備 考
	4月17日	5月17日	6月21日	7月19日	8月16日	9月9日		
法人企画会議	4月17日	5月17日	6月21日	7月19日	8月16日	9月9日	12	※法人会議 園長出席
	10月18日	11月15日	12月20日	1月17日	2月21日	3月14日		
代表者会議	4月21日	5月18日	6月19日	7月20日	8月17日	9月15日	12	※主任以上出席
	10月19日	11月16日	12月21日	1月18日	2月22日	3月22日		
月 例 会	4月24日	5月29日	6月26日	7月31日	8月30日	9月25日	12	※原則、夜勤者 以外全職員出席
	10月31日	11月27日	12月26日	1月29日	2月26日	3月26日		
ケース会議	4月10日	5月1日	6月5日	7月3日	8月7日	9月4日	12	※直接処遇職員 厨房職員出席
	10月5日	11月6日	12月4日	1月9日	2月5日	3月5日		
感染症対策委員 会	4月19日	5月22日	6月23日	8月21日	10月13日	12月14日	7	※委員を選任
	2月2日							
防災委員会	4月6日	6月28日	8月23日	10月16日	11月13日	2月9日	6	※委員を選任
第三者評価 自己評価委員会	7月18日	9月21日	10月19日	1月15日	2月19日		5	全体会5回＋ 各委員入力作 業
安全衛生委員会	4月27日	5月25日	6月19日	7月27日	8月21日	9月28日	11	※法人会議
	10月28日	12月28日	1月25日	2月22日	3月22日			

資料 8 平成 29 年度 実習生受け入れ状況

(1) 単位取得実習 (8校 15名 延べ 144日)

学 校 名	人 員	指定日数	実 習 期 間	延日数
聖隷クリストファー大学	2名	10日	6月1日～6月13日	20日
静岡産業大学	2名	10日	6月19日～6月29日	22日
浜松学院大学	2名	12日	8月3日～8月15日	24日
常葉大学富士キャンパス	2名	10日	8月21日～8月30日	20日
静岡福祉大学	2名	12日	9月1日～9月13日	24日
鎌倉女子大学	2名	11日	9月19日～9月23日	22日
常葉短期大学	2名	11日	10月2日～10月13日	22日
淑徳大学	1名	12日	10月19日～10月31日	12日
合 計	15名			144日

(2) その他の実習及び育児指導

1. 家庭引き取り対応指導 年間延べ 275件 (外出・外泊対応等)
2. 里親委託養育指導等 年間延べ 94件
3. 里親研修 2件
4. 教員体験実習 0件
5. 自主実習 (12日×1名) 12件

資料 9 ボランティア受け入れ実績

(1) ボランティア受け入れ実績 総数 74名

1. 吉原第二中学校ボランティア 13回 46名
2. 大学生ボランティア 4回 7名
3. その他のボランティア 11回 21名
(高校生・夏祭り応援等)

資料 10 家庭支援事業について

(1) 入所・一時保護児の家庭復帰に対する支援

保護者や委託予定の里親に対して、適切な親子関係を構築できるよう面会、電話等で支援を行いました。また、措置機関である児童相談所（処遇の決定やこどもを受け入れる環境を整えるために親族や地域の調整を図る）、福祉事務所、保健センター等の関係機関と緊密に連携し、家庭復帰や、里親委託をすすめました。

個別に対応した件数 1,624 件

(内訳)

保護者・里親の面会等個別対応	: 867 件
医療・療育機関と調整	: 88 件
他施設への移行準備、施設訪問等	: 135 件
児童相談所・関係機関との調整	: 534 件

(2) 退所後の支援

退所後、家族や地域の中で孤立することなく健全な生活ができるよう関係機関と連絡や調整を図りました。

個別に対応した件数 22 件

(内訳)

保護者・里親の家庭訪問・電話相談・病院付添等	: 22 件
児童相談所等への連絡調整	: 0 件

(3) 子育て短期支援事業（ショートステイ）について

富士市との委託契約により、保護者の一時的な疾病やその他の理由によって養育できない児童を一時的に預かる事業の実施計画を立てました。

しかし、年度途中から暫定定員の空きがなく、依頼を受けても一時保護と重なってしまい、観察期間の関係で受け入れることができませんでした。

連絡調整及び相談件数 10 件

※ショートステイ受け入れ件数 富士市： 0 名（乳幼児 0 名）
延日数： 0 日（母親 0 名 0 日を含む）

(4) 里親への対応 33 件

(内訳)

委託前引継ぎ・家庭訪問・相談	: 32 件
病院への引き継ぎ等	: 1 件

(5) 電話による育児相談 21件

赤ちゃん110番等、一般家庭からの電話による育児相談に対応しました。

- (内訳) 育児に関する相談 : 11件 (授乳・夜泣き等)
 疾病に関する相談 : 10件 (子どもの疾病を疑う相談等)
 その他の相談 : 0件 (一般からの入所相談等)

資料11 平成29年度 施設整備、改修・修繕工事等報告

施設整備等一覧

1. 固定資産計上取得物品等

①土地・建物等取得支出

土地取得支出

内 容	数量	設置及び使用場所 (使用者等)	金額
分園型小規模 GC 事業用土地	1 式	本園舎北側 (児童・職員)	22,216,026

②器具および備品等取得支出

器具および備品取得支出

内 容	数量	設置及び使用場所 (使用者等)	金額
衣類乾燥機	1 台	洗濯室 (職員)	982,800
日除けオーニング	4 セット	居室南カンテッキ	2,538,000
人工呼吸器ユニット	1 台	居室等 (職員)	267,840

ソフトウェア取得支出

内 容	数量	設置及び使用場所 (使用者等)	金額
給食献立ソフト	1 式	事務所 (栄養士)	352,620

2. 固定資産廃棄物品

内 容	数量 供用年月日	設置及び使用場所	残存価格	廃 棄 理 由
(0050)：機械および装置 (04002)防犯装置	1 式 H13.12.13	本園舎内・玄関等	1	新型へ取替 リース契約移行

3. 取替・補修等工事 (1万円以上)

実 施 内 容	金 額
厨房食器保管庫トリア改修	96,444
厨房 LED 照明取替 (1カ所)	28,620
2階フレイルム網戸張替工事	12,960
浴室・オムツ交換室面格子	162,000
厨房 LED 照明取替 (5カ所)	131,760
2階食堂フライント取替工事	81,000
セコム浴室・オムツ交換室セキュリティー解除工事	10,800
2階荷物室ガラス交換工事	34,668
ベットルーム押入れ改修工事	180,360
フレイルムベンチシート張替	79,920
草刈り機修理	19,656
発電機修理 (2台)	14,688
厨房冷蔵庫修理	26,406
火災報知器連動工事	140,400
ベビールーム居室自動トリア修理	25,920
事務所エアコン修理	21,492
オムツ交換室暖房機器取替工事	109,080
食堂柱張替工事	37,800
浴室電源配線工事	70,200
洗濯室暖房機取替工事	275,400
ベットルームコンセント改修工事	18,360

1階廊下非常用照明 LED 取替工事	167,616
1階各所照明 LED 取替工事	38,880
2階食堂照明 LED 取替工事	96,876
居室・トイレ・事務所扉改修工事	72,360
厨房から食堂への連結窓・カウンター改修工事	140,400
花壇改修工事	320,000
サンデッキ柵ハンチング改修工事	615,600
園庭遊具改修工事	129,600
事務所コンセント改修工事	46,440
事務所入口 LED 改修工事	47,520
プレイルーム扉改修工事	205,200
プレイルーム信玄袋棚仕切り改修工事	178,200
電解水システムポンプ修理 (2回)	158,625
〃 (1回)	58,320
布団乾燥機ヒーター交換修理	209,238
事務所パソコン修理	51,840

4. 施設整備取替・補修等工事(1万円以上)

実施内容	金額
オムツ交換室自動ドア修理	29,160
プレイルームガラス破損取替	81,000
園舎北側法人駐車場照明修理	28,080
園庭災害非常電源	199,800
〃 追加工事	29,160
応接室エアコン取替	162,000
応接室電源工事	24,840

応接室 LED 照明交換工事	29,700
園舎北側通路すべり止め塗装工事	118,800
居室網戸取替工事	248,400
草刈り機・発電機修理	21,930
ファンコイルチラー改修工事	85,860
リネン室漏水改修工事	41,040
乳児室コンセント改修工事	23,760
子どもトイレ改修工事	10,260
0歳児室等居室敷居改修工事	82,080
園庭スプリンクラー改修工事	272,160
冷暖房ボイラー改修工事	172,800
電解水ポンプ改修工事	108,000
電解水ポンプ部品交換工事	104,760
電解水エア抜き工事	110,160
園庭水道バルブ改修工事	82,080
園内誘導灯ランプ交換工事	22,680
居室ドア改修工事(処分料別)	662,688
浴室・オムツ交換室鏡取付工事	36,720
2階トイレ入口床張替え工事	77,760

資料 12 施設運営改善等

(1) 苦情・要望受付

・処遇、運営に関する苦情・要望等 0 件

(2) 人事考課実施

人事考課を実施し、結果について職員への個別面接を実施し、平成 30 年度の職員の給与へ反映させました。

(3) 自己評価

平成 29 年度も隔月 1 回の開催を目標に、自己評価委員会を開催し、みどり園の現状を評価項目と照らし合わせた自己評価を実施し、平成 28 年度に作成した中長期計画との比較・修正を行い、改善に向けて新たな中長期計画を作成しました。

自己評価委員会： 全体会 年 5 回実施（委員の打ち合わせ等は 4 回）

以上

特別養護老人ホームみぎわ園

事業概況報告

平成 29 年度を振り返って、入居者の入替りの多さに驚く 1 年でありました。

これは、H27 年介護保険の改定時に示された特養入所基準を介護 3 以上とした指針によるもので、医療背景が強い重度化された方々の入居をケアするとして入院療養から特養へと社会保障財政の逼迫さを物語る国の主導でもあります。

結果、医療が強い方の介護支援となり、この背景の下、終末期ケア（看取り介護）、病院退居等で在籍の短期間化が生じています。本来特養の使命としていた「生活の場」が「終の棲家」、「看取り介護」へと表現が変わり、入居期間も過去 4～6 年であった所、1～2 年弱と在籍の期間も短く、医療看護ケアの重要度が増す入居環境へと変わってきました。このように変化する介護現場にあって、介護人材の不足が深刻な問題として加わり、国の離職者ゼロを目指すとした施策も、受ける施設側の人材不足は深刻で介護職有効求人倍率 5.2 人とする状況下で、遺憾ともし難い現場の現状であります。

これらの状況を打開する施策として、介護職員の給与改善とした処遇改善手当の増額見直し、EPA（アジア経済連携協定）に基づく外国人労働者派遣の積極導入などがあります。みぎわ園としても、改善手当の増額見直し、職能制を整備した資格手当の見直し支給、16 時間夜勤労働から 8 時間夜勤とした改善を図り、長時間労働を是正した「働き方改革」の一編での整備をしてきました。

在宅系サービス部門については、職員の入替りが多くあった中でも職員一丸となって利用者ケアの充実に努めてきました。要介護者の入所から在宅サービスへと進められる中、多くの民間事業者が競合しての在宅介護サービスも、みぎわ園としては試行錯誤しつつも信頼性を担保し、利用者へサービス内容の差別化を図ってきました。ただ現況は微減状態があり、今後に求められる提供内容の検討を進めています。

また今年度は、静岡県、富士市両担当行政課による介護保険法上の指導監査の年度であり、全事業所について監査受審をしました。全事業所とも誠実な事業運営での評価の下、特段問題なく事業継続の承認が得られました。

環境整備面に於いては、照明の LED 化を進め電気料の削減、9 月には 1 階南特養（地域密着型小規模特養ホーム）のダイルーム兼食堂とスタッフセンターの改修、居室の配置換えを行い採光の十分に取入れた広いスペースの確保ができました。ただ一方で多くの面会者が来園される中、感染症等流行の不安も大きく、この対策に労を費やす年度でもありました。又設備の経年劣



春の外出（富士川楽座）

化に伴う緊急修繕も頻回に発生し、築 15 年を経過した建物設備への更新検討も迫られた年度でありました。

国策に振り回されながらも介護事業として人を見る難しさを痛感しつつ、職員一人ひとりが努力研究して、介護の充実を前向きに携わった評価できる年度でありました。

実施報告Ⅰ

1. 介護報酬に即応した職制給の整備と併せた人件費の見直し。

H29 年 4 月改定実施に向け、同年 3 月理事会に於いて業務手当として有資格者それぞれの職制に沿った資格手当の改定と新給与表に沿った本給の改定、介護保険処遇改善手当の改定に伴う手当見直しを実施しました。

2. 介護サービスの見える化、見せる化の実践、i-p a d (アイパッド)等の利用とその活用。

アイパッドの利用を進める中で、この活用に様々な工夫を要し実戦使用に向けた研究を越年して現在進行中であります。

3. 地域貢献活動として包括支援センターとの協働、支援活動の実施。

社会福祉法人法の改定を受け、法人事業として地域への貢献の一つとして吉原西部地域包括支援センターを窓口にみぎわの里が中心となり、お年寄りが集まるサロンとか小規模な集会の場に出向きレクレーションのお手伝いや健康・口腔ケア体操など活動を実施しています。

4. 在宅サービスの将来展望に向けた計画実施。

介護保険事業中期事業計画としての事案の策定を進め、今後における事業展開とこれに対する意見の取りまとめを行い、将来介護保険事業の方向としての内容を精査しより具体性のある整備を進めるとしています。

5. 8 時間夜勤の導入結果と入居者に寄り添った介護の充実。

従来の 16 時間夜勤拘束を廃止し、思いと実践とのギャップを感じながら 1 年程を経過し現在に至る中、国の「働き方改革」に謳う長時間労働の是正には合致し、先鞭を切った実施であり、特に若い職員には好評であります。ただ介護職の人材の不足に苦慮し夜勤回数の問題、短時間の時間外労働の割り充てが増えたことは、大きな反省点でありました。

実施報告Ⅱ

1. 施設設備、及び環境整備として以下の事業の実施を進めました。

(1) ユニット内照明器具の LED 化を進める。

7 月上旬よりすすめ、2・3 階のユニット内居室を中止に工事を実施し、電気代の削減を図っています。 工事費 2,046,000 円

(2) 1階南ユニットの居住エリアの環境改善とスペースの拡充を図る。

3年越しの計画の実施であり、業者決定後7月より約2ヶ月間の居住したままでの工事を実施しました。結果採光の十分取れた広々としたエリアが整備され、安全面と職員の導線域の効率化が図られました。

改修工事費 21,870,000円

(3) 大型器械の更新整備を図る。

1) 洗濯室（ランドリー内）機械（築15年経過での更新）

大型自動ガス乾燥機 器具備品費 1,000,000円

2) 厨房機器及び配管整備（ガス・水道・給湯配管整備と作業導線の整備）

工事費・備品費 1,695,600円

3) エレベーター牽引ロープの交換工事（停止位置の不具合、

耐用年数での交換） 修繕費（1・2号機） 820,000円

4) 看護室内自動滅菌器（耐用年の経年劣化での入替え）

器具備品費 312,120円

(4) 職員の腰痛予防での介護ロボット導入計画の検討。

大型介護ロボットへの今後の研究のため、今年度は介護部門職員への腰痛防止のため「腰痛サポーター」の配備により、利用者の移し替え（トランス）時の腰への負担軽減を図りました。

消耗備品費 486,000円

(5) 給食栄養管理ソフトの更新配備

栄養管理及び栄養ケアマネジメント等のソフトウェアの更新を実施しました。

ソフトウェア費用 420,000円

2. 緊急等修繕及び追加決済実施業務執行報告

(1) 空調機緊急修繕の実施

H30.2月下旬 2F フロアデイルーム・食堂の作動不良が突然発生し、耐用年数による圧力ポンプの経年劣化での故障を急遽修繕しました。

修繕費 676,000円

(2) 法人共有使用での中古軽トラックの配備

以前より希望の同車種の配備を中古車程度もよく購入配備しました。

車両運搬費 432,000円

(3) ショートスティ浴室床の張り替え工事

築15年経過での床タイル摩耗による危険回避のため、浴室内の安全性と保温効果確保のためノンスリップ用温感タイルへの交換張替えを実施しました。

修繕費 290,000円

(4) 設備整備積立資金の積立を実施

事業活動資金状況を勘案し、本年度積立を実施しました。

設備整備等積立資産支出 20,000,000円 (11月、1月)



1F南ユニット改修：介護センター・ダイニング・居室



LED照明入替え



腰痛ベルト装着の様子



自動消毒滅菌器
(オートクレープ)



厨房改修：ガスレンジ・フライヤー器具周辺



自動ガス乾燥機

3. 事故・苦情等

(1) 事故報告 416件 (別紙参照) 行政 (富士市) 報告件数 14件

(2) 苦情・要望 1件 入居者所持品 (タオル) の紛失

(3) 対応不全状況 1件

地域密着型特養みぎわ園において職員による入居者への不適切な対応があり、処遇監事による指導の下、行政 (富士市) へ報告しました。

部門：介護管理

今年度は介護人材不足に苦慮した一年だったと感じています。人員不足解消では看護課、相談員等の協力を得て業務を進める状況でした。この状況下においても、個別ケアの推進や生活の質の向上を図り、併せて各種行事やレク、委員会活動にも力を注ぎました。

実施報告

1. 8時間夜勤の変更に伴う個別ケアの実現を努め、職員一人ひとりの意識を持って、職場環境の整備を行う。

H29年1月から8時間夜勤体制開始後より各ユニットに於いて話し合いを重ね個別ケアを含め業務改善に取り組みました。

2. 新人、中堅職員が、その役割を以て外部研修、園内伝達研修を通しスキルアップを図り、実践に繋ぐ取組みと充実を図る。

年間研修計画に沿って、各種資格取得研修やセミナー等に参加し、身体拘束廃止・虐待防止・褥瘡予防等に関しては園内伝達研修を開催し、全職員への周知を図りました。

3. プリセプターシップ（新人教育）の取組みと指導担当者の養成強化と充実に努める。

新任職員に対し、担当指導者が年間教育計画に沿って毎月の面談、介護技術や業務に対する姿勢、考え方等を確認して教育指導を行っています。

4. 看取り介護のため、身体的精神的な変化への対応、本人及び家族への介護支援、多職種連携での役割分担、環境作りなどの整備を行う。

退所者22名中、園で最期を迎えた方が19名とH27年の法改定に伴う入所基準により医療ケアの高い入居者が増えた事が一因となっています。これ受け「看取り介護マニュアル」の見直しを図り、多職種協働とした看取り介護に取組み、結果ご家族からの感謝の言葉も戴いています。

5. 月平均稼働率 99.5% (79.6名/日) を目指し、退所や長期入院による空床期間の短縮化と稼働率の安定化を図る。

年間平均稼働率 98.9% (79.1名/日)、未請求日数 313日 (昨年度 117日) でした。入居待機日数 163日 (昨年度 72日)、入院者数 13名入院延日数 147日 (昨年度 6名・42日) と大きく影響した年度でした。



ユニット内でのおはぎづくり



お寿司バイキング



そば打ち会

部門：看護管理

実施報告

1. 医師や他職種との連携を図り、共に入居者と関わりを持ち、より良いケアに繋げられるよう支援する。
入居者一人ひとりの状態把握に努め、状態の変化がみられた時には速やかに医師に情報提供し、ご家族へも随時報告する等で、信頼関係を築くことができました。
2. 看取り介護において、入居者一人ひとりの意思を尊重しご家族とのコミュニケーションを大切にしながら、その人らしい終焉が迎えられるよう努める。
日々の生活の中から、入居者の意思を汲取り、こまめにご家族とのコミュニケーションをとり、穏やかにその人らしい終焉が迎えられるようその状態に応じた看護を心がけました。
3. 感染防止は、重要な役割と義務と捉え、感染防止対策の取組みのため随時伝達講習会を開催し周知徹底を図る。
7月に、パラインフルエンザとも思われる感染症が流行し、職員や入居者が感染する事態がありました。冬場の感染症流行に関しては、早期に臨時感染対策会議を開き防疫強化することで、感染拡大を防ぐことができました。今後も定期の感染伝達講習会に加え、即時の対策会議等を開く事で感染防止、管理に努めます。
4. 専門職として知識・技術を高め、日頃から入居者様、ご家族との信頼関係と心の通う看護を行う。
研修で得た知識を職員間で共有し、入居者へのケアに生かせるよう努めました。日頃からご家族とのコミュニケーションを大切に、状態変化がみられた時には、ご家族の理解が得られるよう、解り易く正確に伝える事を心がけました。

部門：栄養管理（食事サービス）

実施報告

1. 個々の健康状態や嚥下状況を把握し、入居者一人ひとりに応じた食事の提供と厨房職員との連携の下、食事形態の変更等迅速に対応する。
ミールラウンド(食事の観察)を行い、利用者の嚥下状態や体調を観察し、情報の共有を厨房職員と共に行い、利用者様の状態を理解する中で食事形態や量の変更など適宜行うことができました。
2. メニューの充実を図り、セレクト食などマンネリ化しないよう献立を作成する。
デイサービスにおいてセレクト食を行い、選ぶ楽しさを提供しました。月に一度の行事食では、飾り寿司やお弁当箱に詰めて提供するなど普段と違う食事の提供を行いました。

3. 入居者と一緒に調理を行い、職員と協力してはテーブル盛付け配膳など、生活に潤いと動きのある食卓を感じられる食事提供をする。

月毎ユニット職員と協働し食事のレクリエーションを企画しました。利用者様と一緒に野菜を切る、焼く、和せる等、料理する楽しさとそれを皆で食べる楽しさを感じ、味わうことができました。

4. 継続的に清潔な職場環境を確保のため、厨房内の清掃、厨房機器等の洗浄消毒を行い安全、安心な給食を提供する。

厨房内改修の結果、作業の効率化が図られ整理整頓の意識を高めることができました。

部門：1 階南ユニット（地域密着型小規模特養ホーム）

実施報告

1. 報告・連絡・相談を徹底し、他職種の協力を得て、ケアを提供する。

他職種で積極的に入居者と関わりを持つ事で報告、連絡、相談を円滑に行う事ができました。ご家族の方々とも大きなトラブルもなく、信頼関係を築けています。

2. ご家族との更なる信頼関係を築き、より良い関わりが持てるよう努める。

ご自宅に居た時のような感覚を大切に、できる限り個々の意向を大切にしました。反省として外出時ご家族の同行が叶わないこともあり、これからは積極的な働きかけを努めて行きたいです。

3. 家に居るような暮らしと、安全安心の感じられる環境整備を行う。

改修工事により広々とした空間と明るくなったフロア、人の行き来が多く感じられる快適な環境になりました。居室の整頓とくつろぎのある空間整備に今後も力を入れて行きます。

4. 入居者個々のニーズを引出し、個別、全体レク等、企画の充実を図り思いやりのある関わりと生活を支える。

今年は夏冬の流感の発生、工事との兼合いでレクリエーションを行うのが難しい1年でした。日々の関わりを大切に丁寧な関わり合いや希望を聴くなど、外出時や園内レクの際は笑顔も見られ活気を取り戻すことができました。ただ一方で訴えることのない入居者への関わりの工夫は、今後の検討が必要と感じています。



節分豆まきレク



手芸作品集



外食レクリエーション

(富士川楽座にて)

部 門：1 北ユニット（するが・さがみ）

実施報告

1. 日常の観察や気づき、ヒヤリハットから、安心できるケアの向上に努める。

二つのユニットに職員を配置することで、個々に日ごろの動きの把握に努め、結果として日常のヒヤリハットに気付くことができました。これに伴い事故を未然に防ぎ、安全でゆったりとしたケアを行うことができました。

2. ちぎり絵等の個別レクリエーションや洗濯物の整理など軽い作業を日常の生活に取り入れ、手先や体を動かすことでの身体機能の維持に努める。

日常の中に軽い作業を提供し、身体機能の維持に努めました。また、少人数で行うとした動きにより見守りもしっかりとでき、入居者夫々に得意とすることへの発見にも繋がり、それにより入居者の動きの幅が広がりました。

3. 職員が常に一緒に動くことでコミュニケーションの機会を増やし、入居者との関係性を深め、個別ケアの充実に繋げる。

職員が常に一緒にいることで、馴染みの関係と信頼関係を築く事ができました。結果、入居者と職員との関係性を深め、日々の生活上の把握ができ、ケアプランや身体機能、生活の流れを個別ケアに繋がりました。また夫々への声掛けを統一したことで心身の安定にも反映しています。

4. 新しい入浴設備の技術を習得し、気持ちの良い入浴を提供する。

全職員が新しい入浴設備の取り扱いを学び、使用技術の習得を行いました。脱衣場や浴室で安全で安心した入浴ができるような危機管理に努め、又落着いて入浴して頂くように入浴順の変更などで、ゆっくりと入浴することができてきました。



正月：凧を作りました



そば打ち職人による蕎麦試食会



ひな祭り：お雛様と私

部 門：2Fユニット（くすのき・もくせい）

実施報告

1. 報告・連絡・相談が確実にできるようにして連携を強化する。

報告・連絡・相談の連携の強化について、細かな所での連携が執れていなかったため今後も検討しながらこの連携を進めていきます。

2. 自分らしく生活が送れるように入居者、ご家族、職員との絆を大切にする。

入居者、家族、職員との関わりについて、日々の生活の中で新たな発見ができ、ご家族との情報交換もできてきたと思います。引続きその方らしい生活が送れるよう入居者、ご家族との関わりを大切に、共に生活支援していきます。

3. 家庭的な雰囲気大切に、環境整備に努め、居心地の良い居場所の提供に努める。

家庭的な雰囲気と環境設備について、家庭菜園やおやつ作りなどを通して、家庭的な雰囲気ができてきたと思います。今後の課題としてユニット内の環境を入居者様の意見を取り入れながら、より心地よく住みやすい環境にしていきます。



誕生日会：ケーキづくり



将棋大会：先手必勝



おやつレク：パンケーキづくり

部 門：3Fユニット（あまぎ・あしたか）

実施報告

1. 報告・連絡・相談を徹底する。

言葉での伝達だけでなく、メモや伝達ノートなど記録等を残すことで「報・連・相」の徹底を心がけました。

2. ご家族との信頼関係を築き、入居者が安心できる介護の提供に向けご家族と共に行えるよう努める。

ご家族と積極的にコミュニケーションを行ってきましたが、まだ十分な信頼関係が築けていないと感じています。これからも入居者、ご家族との対話を通して共に安心できる介護を提供するために続けていきます。

3. 日々の暮らしが個々にあったケアと生きがいを持てる生活となるよう支援する。
入居者が「今できること」を継続して行けるようなケアを心がけてきました。生きがいを持てる生活をしていくために、一人ひとりに向い合っていく努力をします。
4. チーム内でのコミュニケーションを図り、チームワーク向上に努める。
まだまだチームとして足りない部分がありますが、お互いを助けあう事ができてきています。今後もチームワーク向上と一人ひとりを支えていけるよう努めていきます。



野草を使い生け花づくり



秋の運動会と表彰式



苺狩りの一コマ

部 門：ショートステイみぎわ園

実施報告

1. 「報告・連絡・相談」の徹底を図り、看護課と連携をとりながら体調管理に努め、安全で安心して過ごして頂くケアに努める。
昨年の経験を生かし、看護介護で事前に感染防止対策について取り決めを行い、未然に防ぐ事ができました。
2. 看護課と協働して「誤薬0」を目指す。
注意を払ってはいたが、服薬忘れや投薬等の事故が多くありました。今後も看護介護で日々変わるご利用者情報の共有に努め、ミスを防ぐためのシステムを作り事故防止に努めます。
3. ご家族、ケアマネジャーとケアに携わる職員との間で、情報共有を統一し個別ケアの向上に努める。
相談員を通してご家族、居宅ケアマネ、他事業所などの情報の共有ができました。今年度も継続し個別ケアの向上に努めます。
4. ご利用者楽しんで頂けるレクリエーションや行事の充実を図る。
日常レクは欠かさず行うことができましたが、外出や行事に関してはあまりできませんでした。今後ご利用者の要望も加味してレクリエーションの充実を図ります。



敬老会の集合写真



夏のレク：スイカ割り



秋の楽しみ焼きイモ会

5. 常にご利用者・ご家族に対して気持ちの良い挨拶をする。
明るく気持ちの良い挨拶ができました。今後も継続します。
6. 1日平均 18.6名、月間平均稼働率 93%を目指す。
目標の達成はできました。今年度も目標達成できるよう努力します。

部 門 デイサービスセンターみぎわ園

事業報告

1. 一日平均利用人数9.3名、月間平均稼働率78%を目指す。
平均利用者数7.7名、年間平均稼働率64.3%と目標には届きませんでした。施設入所や入院等のキャンセルに加え、新規利用者の獲得が思うように得られませんでした。
2. ご家族やケアマネジャーへの「報告・連絡」を継続して、信頼関係を築き情報の収集や交換を行い、ご利用者一人ひとりに質の高い個別ケアの提供に努める。
送迎時でのご家族との対話を通して、ご利用者の日々の施設での様子又、ご自宅での様子について話しすることにより、状態を知ることによって質の高いケアの提供が図られました。ケアマネジャーとは様々な機会を利用して、ご利用者の変化等の情報を交換も図り、信頼関係の構築に努めてきました。
3. 日々の観察を徹底し、看護師との協働の下ご利用者の様々な変化にも気づけるよう体調管理に努める。
ご利用者の発した一言を逃さないような関わりと、一人ひとりのニーズの把握に努め看護師との連携ではご利用者の最新の状態とか、処置時には同席し共に確認をすることにより情報の共有を図ることができました。
4. 多様化する認知症に関する知識・技術の習得に努める。
認知症実践者研修を受講することにより、認知症状を持つ方に対する知識の習得に努め、受講した職員からの伝達講習を行いました。加えて

在宅系サービス事業所同士での会議を持って情報交換を行いました。



H29 年度敬老会の様子



三日市浅間神社へ初詣



米之宮公園へお花見

5. 常にリスクを考慮し状況の予測を図りながら、より安全なケアを提供する。

バイタル未測定での入浴介助や禁止食品の提供など、職員間での伝達不足が招いた事故があり、原因を明らかにすると共に情報共有を徹底して再発防止に努めてきました。

部 門：ふようデイサービスセンター

実施報告

1. 一日平均利用人数 22 人、月間稼働率 88%を目指す。
一日平均利用人数 20.8 人と、稼働率 83.3%。冬季の感染症（インフルエンザ）による体調不良などでキャンセルのご利用者が多く目標値には至りませんでした。
2. 横になれるスペースの確保、静養ベッドの設置増など、安心感のあるゆったりとした施設内環境の整備を図る。
ベッド数を増やした事により食後横になれるご利用者が増えた。より安心感のある環境と成るよう継続して整備を行います。
3. ご利用者やご家族の状況に対応できる送迎マニュアルを作成する。
ご利用者やご家族の送迎の意向を伺い、状況に合わせて対応したマニュアルの見直しを行うことができました。
4. ご利用者満足度の調査（アンケートなど）を行い、ニーズに沿ったレクリエーションや季節行事を企画提供する。
おやつ作り、お茶会、手芸、脳トレ等、担当を決め自主性に沿って行うことができました。季節行事では踊りなどのボランティアの方々の参加などで楽しく過ごすことができ、今後は午前中の過ごし方や個別活動にも力を入れていきます。

5. 「温かい物は温かく。冷たい物は冷たく。」とした食事の提供ができるよう、栄養士の協力を得ながら配膳方法や盛り付け方等の改良に努める。管理栄養士の協力を得て、ご利用者の前で食事の盛付ける事により温かい物は温かく、冷たい物は冷たく、とした食事の提供ができました。



おはぎができました



秋のお茶会です



共同作業：干し柿作り

6. 今後における「団塊の世代」の方達への介護ニーズを把握と時代に先駆けたサービスの知識と技術の習得ができる研修等に参加し自己研鑽に努める。

知識技術の検証には勉強の不足の点はありますが、引き継ぎ情報収集や研修等を積極的の習得し、介護スキルの向上を目指します。

部 門：看護小規模多機能 みぎわの里

実施報告

1. 主治医、多職種との連携を図り、医療ニーズの高い方への在宅生活が継続できるよう支援する。
多職種・多機関と連携し、訪問看護に伺い、ご家族と共に在宅生活を支援しました。
2. 季節行事の充実を図り、活動的で生きがいのある生活を支援する。
季節行事の充実を図り、ご利用者のたくさんの笑顔に出会うことができました。
3. ご利用者、ご家族の思いを汲み取り、柔軟なサービスで支援する。
できる限りご利用者、ご家族に寄り添い、柔軟なサービスを提供する事ができました。
4. 地域に根ざす「みぎわの里」として交流に努め、地域行事等の参加、気軽に立寄れる「寄り合い処」となれるように支援をする。
初めてみぎわの里で、みそ作りを開催することができました。

5. 月平均登録人数 23 名、泊り利用稼働率 60%以上を目指す。

登録人数 24～25 名の継続ができ、泊り利用稼働率 3 月の実績は 59.1%でした。



中央公園ばら鑑賞レク



敬老会での集合写真



三日市浅間神社初詣

部 門：ふよう居宅支援事業所

今年度は、定年退職者とケアマネジャー1名の退職の中、補充もあり従来同様4名体制でケアマネジメント業務を行いました。

年末には他居宅支援事業所廃止により予防支援 11 件のケース引き継ぎや更新申請での要介護から要支援へのケースも増えたことから、H28 年末に比べ 12 件の介護支援プランが増えています。また県介護指導課による実地指導においては、特段指摘事項もなく、今後も適正な事業運営を行っていきます。

実施報告

1. 平均担当件数 33 件を目指す。

H29 年度末現在で平均担当件数 30 件（予防を含む）と担当件数に関しては目標件数を達成できませんでした。

2. 法人内事業所間との連携調整を行い稼働率の向上を目指す。

稼働率の向上に向け自社デイサービスやショートステイとの情報交換や意見交換を密に行いました。

3. 介護保険法改正への的確な対応を行う。

平成 30 年の介護保険法改正に対し不備なく対応できるよう職場内での伝達講習や研修機会を増やしました。今後の居宅介護支援事業所のあり方や在宅福祉の考え方なども含め、各職種と協働して検討を勧めました。

4. 研修等における自己研鑽への充実を図る。

定期的な事業所内研修や吉原西部包括支援センター主催による勉強会、事例検討会、また医療連携に関する研修には積極的に参加しました。引き続き介護支援専門員更新研修や自己研鑽に繋がる県主催研修等への参加を通してケアマネ各々のスキルアップを図ります。

部 門：富士市吉原西部地域包括支援センター

事業報告

H29 年度は、地域ケア会議に重点を置き活動してきました。個別地域ケア会議では「認知症になっても住み慣れた地域で生活出来る」をテーマに、地域住民と共に見守りを含めた形でのネットワーク形成を行いました。地域課題の地域ケア会議では「災害にあっても何とかしたい・何とかしよう・何とかなる地域づくり」を目的とし、駿河台団地・西国久保の2地域を中心にアンケート調査や会議を行い、地域ニーズ把握を行いました。

主要活動内容

(1) 総合相談事業

生活や介護、障がい等の様々な相談に対し、ワンストップサービスを徹底し対応しました。相談件数としては662件昨年比36件増の相談を実施しました。

(2) 介護予防ケアマネジメント事業（参考資料-1）

要支援1・2の介護予防プランに加え、富士市介護予防・日常生活総合事業の対象者に対しプランを作成し対応しました。直営、委託合わせ4,390件、昨年度に比べ698件増のケースのプランニングを行いました。

(3) 権利擁護事業

虐待ケース等に対して早期対応を徹底し解決に向け取り組みました。権利擁護相談（成年後見・消費者被害含）として18件。虐待相談として9件の相談に対応しています。

(4) 包括的継続的ケアマネジメント事業

地域の居宅介護支援事業所ケアマネジャーに対して後方支援（アドバイスを含む）活動を124件対応しました。

(5) 認知症サポーター養成講座（参考資料-2）

年間12回開催し、計390名のサポーター養成を行い、またエリア内のキャラバンメイトの方々と座談会を行い、ネットワーク推進に努めました。

(6) 個別の問題について

地域ケア会議を7件行いました。また、地域課題についての地域ケア会議を4回開催致しました。エリア内の居宅介護支援事業所及び、施設ケアマネジャーを対象に、質の向上を目的とし、研修会も開催致しました。



* 駿河台団地地域ケア会議の様子 *



* エリア内 CM 研修の様子 *



* キャラバンメイト座談会の様子 *



* 西国久保地域ケア会議の様子 *

参考資料－１：介護予防給付実績状況

平成 29 年度 介護予防給付ケース	包括センタープラン件数
直 営 件 数	1, 282 件
直営（内 総合事業件数）	（982 件）
委 託 件 数	3, 108 件
委託（内 総合事業件数）	（1, 243 件）
総 合 計 件 数	4, 390 件

資料 2 : 介護予防・生活支援サービス事業実施状況

事業名	教室名	回数	参加者総数
介護予防・生活支援サービス事業	脳健康教室（1教室10回）	1回	84名
	介護予防教室（1教室3回）	5回	181名
	脳いきいき教室	5回	106名

介護保険事業所 附属明細書

資料 1 面会者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
面会者	498	532	405	561	571	527	481	460	530	560	395	500	6,020

資料 2 各事業所利用者平均年齢及び平均介護度（平成 30 年 3 月末現在）

		特養	ショートステイ	みぎわデイ	ふようデイ	みぎわの里	ふよう居宅
年齢	男	83.0	84.4	83.4	85.8	77.9	80.9
	女	86.9	87.8	76.7	86.1	86.4	83.6
	平均	85.9歳	86.8歳	79.1歳	86.1歳	82.3歳	82.8歳
介護度	男	3.80	2.77	3.20	1.74	2.58	1.52
	女	3.88	2.79	3.33	1.92	2.69	1.35
	平均	3.86	2.78	3.29	1.88	2.64	1.59

資料 3 特養平均入居期間（H30年3月末現在）

男性：33.0ヶ月（2.75年）	女性：45.8ヶ月（3.8年）	平均：42.6ヶ月（3.6年）
------------------	-----------------	-----------------

資料 4 特養入退居者件数

（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居	2	1	1	3	3	1	2	3	3	0	0	3	22
退居	1	1	2	4	2	0	2	3	3	0	3	1	22

資料5 年度別特養入退居者及び入院者数

(単位:名)

	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
入 居	21	23	18	16	14	22
退 居	20	23	18	16	15	22
入 院	19	21	18	15	6	13

資料6 外来受診一覧表

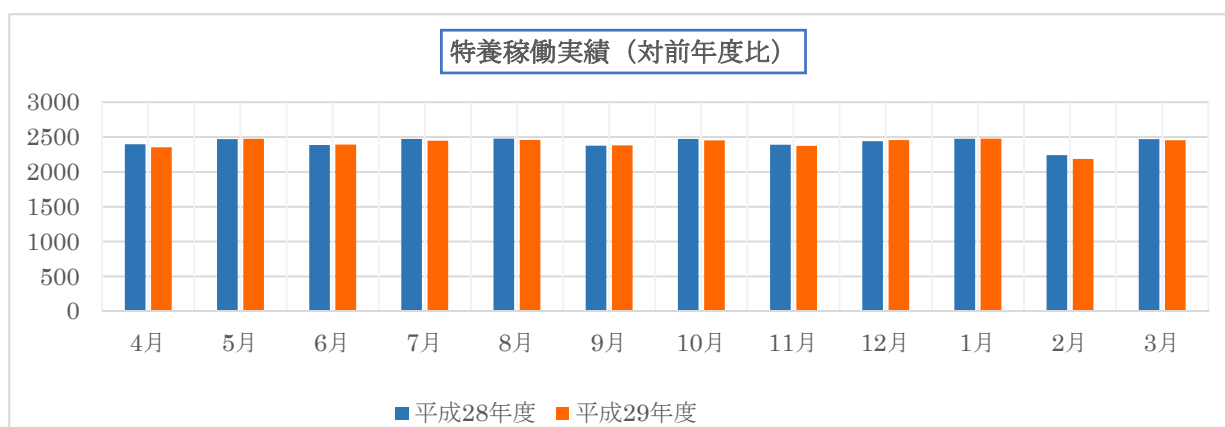
受診医療機関	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
青葉クリニック	14	11	9	53	13	10	7	15	10	7	15	11	175
富士中央病院 内科	2		1		1		1		1	1	1		8
整形外科												1	1
泌尿器科		1	2		1	1		1	1			3	9
救急外来				1		1							2
循環器科	1												1
眼科	1	1					1	1					4
外科	2		1		1	1	1				3	2	11
皮膚科	1	1	1		1		1		1	2	1	3	12
聖隷富士病院 外科							1						1
救急医療センター							1						1
上田クリニック				1			1			1			3
鷹岡病院					1			1					2
蒲原病院 内科	1												1
脳外科						2	1	1		1	1		6
池辺クリニック	2	2	3	2	3	2	3	4	5	4	4	4	38
横割皮膚科クリニック			1	3	2	3	5	6	7	4	3	3	37
いきいき富士病院								1					1
戸田整形外科											1		1
前田整形外科	1		2		1		1				1	2	8
田辺整形外科								2			1		3
富士宮市立病院											1		1
富士脳研病院	1			1	1	1		1			1		6
受診合計	26	16	20	61	25	21	24	32	25	20	33	28	331

資料7 各事業所稼働率 対前年度比表

1. 特別養護老人ホーム みぎわ園

(入居延日数)

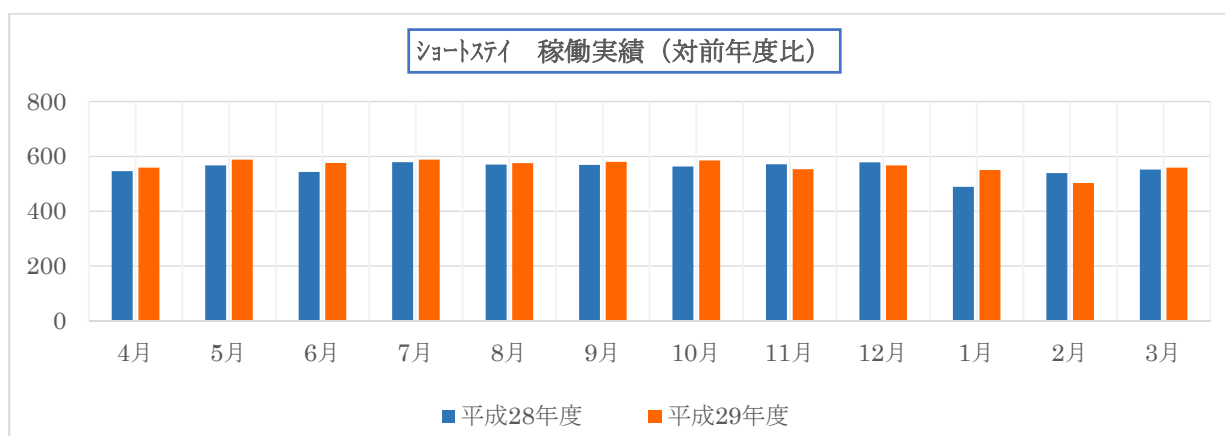
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H28年度	2397	2471	2385	2473	2478	2377	2472	2390	2441	2474	2240	2470	29068
H29年度	2352	2475	2392	2448	2459	2380	2452	2374	2456	2478	2185	2454	28905
29-28	-45	4	7	-25	-19	3	-20	-16	15	4	-55	-16	-163
稼働率	98.0%	99.1%	99.7%	98.7%	99.2%	99%	98.9%	98.9%	99.0%	99.9%	97.5%	99.0%	99.3%



2. ショートステイ みぎわ園

(利用延人数)

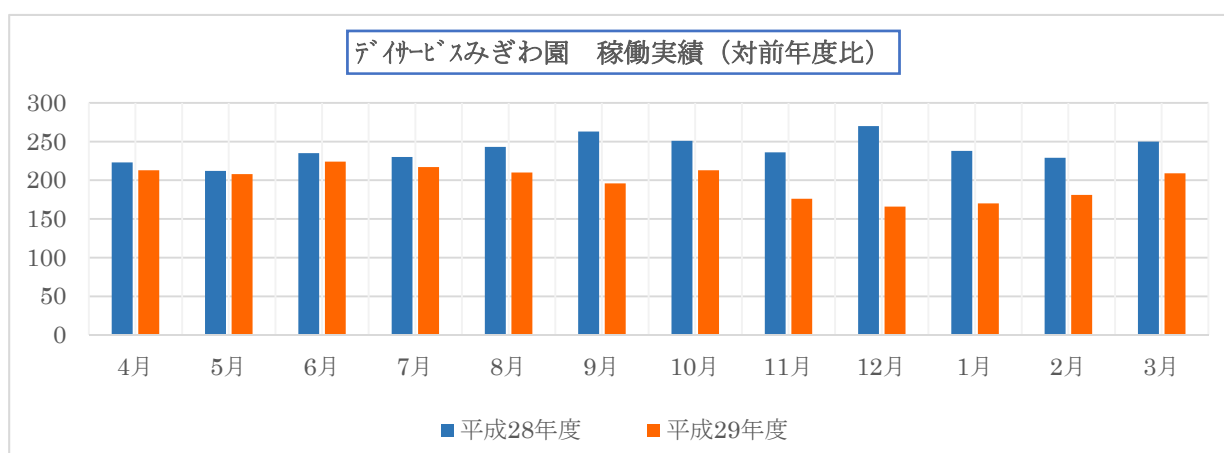
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H28年度	546	567	543	579	570	569	563	571	578	489	539	552	6666
H29年度	559	588	576	588	575	580	585	553	567	550	503	559	6783
29-28	13	21	33	9	5	11	22	-18	-11	61	-36	7	117
稼働率	93.2%	94.8%	96.0%	94.8%	92.7%	96.7%	94.4%	92.2%	91.5%	88.7%	89.8%	90.2%	91.1%



3. デイビスタ- みぎわ園

(利用延人数)

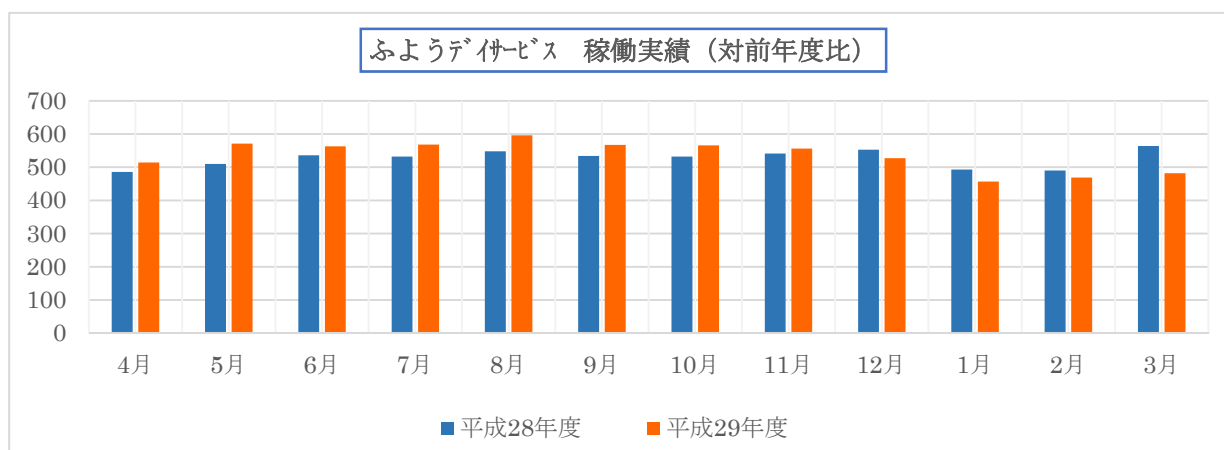
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H28年度	223	212	235	230	243	263	251	236	270	238	229	250	2880
H29年度	213	208	224	217	210	196	213	176	166	170	181	209	2383
29-28	-10	-4	-11	-13	-33	-67	-38	-60	-104	-68	-48	-41	-497
稼働率	71.0%	64.2%	71.8%	69.6%	64.8%	62.8%	68.3%	56.4%	55.3%	59.0%	62.8%	64.5%	64.3%



4. ふようデイビスタ-

(利用延人数)

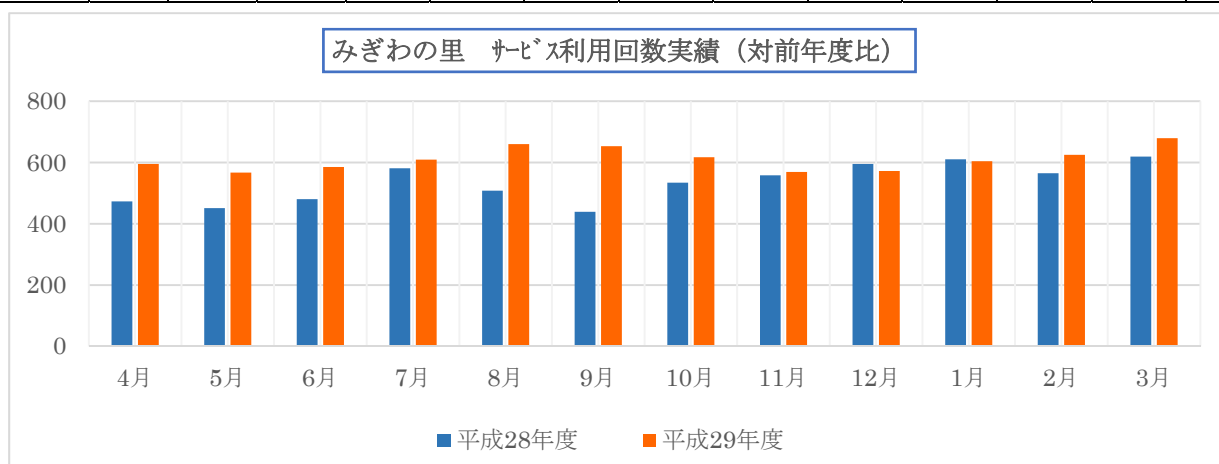
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H28年度	486	510	536	532	548	534	532	541	553	493	490	564	6319
H29年度	514	571	563	568	596	567	566	556	527	457	469	482	6436
29-28	28	61	27	36	48	33	34	15	-26	-36	-21	-82	117
稼働率	72.1%	75.8%	82.2%	80.4%	79.1%	78.1%	75.3%	75.7%	77.3%	74.0%	67.7%	67.5%	75.5%



5. 看護小規模多機能 みぎわの里

(登録人数・サービス利用回数)

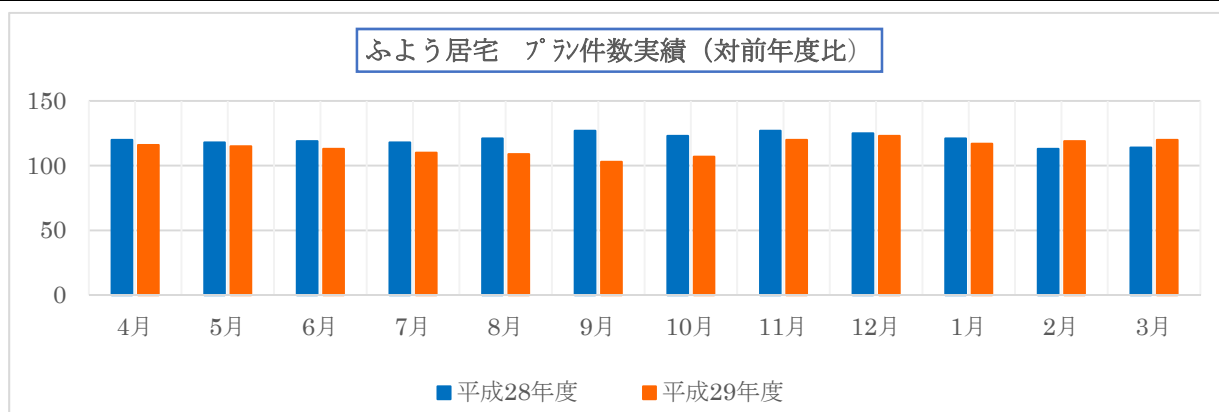
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H28 登録者	19	20	17	19	17	16	19	19	21	23	22	23	235
利用回数	473	451	480	581	508	439	534	558	595	610	565	619	6413
H29 登録者	25	24	23	25	25	25	25	24	23	24	25	25	293
利用回数	595	567	585	609	660	653	617	569	572	604	625	679	7335
29-28	122	116	105	28	152	214	83	11	-23	-6	60	60	922
登録率	100%	96.0%	92.0%	100%	100%	100%	100%	96.0%	92.0%	96.0%	100%	100%	97.7%



6. ふよう居宅介護支援事業所

(プラン件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H28 年度	120	118	119	118	121	127	123	127	125	121	113	114	1446
H29 年度	116	115	113	110	109	103	107	120	123	117	119	120	1372
29-28	-4	-3	-6	-8	-12	-24	-16	-7	-2	-4	6	6	-74
件数/一人	29.0	28.8	28.3	27.5	27.3	25.8	26.8	30.0	30.8	29.3	29.8	30.0	28.6



資料8 実習生等受け入れ実績

学校及び機関	人数	期間	延日数
静岡県立富士宮東高等学校 (介護福祉士実習)	3	5/9～5/25	12
	3	7/7～7/24	10
	3	10/2～10/19	12
静岡福祉医療専門学校 (介護福祉士実習)	2	9/4～9/8	5
	2	1/15～1/26	10
今泉福祉推進委員 福祉体験	20	8/18	1
静岡県立富士東高等学校 福祉体験	40	11/8	1
静岡県立富岳館高校 福祉体験	1	11/22	3
静岡県社会福祉協議会 介護等体験 静岡大学 教育学部	1	1/8～1/21	5
富士市立看護専門学校 (老年看護学実習)	5	10/30～11/16	55
合計	80名		114日

資料9 職員研修状況表

(特養・看護・ショートステイ)

年月日	研修名	主催	研修先	職種	人数
H29. 4. 19	高齢者施設の リスキミング講座	県社会福祉人材センター	静岡市	介護職員	2
H29. 5. 31～6. 27	福祉職員生涯学習研修 (中堅職員コース)	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	2
H29. 6. 1～8. 2	認知症介護実践者研修	県社会福祉協議会	三島市	介護職員	1
H29. 6. 12	施設事務員簿記入門講座	県社会福祉協議会	静岡市	事務職員	1
H29. 6. 14～7. 4	介護支援専門員更新研修	県介護支援専門員協会	静岡市	介護支援専門員	1
H29. 5. 17	認知症のレクリエーション	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H29. 6. 1～	喀痰吸引第2号研修 (実地研修のみ)	聖隷福祉事業団	富士市	介護職員	3

H29. 6. 13	衛生・栄養管理講習会	県給食協会	富士市	管理栄養士	1
H29. 6. 19	急変を見逃さない救急講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	2
H29. 6. 20・22	施設事務職員経理基礎講座	県社会福祉協議会	静岡市	事務職員	2
H29. 7. 6～10. 17	認知症介護実践者研修	県介護福祉士会	三島市	介護職員	1
H29. 7. 11	認知症に寄り添う介護セミナー	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	2
H29. 7. 13～9. 22	認知症介護実践者研修	県社会福祉協議会	富士市	介護職員	2
H29. 7. 18・21	施設事務職員経理応用講座	県社会福祉協議会	静岡市	事務職員	1
H29. 7. 27	看護の質向上促進研修	県看護協会	沼津市	看護職員	2
H29. 8. 2	ヒヤリハット・アクセントセミナー	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	2
H29. 8. 5～11. 4	介護従事者新任職員研修	富士市介護保険 事業者連絡会	富士市	介護職員	4
H29. 8. 24～9. 15	ユニットリーダー研修	全国個室ユニット型 施設推進協議会	静岡市	介護主任	1
H29. 9. 7	お年寄りの安眠の法則	県社会福祉協議会	静岡市	看護職員	1
H29. 9. 8～10. 19	喀痰吸引第2号研修	聖隷福祉事業団	沼津市	介護職員	1
H29. 9. 12～10. 3	福祉職員生涯学習研修 (チームリーダーコース)	県社会福祉協議会	三島市	介護主任	2
H29. 9. 13	採用担当者研修会	県社会福祉協議会	静岡市	採用担当者	1
H29. 9. 14	介護実習発表会	富士宮東高校	富士宮市	実習指導者	2
H29. 9. 22	ターミナルケア入門講座	県社会福祉協議会	静岡市	看護職員	2
H29. 10. 5	富士圏域施設長会 新任職員研修	富士圏域施設長会	富士市	介護職員	3
H29. 10. 10～12. 2	福祉職員生涯学習研修 (初任者コース)	県社会福祉協議会	三島市	介護職員	3
H29. 10. 15・12. 10	感染対策支援セミナー	静岡県病院協会	静岡市	看護課	2
H29. 10. 31	快適なシニアリング講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H29. 11. 6	セラピューティック・ケア	県社会福祉協議会	静岡市	看護職員	1
H29. 11. 7	精神疾患の理解	県社会福祉協議会	静岡市	看護職員	2

H29. 11. 14	ケアスタッフへの指導	特養看護師連絡会	富士市	看護課長	1
H29. 11. 15	県給食協会見学研修会	県給食協会	名古屋市	管理栄養士	2
H29. 11. 16	圏域施設長会研修	富士圏域施設長会	伊豆市	事務課長	1
H29. 11. 20・21	プレプター養成研修	県介護福祉士会	静岡市	介護職員	1
H29. 11. 21	介護施設におけるBCP	県東部老協	沼津市	防火管理者	1
H29. 12. 12	福祉人材確保の研修会	市社会福祉協議会	富士市	介護職員	3
H30. 1. 15	調理技術研修会	県給食協会	富士市	管理栄養士	2
H30. 1. 29	高齢者の精神症状の理解	県社会福祉協議会	静岡市	看護職員	2
H30. 1. 30	給食協会事例発表会	県給食協会	静岡市	管理栄養士	2
H30. 1. 30	高齢者の転倒予防講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	2
H30. 2. 3・6	看護実務者研修	県看護協会	静岡市	看護職員	2
H30. 2. 8	外国人介護人材受入セミナー	聖隷福祉事業団	沼津市	施設長 他	2
H30. 2. 10	富士介護サービス研究集会	富士市介護保険 事業者連絡会	富士市	提供責任者	7
H30. 2. 15	決算実務講座	県社会福祉協議会	静岡市	事務職員	1
H30. 2. 26	身体拘束廃止フォーラム	県介護福祉士会	静岡市	介護職員	2
H30. 3. 1	介護報酬改定対策講座	静岡県経営協	沼津市	提供責任者	9
H30. 3. 6	災害福祉支援セミナー	静岡県経営協議会	静岡市	介護職員	1
H30. 3. 10	介護保険改正のポイント	介護労働安定センター	静岡市	事務課長	1

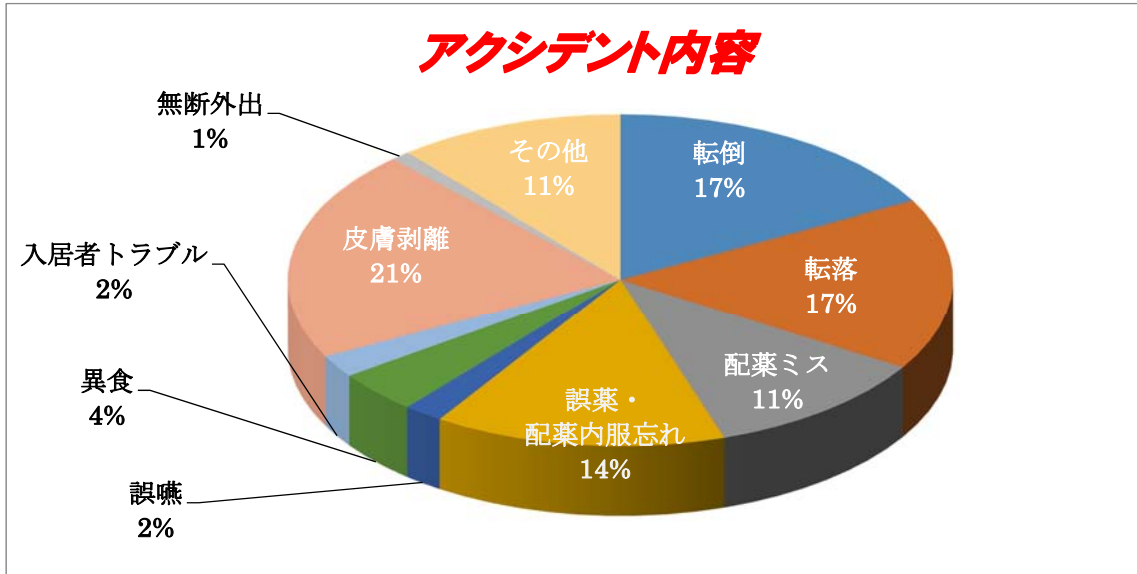
(ふようデイ・みぎわデイ・みぎわの里・ふよう居宅)

年 月 日	研 修 名	主 催	研 修 先	職 種	人 数
H29. 5. 12～6. 2	介護支援専門員基礎研修	介護保険課	富士市	介護支援専門員	1
H29. 5. 17	認知症のためのレクリエーション	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H29. 5. 19	総合事業説明会	高齢者支援課	富士市	介護支援専門員	1

H29. 6. 1・2	介護技術講座（実践編）	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H29. 6. 1～8. 2	認知症介護実践者研修	県社会福祉協議会	三島市	介護職員	1
H29. 6. 14～7. 4	介護支援専門員更新研修	県介護支援 専門員協会	静岡市	介護支援専門員	2
H29. 7. 5	利用者の身体観察のポイント	県社会福祉協議会	静岡市	看護職員	1
H29. 7. 6～10. 17	認知症介護実践者研修	県介護福祉士会	三島市	介護職員	1
H29. 8. 22	共感を得ることば講座	県社会福祉協議会	静岡市	看護職員	1
H29. 9. 11	楽しく笑顔になれるワケ	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H29. 9. 12～10. 3	福祉職員生涯学習研修 (チームリーダーコース)	県社会福祉協議会	三島市	介護主任	1
H29. 10. 15・12. 10	感染対策支援セミナー	静岡県病院協会	静岡市	看護職員	1
H29. 10. 31	快適なシティング講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H29. 11. 1～2. 7	認知症介護実践者研修	県介護福祉士会	静岡市	介護職員	1
H29. 11. 20	口腔のケア講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H30. 1. 10	認知症ケアマネージャー研修	県社会福祉協議会	静岡市	ケアマネージャー	1
H30. 2. 26	身体拘束廃止フォーラム	県介護福祉士会	静岡市	介護職員	2

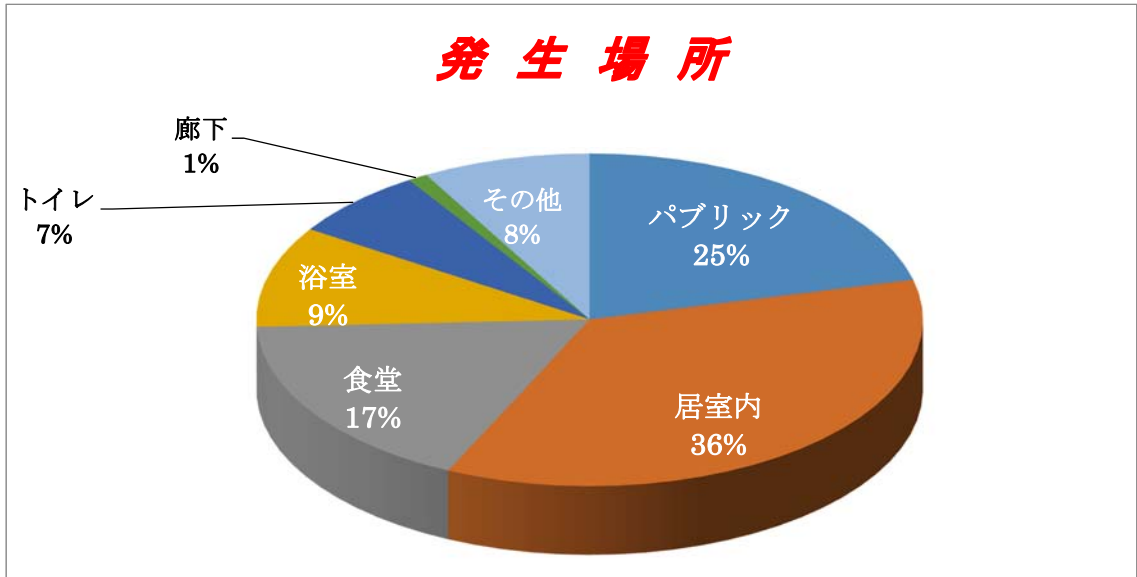
資料 10 リスクマネジメント集計(インシデント・アクシデント報告)

1. アクシデント内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
転倒	71	7	8	6	6	1	6	4	7	3	4	10	9
転落	70	8	7	3	3	5	5	4	14	4	3	8	6
配薬ミス	46	1	2	3	8	1	2	5	3	6	8	4	3
誤薬・内服忘れ	59	4	5	5	15	5	3	4	1	1	3	4	9
誤嚥	8	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	3	1
異食	17	0	2	1	2	1	2	2	0	2	3	1	1
入居者トラブル	9	2	2	0	0	0	1	0	1	0	3	0	0
皮膚剥離	86	8	8	14	8	7	4	8	6	6	4	5	8
無断外出	4	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0
その他	46	3	3	5	4	3	1	5	2	4	2	8	6
合計	416	33	37	38	46	24	24	35	34	26	33	43	43



2. 発生場所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
パブリック	88	8	8	8	10	9	8	8	8	6	6	4	5
居室内	149	13	17	18	7	9	8	13	18	8	12	14	12
食堂	72	5	7	3	12	1	5	1	1	7	12	9	9
浴室	41	7	3	4	7	1	1	6	2	0	2	3	5
トイレ	28	3	1	2	3	3	2	1	1	3	3	3	3
廊下	4	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0
その他	34	0	0	2	8	1	0	5	0	4	1	6	7
合計	416	36	36	37	48	24	24	36	30	28	37	39	41



資料 11 固定資産取得・消却状況表

【 取 得 】

特別養護老人ホーム みざわ園

資産コード	資 産 名 称	取得年月日	前年末帳簿価額	取 得 の 理 由
1306	全自動ガス乾燥機	H29. 6. 19	1,000,000 円	老朽化のための入替
1306	調理台 120ANB	H29. 6. 30	141,000 円	厨房内環境整備のため
1306	調理台 180ANB	//	203,000 円	//
1306	スタンダードガスフライヤー	//	143,000 円	老朽化に伴う更新
1306	ガステーブル	//	222,000 円	//
1306	自動火災通報装置	H29. 6. 30	504,668 円	法令化に伴う設置
1310	PC ソフト (栄養)	H29. 6. 30	427,680 円	新規業務管理のため
1306	オートクレーブ	H29. 7. 21	312,120 円	老朽化のための入替
1202	LED 照明器具	H29. 7. 21	2,046,600 円	省エネ対策の実施
1306	地域密着型特養 ナースコール	H29. 9. 29	378,000 円	特養内整備に伴う更新
1202	// 居室改修工事	H29. 10. 13	11,714,000 円	居室環境整備のため
1202	// 給排水衛生設備	//	3,850,000 円	//
1202	// 電気工事	//	5,264,000 円	//
1202	// 自動火災報知設備	//	1,164,000 円	//
1306	PC (医務課)	H29. 12. 29	136,080 円	老朽化のため入替
1305	SUZUKI キャリ- 660	H30. 1. 18	432,000 円	法人共有使用車輛配備
1303	包括出入口拡幅工事	H30. 3. 28	399,600 円	車輛出入りの事故防止

【 廃 棄 】

特別養護老人ホーム みざわ園

資産コード	資 産 名 称	取得年月日	前年末帳簿価	廃棄・売却等の理由
60-06004	SUZUKI ワゴンR (沼津 580 う 2040)	H17. 10. 13	1 円	老朽化のため
70-06025	オートクレーブ	H15. 5. 7	1 円	//

資料 12 施設整備取替及び修理修繕工事一覧（10万円以上）

内 容	場 所	施工業者	金 額
事務所床張替工事	みぎわ園	雅渡建築	158,117 円
厨房内配管整備工事	みぎわ園	(株)一商会	209,088 円
エレベーターワイヤーロープ交換	みぎわ園	マーキュリアセンソール(株)	820,000 円
配膳車取手修理	みぎわ園	渡邊建設工業(株)	202,000 円
送迎車輛板金塗装	みぎわ園	テクニカルボックス	511,752 円
空調設備修理工事	みぎわ園	(株)アオノ	1,302,480 円
脱衣所排気窓工事	みぎわ園	渡邊建設工業(株)	150,000 円
浴室床張替工事	みぎわ園	渡邊建設工業(株)	290,000 円

資料 13 保守管理・業務委託一覧

保守保全内容	契約内容	頻 度	形 態	業 者 名
消防機器設備	定期点検・行政報告	2回/年	年次	サノコ防災(株) 深沢消防産業(株)
ガス漏れ	警報機設備点検	随時	設置時	静岡ガス(株)
電気設備	定期点検	1回/月	年次	鈴木 博 関東電気保安協会
建物設備・特殊建物等 定期検査	定期点検・行政報告	1回/2年	指名	井上建設(株)
防火設備定期検査	定期点検・行政報告	1回/年	年次	サノコ防災(株)
エレベーター・荷物用リフト	定期点検・行政報告	1回/月・随時	年次	マーキュリアセンソール(株)
清掃・消毒点検	施設内環境整備	3回/週・随時	年次	タスキ富士宮
利用者リネ	洗濯等委託	3回/週	年次	(株)デイベンロイ
貯水槽清掃・水質検査	法定清掃・管理点検	1回/年	年次	ニッケン消毒(株)
給食業務	調理配膳配送	毎日	年次	(株)角山

PC・介護ソフト管理	PCソフト保守 バージョンアップ	随時	設置時	(株)ゆとり (株)コンピュータシステム研究所 (株)夢工房
自動ドア保守・管理	定期点検・整備	2回/年	年次	ナブシステム
洗濯業務	利用者衣類等洗濯	4回/週	年次	富士シルバー人材センター
廃棄物処理	一般廃棄物処理 医療廃棄物処理	毎日 適宜	年次	市栄産業(株) さとう産業(株)
夜間当直	夜間当直業務	2回/週	年次	(有)フジク産業